Diginnosユーザーズマニュアル

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、弊社製パソコン「Diginnos」シリーズ全般における基本的な接続・セットアップ方法を、簡単に分かりやすくご案内しております。
本製品をご利用になる前に必ずお読みください。
また、よくご質問を受けるトラブルの対応方法を記載しております。
故障かなと思われたとき、ご活用ください。

Diginnos

目 次〈Contents〉

セットアップ手順……………………………………………………………… 4
安全のために……………………………………………………………………… 5
“困った” を未然に防いでパソコンを快適に使用するために ……………………10
健康のために………………………………………………………………………12
箱から取り出す……………………………………………………………………13
箱の中身を確認する………………………………………………………………14
プロダクトキーの確認……………………………………………………………16
各部の名称と接続方法……………………………………………………………18
電源を入れる・電源を切る………………………………………………………29
Windows 7 のセットアップ ………………………………………………………32
Windows 8 のセットアップ ………………………………………………………35
キーボード・タッチパッドの使い方……………………………………………38
画面解像度の設定…………………………………………………………………43
周辺機器の接続……………………………………………………………………44
インターネット接続………………………………………………………………45
無線 LAN の設定および使用方法 …………………………………………………50
DVD ビデオの再生方法 ……………………………………………………………50
光学ドライブへの書き込み方法…………………………………………………51
バックアップ方法…………………………………………………………………52
OS インストール前の準備 …………………………………………………………62
Diginnos かんたんリカバリー ……………………………………………………63
Windows 7 のインストール ………………………………………………………67
Windows 8 のインストール ………………………………………………………75
Windows 7 の再インストール ……………………………………………………81
Windows 8 の再インストール ……………………………………………………83
Windows 7 のスタートアップ修復 ………………………………………………85
Windows 8 の自動修復 ……………………………………………………………87
デバイスドライバーのインストール……………………………………………89
各種ソフトウェアのインストール手順…………………………………………95

困ったときは……128
パソコントラブル解決手法……131
パソコントラブル FAQ（BIOS[UEFI] ～ Windows 起動前）……136
パソコントラブル FAQ（Windows 起動後）……138
パソコントラブル FAQ（ハードウェア）……140
パソコントラブル FAQ（その他）……142
改善のための操作方法……144
ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」……147
デジノスサポートセンターよりお客様へ……149
パソコンのリユースについて……150
パソコンのリサイクルについて……151
パソコンに記憶されているデータについて……152
Diginnos パソコン保証規約……153
デジノス修理依頼書……154
修理依頼方法……155
サポートのご案内……157

セットアップ手順

1 安全のために　5ページ

●安全に正しくお使いいただくためにご確認ください

2 “困った”を未然に防いで、パソコンを快適に使用するために　12ページ

●パソコンをお使いいただく上でトラブルを未然に防ぐための諸注意をご確認ください

3 箱の中身を確認する　15ページ

●付属品等がそろっているかご確認ください

4 電源を入れる　18ページ

●ディスプレイ・本体・周辺機器の電源を入れて起動します

5 Windows の起動

● OS インストールモデルの場合

Windows 7 のセットアップ　21ページ

Windows 8 のセットアップ　24ページ

● OS なしモデルの場合

Windows 7 のインストール　60ページ

Windows 8 のインストール　68ページ

セットアップの完了です

安全のために

Diginnos パソコンは、安全にご利用いただけるよう、各規格に準拠したパーツにて製造されております。
しかし、接続や使用方法が正しくないと、火災や感電などの事故を引き起こすことがあり危険です。
事故を防ぐために、記載事項を必ずお守りください。

定期的に点検する

Diginnos パソコンは精密機器ですので、ケース内にホコリがたまると誤作動の原因となります。ケースファンにホコリが付着すると冷却性能低下によるトラブルが発生しますので、定期的に点検･清掃をしてください。

故障した場合

パソコンを使用していて何らかの問題に気付いたときは 86 ページ「困ったときは」を参考に解決を試みてください。
問題が解決できない場合は、お買い上げの店舗か、デジノスサポートセンターにご相談ください。

万一、異常が起きたら

異音・異臭・煙が出たら
即、ご使用をお止めください。

直ちに使用を中止し電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。
お買い上げの店舗、もしくはデジノスサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。

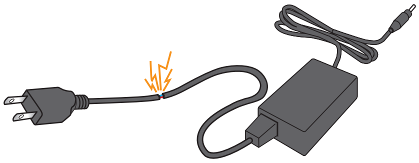
⚠警告 お取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されることを示します。

⚠注意 お取り扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されることを示します。

安全にご利用いただくために

⚠警告 電源ケーブルを傷つけないでください

電源ケーブルを傷つけると、火災・感電の原因となります。
- ■ 重い物を乗せたり、引っ張ったりしない
- ■ 熱器具に近づけない、加熱しない
- ■ 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

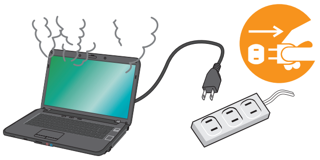


⚠警告 内部に水や異物を入れないでください

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万が一入り込んだ場合は、すぐに電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後の処置は、お買い上げの店舗またはデジノスサポートセンターまでご相談ください。

⚠警告 「異音がする」「焼けたような匂いがする」「ケーブルやコネクターが異常発熱している」などの場合

直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用されると、火災や感電の原因となります。
その後の処置は、お買い上げの店舗またはデジノスサポートセンターまでご相談ください。



⚠警告 改造をしないでください

パーツの分解・改造をしないでください。火災や感電・けがの原因となります。また改造した場合、保証期間内でもサポートの対象外となります。

安全のために

警告 アダプターや周辺機器などを接続する際はコネクターの向きを確認し変形や破損がないかもあわせてご確認ください

・コネクターの向きを間違って接続すると、変形や破損の原因となります。
・変形や破損したコネクターを接続すると火災・感電の原因となります。

警告 パソコンが変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は使用しないでください

破損があるパソコンを使用すると、火災・感電の原因となります。 その場合は直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後の処理は、お買い上げの店舗またはデジノスサポートセンターまでご相談ください。

警告 電源や周辺機器などを接続したケーブルやコネクターに無理な力を加えないでください

ケーブルやコネクターに無理な力が加わると、変形や破損による火災や感電の原因となります。

設置場所と使用環境

注意 設置場所と使用環境

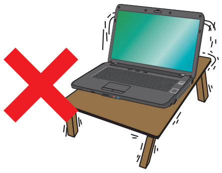
パソコンの設置場所および使用環境について、以下の条件でご使用ください。この条件以外でパソコンを使用すると、火災などの事故や、パソコンが破損する、起動しなくなるなどのトラブルの原因となります。

次のような場所が設置に適しています。
・室内
・温度 10℃～ 35℃
・湿度 20%～ 80%（結露しないこと）

> ⚠ 極端に温度が低い室内で電源を入れるとパソコンが起動しないことがあります。そのような場合は一度電源を切り、室内の温度を上げて 2 時間ほど放置してから電源を入れ直してください。急激な温度の変化で内部に結露が生じ、部品がショートして故障の原因となるのを防ぎます。

警告 不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



警告 湿気・油煙の多い場所に置かないでください

火災や感電の原因となります。

警告 幼児の手の届く場所に置かないでください

ディスクの挿入口に手を挟まれたり、ケース内の鋭利な箇所等がけがの原因となります。

安全のために

警告

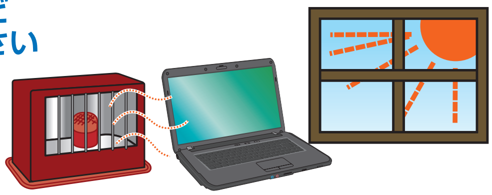
電源プラグや各種コネクター、周辺機器などを接続したまま移動させないでください

ケーブルやコネクター等が破損・変形することによる、
火災や感電の原因となります。

注意

直射日光のあたる場所やストーブの近くなど熱くなりそうな場所には設置しないでください

変色、変形等の劣化の原因となります。
内部温度が上がり故障の原因となります。



警告

水槽の近くや水場のそばなど湿気の多い場所には設置しないでください

水がかかりますと、火災や感電の原因となります。

注意

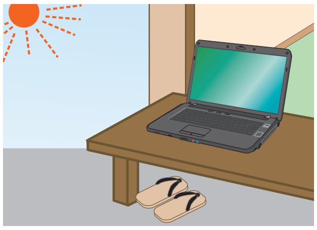
家電製品のそばや磁気を発生する物の近くには設置しないでください

異常動作の原因となりますので
30cm 以上離して設置してください。

注意

屋外やホコリの多いところには設置しないでください

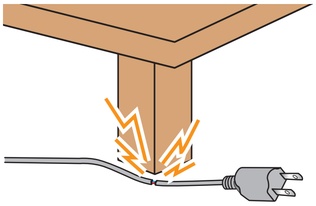
火災や感電の原因となります。



警告

電源や信号のケーブルを無理に曲げたり物を乗せないようにしてください

ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

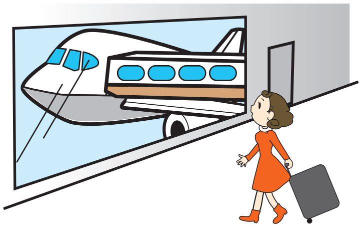


安全のために

警告

飛行機に乗る際は、無線 LAN は OFF にしてください

飛行機内で無線 LAN のスイッチを入れること、及び離着陸時の
パソコンの使用は、航空法違反となり処罰される場合があります。
一部使用許可のある航空会社・航空機もございます。



警告

病院や混雑した場所（満員電車など）では

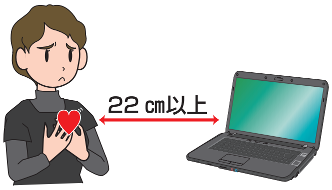
無線 LAN を使用しないでください

無線 LAN の電波により、心臓ペースメーカーや医療用
電子機器が誤動作し、事故の原因となります。

警告

無線 LAN を使用する時は、心臓ペースメーカーの近くで使用しないでください

無線 LAN の電波により、心臓ペースメーカーが誤動作し
事故の原因となります。
22cm 以上離してご使用ください。



警告

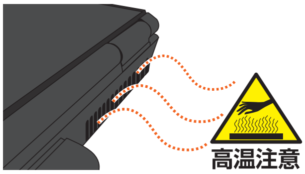
ノートパソコンを布団やじゅうたんの上に置かないでください

柔らかい物の上に置くと、側面や底面の通風口をふさいだり、熱が逃げずに本体内部温度が上昇してパソコンの誤作動や故障の原因となります。机などの上に置いてご使用ください。

警告

排気口やその周辺は高温になりますので触ったり近くに物を置かないでください

本体側面にある排気口やその周辺は熱くなります。長時間直接触れていると低温やけどを起こす原因となります。また、熱に弱いプラスチックやゴム製品をそばに置いておくと、変形したり破損する場合があります。



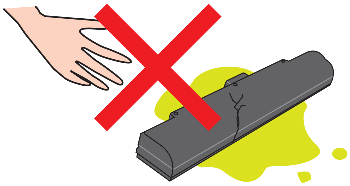
安全のために

使用上のご注意

警告

バッテリーから液が漏れた場合は液に触らないでください

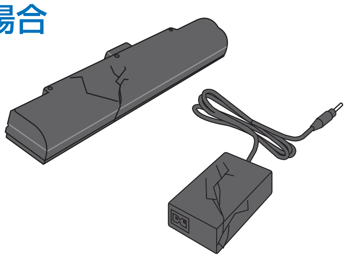
バッテリーから漏れた液に触れてしまった場合、皮膚がかぶれたり炎症を起こす原因となります。触ってしまった場合は流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は流水で 15 分以上洗浄した後、直ちに医師に相談してください。



警告

アダプターやバッテリーが割れたり傷ついている場合は使用しないでください

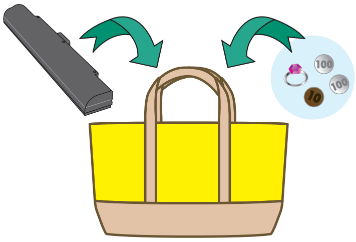
破損や感電、火災の原因となります。



警告

バッテリーを金属の小物（鍵や装飾品、コイン等）と一緒にカバンにいれないでください

端子がショートして破損や感電、火災の原因となります。

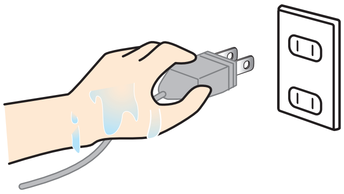


警告

ぬれた手で電源プラグに触らないでください

感電の原因となることがあります。

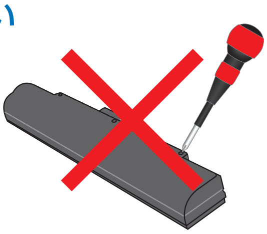
ぬれ手禁止



警告

バッテリーパックを分解または改造しないでください

バッテリーパックの分解・改造は破損や感電・けがの原因となります。

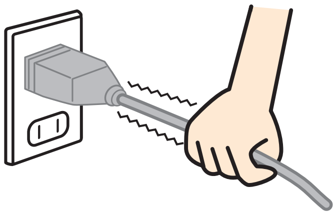


安全のために

警告

ケーブルのコネクタを抜くときはケーブルを持たずに必ずコネクタ部分を持つようにしてください

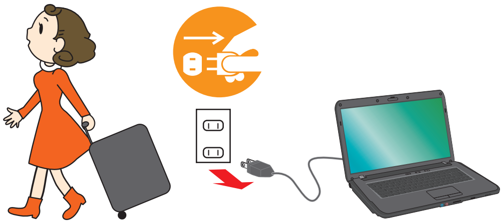
ケーブルを直接引っ張ってコネクタを抜くと、ケーブル断線などの故障の原因となります。取り外すときは必ずコネクタ部分を持つようにしてください。



警告

長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください

火災の原因となることがあります。



警告

パソコンに飲み物や食べ物などをこぼさないようにしてください

液体が内部に入ると火災や感電の原因となります。

注意

ノートパソコンやアダプター、バッテリーに衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となります。

注意

液晶ディスプレイを乱暴に開閉しないでください

破損や故障の原因となります。

注意

液晶ディスプレイとキーボードの間に物をはさんで閉じないでください

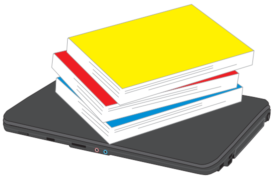
液晶ディスプレイの破損の原因となります。

安全のために

注意

ノートパソコンの上に重い物を乗せないでください

破損や故障の原因となります。



警告

電源プラグを接続したまま、本体内に手や物、工具などを入れないでください

作業時に感電・けが、破損の原因となります。

警告

雷が鳴り始めたら、パソコンを終了してコンセントや LAN ケーブルを抜いてください

落雷により感電したり、故障の原因となります。

注意

長時間にわたりひざの上に置いて使用しないでください

本機底面や通風口周辺は熱くなることがあり、長時間触れていると低温やけどを起こす場合があります。

注意

長時間使用する場合は必ず途中で休憩を取るようにしてください

肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。

注意

長時間の使用などにより、身体に違和感や痛みを感じた場合は直ちに使用を中止してください

使用を中止しても改善しない場合は直ちに医師に相談してください。

“困った”を未然に防いでパソコンを快適に使用するために

❶ パソコンやパソコンの周辺を清潔に保つ

空気中のチリやホコリは精密機器であるパソコンの大敵です。パソコンやパソコン周辺を常に清潔に保つよう心掛けましょう。

定期的にパソコンのお手入れを行うと、快適でより長くパソコンをご利用いただけます。

ワンポイント

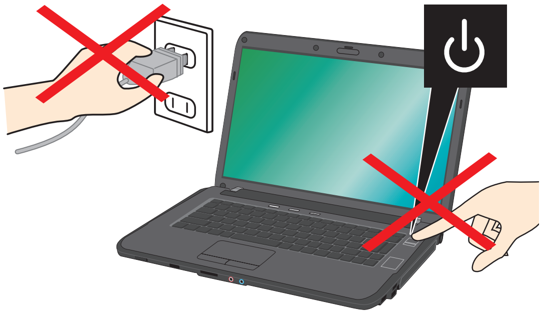
ご自身でパソコンの内部を触った経験がない方は、ドスパラ全店及びデジノスサポートセンターで有償クリーニングいたします。また、セーフティサービスご加入の方や、DJ メールマガジンご購読の方はお持込みいただければ、無料で Diginnos パソコンの内部クリーニングをいたします。

詳しくは下記の URL、近隣のドスパラまたはデジノスサポートセンターにご確認ください

http://www.dospara.co.jp/cln

❷ 正しい方法で電源を切る

やむを得ない理由を除き、電源スイッチを押して強制的にパソコンの電源を切ったり、リセットスイッチを押して再起動することはおやめください。パソコンが故障したり、正常に動作しないなどのトラブルを引き起こす原因となります。

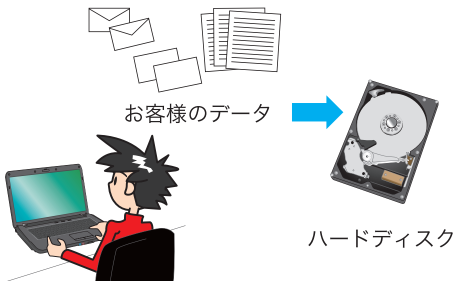


❸ パソコン使用時の飲食、喫煙は避ける

飲食しながらパソコンを使用すると、食べ物や飲み物がかかり、パソコンを故障させる原因となります。また、タバコの煙や灰は精密機械であるパソコンにとって大敵ですのでご注意ください。

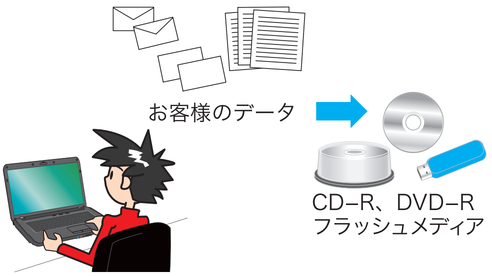
❹ 作業中はこまめにデータを保存する

「パソコンが突然フリーズ（停止）して作成中のデータが消えてしまった」ということがないよう、文書作成等の作業時はこまめにデータを保存しましょう。



5 定期的にデータのバックアップを作成する

誤った操作やウイルス感染等により、ハードディスク内のデータが消えてしまうことがあります。大事なデータは定期的にCD-R/DVD-Rやフラッシュメディアなどの他の記録媒体にバックアップを作成しておきましょう。



6 パソコンにショックを与えない

ノートパソコンを持ち運ぶ場合は次の注意を守ってください。

・電源を切る
・強い衝撃や振動を与えない
・液晶を持たない
・片手で持たない
・光学メディアやPCカードなどを取り外す
・アダプターや周辺機器などを取り外す

7 インターネットを利用するときはウイルス対策を万全に

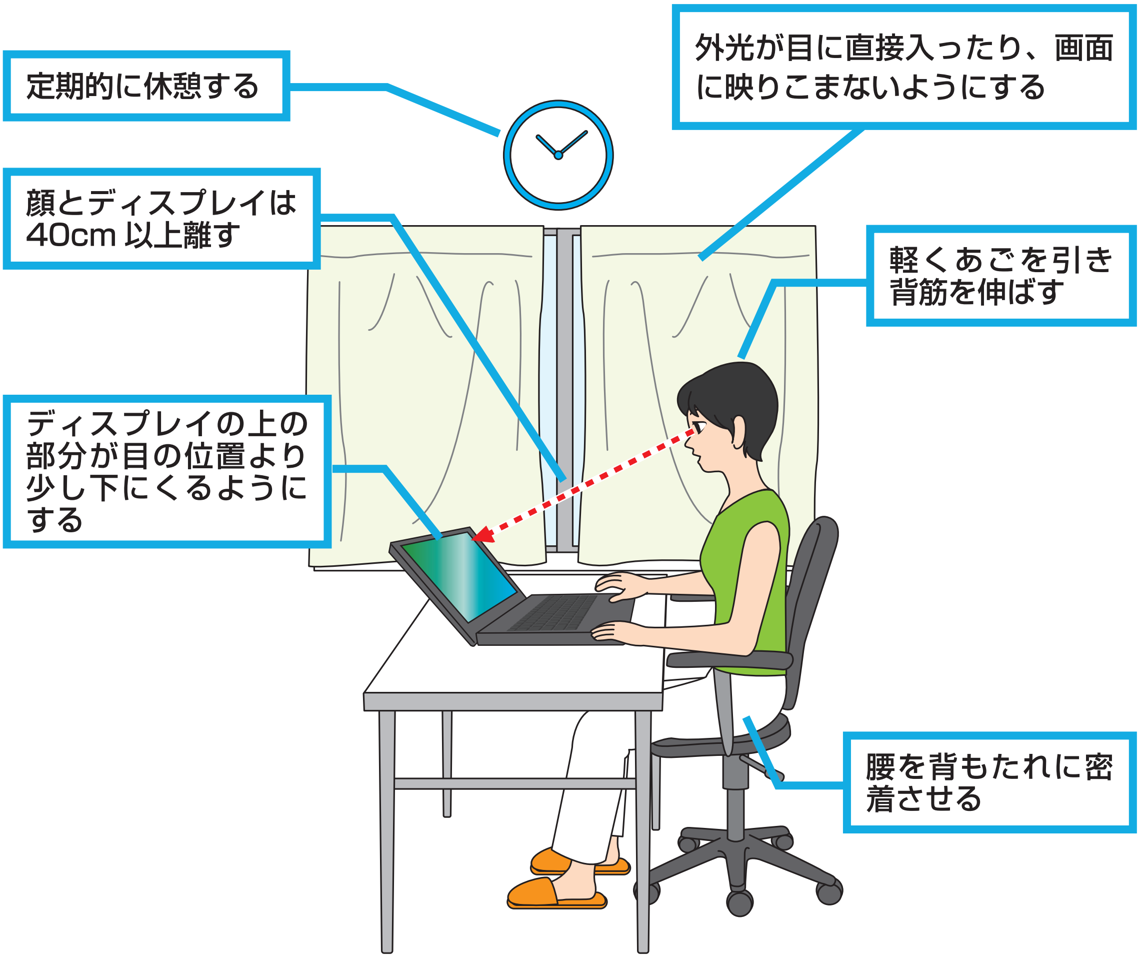
インターネットに接続すると、Eメールやウェブサイトなどから、コンピューターウイルスに感染する危険があります。
そのため、下記のウィルス対策を積極的に行いましょう。

・Windows Update（※）で、システムの更新をする
・市販のウイルス対策用ソフトウェア等を利用する
・信頼できないウェブサイトのアクセスやダウンロードをしない
・心当たりのないEメール（添付されているデータがある場合はそれを含む）は開封せずに削除する

※ Windows Updateについて

インターネットに接続できる環境にあるときは、WindowsやInternet Explorerの更新補助機能であるWindows Updateを実行してください。OSの発売後に発見された不具合を解消したり、各種ドライバーを更新することができます。特に、OS関連でリリースされているサービスパックについてはインストールすることをお勧めします。Windows Updateへの接続方法は、スタートボタンをクリックして立ち上がるメニューから「Windows Update」を選択するか、同じく「スタートボタン」→「検索」→「ファイルやフォルダ」を選択して「wupdmgr.exe」を入力して検索し、見つかったファイルをダブルクリックしてください。

健康のために



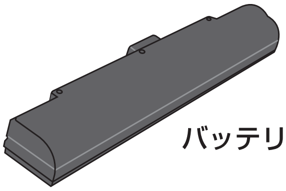
姿　勢	▶軽くあごを引き、背筋を伸ばすようにしましょう。 ▶腰を背もたれに密着させましょう。 ▶腕や太ももは床と平行にしましょう。 ▶足裏全体を床につけるようにしましょう。
キーボード マウスの操作	▶入力中に手首をあまり曲げすぎないようにしましょう。 ▶マウスを動かす時は、手首だけを使わずに腕全体で動かすようにしましょう。 ▶キーボードの入力中は、手首と手を宙に浮かせ、離れたキーを押すときに指を伸ばすのではなく腕全体を移動させるようにしましょう。 ▶キーボードやタッチパッドは軽いタッチ・クリックをしましょう。
使用時間	▶一時間に一回休憩を取り、遠くを見つめたり、ストレッチをしましょう。
ディスプレイ	▶顔とディスプレイは 40cm 以上離しましょう。 ▶ディスプレイの上の部分が目の位置より少し下にくるようにしましょう。 ▶ご利用中、外光が目に直接入ったり、画面に映りこまないようにしましょう。 ▶ディスプレイは清潔にしましょう。

箱の中身を確認する

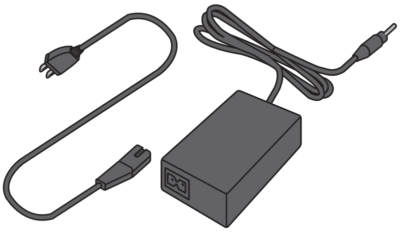
梱包を開けましたら以下のリストを参考に、付属品等がそろっているかご確認ください。ご確認の際、万一破損していたり付属品が足りない場合は、すぐにご購入店またはデジノスサポートセンターへご連絡ください。

ハードウエア類

Diginnos ノートパソコン
モデル・カスタマイズにより形式／形状が異なります



バッテリー



保証シール
本体底面に貼ってあります

アダプター

マニュアルとディスク類

Windows パッケージ
（OS インストールモデルのみ）

ドライバー CD、マニュアル類
（モデルにより異なります）

- ☐ ノートパソコン
- ☐ バッテリー
- ☐ アダプター
- ☐ 保証書シール（サポートを受ける際に必要な製造番号が記載されています）
- ☐ ドライバー CD/DVD、マニュアル類（モデルにより異なります）
- ☐ DVD 再生ソフト・ライティングソフト
- ☐ Windows パッケージ（OS インストールモデルのみ）
  （リカバリー搭載モデルの場合 Windows のパッケージが付属しないものもあります）
- ☐ COA（Certificate of Authenticity）ラベル（OS インストールモデルのみ）

プロダクトキーの確認

OS がインストールされたパソコンをご購入いただいた場合、パソコンに COA ラベルが貼られています。COA ラベルを確認しプロダクトキーを確認してください。
COA ラベルを確認できない場合は、15 ページ「箱の中身を確認する」を参照し、「Windows パッケージ」に COA ラベルが貼られているか確認してください。

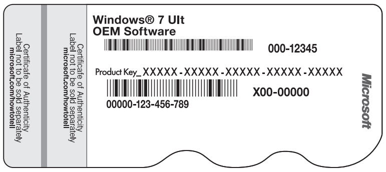
⚠「OS なし」でパソコンをご購入いただいた場合は、COA ラベルは貼られておりません。

COA（Certificate of Authenticity）ラベルの確認

COA（Certificate of Authenticity）ラベル
OS インストールモデルの場合、「プロダクトキー(Product Key)」記載の下記ラベル等が、Diginnos パソコンに貼付されています。本ラベルは再発行できませんので剥がさないようにお願いいたします。

Windows 8 の COA ラベル

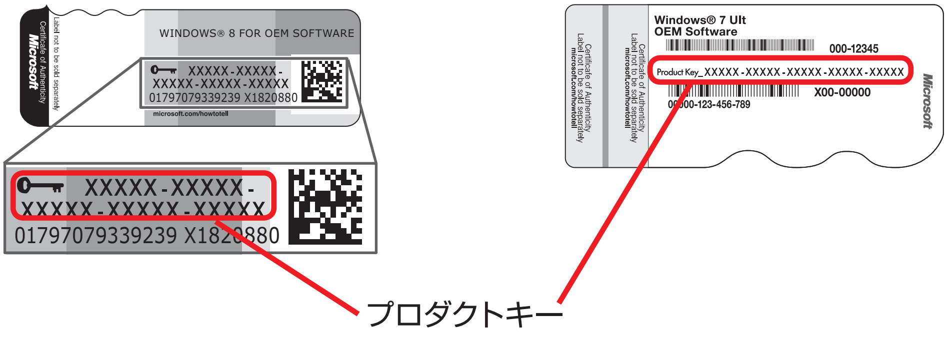
Windows 7 の COA ラベル



プロダクトキーの確認

プロダクトキー（Product Key）は、COA ラベルに Product Key と記載されている“−”で区切られた 25 桁の英数字です。

Windows 8 の COA ラベル　　Windows 7 の COA ラベル



プロダクトキーの確認

COA ラベル貼付位置の確認

COA ラベルは Diginnos ノートパソコンの底面に貼付してあります。
ご確認ください。

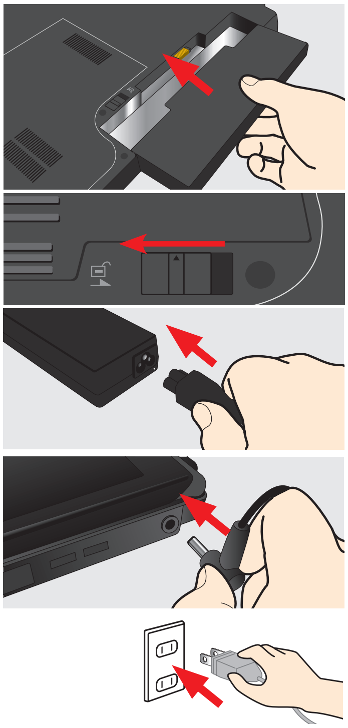
COA ラベル貼付位置：赤枠

電源を入れる・電源を切る

電源を入れる

パソコンの電源の入れ方は、次のとおりです。

❶ アダプターとバッテリーを接続します



セットアップ中に電池切れを起こさないために
アダプターを接続した状態で作業します。

■バッテリーをパソコンに接続します。

■接続したバッテリーをロックします。

■アダプターに電源ケーブルを差し込みます。

■アダプターをパソコンに接続します。

■アダプターをコンセントに差し込みます。

⚠ ケーブルを接続する際は、コネクタを持ち垂直に差し込んでください。

⚠ 製品に付属されているアダプターをご利用ください。
他製品のアダプターを使用しないでください。

❷ パソコンの電源スイッチを押して電源を入れます

❸ 起動すると画面に Diginnos ロゴ画面が表示され、インストールされている OS が起動します

④ 初めてご利用する時はOSのセットアップ、またはOSのインストールを行う必要があります

ご購入のモデルに合わせて、下記手順に沿って作業を行います。

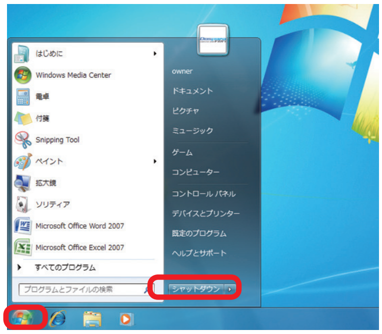
■ OS 付属モデルをご購入の方　Windows 7 のセットアップ : 21 ページへ
Windows 8 のセットアップ : 24 ページへ

■ OS なしモデルをご購入の方　Windows 7のインストール : 60 ページへ
Windows 8 のインストール : 68 ページへ

Windows 7 モデル 電源の切り方（シャットダウン方法）

■ 通常時の電源の切り方

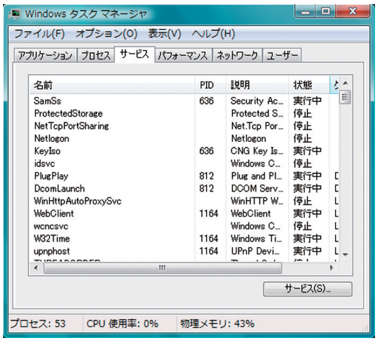
[スタートメニュー] をクリックして開き、[シャットダウン] をクリックして終了します。

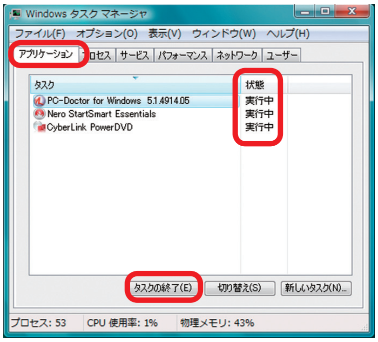


■ Windows 7 がフリーズして終了操作ができないとき

タスクマネージャーでフリーズしているソフトを強制終了します。

1. 「タスクマネージャー」を表示します。
   キーボードの［Ctrl］＋［Shift］＋［ESC］を同時に押し、［タスクマネージャー］を起動します。
2. アプリケーションのタスク状態を確認します。
   [応答なし] などの状態になっている場合は、その項目をクリックし、[タスクの終了] をクリックすると、そのプログラムを強制的に終了させることができます。





タスクマネージャーとは

現在起動されているプログラムの状態を確認したり、プログラムを強制的に終了させることができるソフトウェアです。一部ソフトのフリーズは強制終了することにより、Windows に復帰できる場合があります。

タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで電源スイッチを押し続けてパソコンを強制終了します。

⚠ パソコンの強制終了は、データやプログラムの破損や消失を起こす危険性があるため緊急時以外は実行しないでください。

電源を入れる・電源を切る

Windows 8 モデル 電源の切り方（シャットダウン方法）

■ 通常時の電源の切り方

1. 設定チャームを表示します。
   ①画面右上までカーソルを移動して「チャーム」を開きます。
   ②［設定］をクリックします。

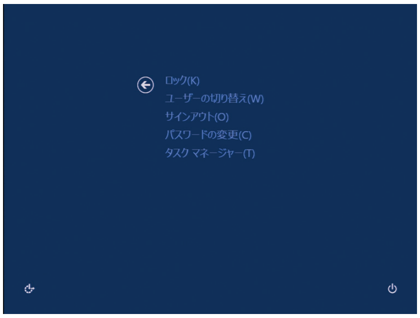
2. 終了方法を選んで終了します。
   「設定チャーム」の［電源］をクリックして、表示される終了方法から［シャットダウン］をクリックして終了します。

> ワンポイント
> [Windows キー＋ I キー] を同時押しすることでも「設定チャーム」を開くことができます。

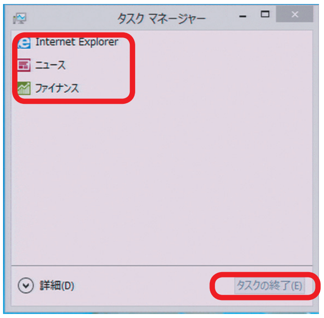
■ Windows 8 がフリーズして終了操作ができないとき

タスクマネージャーでフリーズしているアプリを強制終了します。

1. 「タスクマネージャー」を表示します。
   キーボードの[Ctrl] +[Shift] +[ESC] を同時に押し、［タスクマネージャー］を起動します。



2. 指定のアプリのタスクを終了します。
   ［動作の止まってしまったアプリなどを指定して、［タスクの終了］をクリックすると、そのアプリを強制的に終了させることができます。



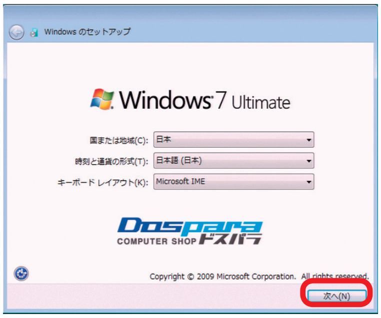
> ワンポイント
> タスクマネージャーの［詳細］をクリックすると、各アプリの CPU やメモリ等の使用率が表示されます。

タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで電源スイッチを押し続けて強制終了します。

Windows 7 のセットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境を設定（セットアップ）する必要があります。
下記手順に沿ってセットアップし、パソコンを使用できる状態にしましょう。
セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めましょう。

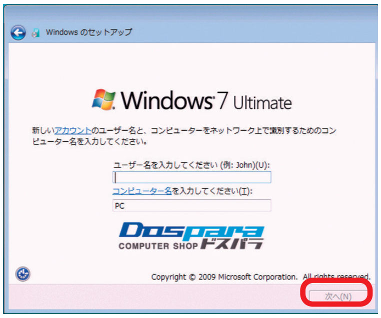
❶「言語の設定」が表示されます



「国または地域」「時刻と通貨の形式」「キーボードレイアウト」の設定をします。通常は設定を変更する必要はありません。

設定が完了したら [次へ] をクリックします。

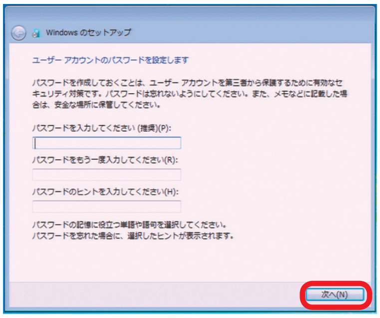
❷「新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください。」が表示されます



例を参考にユーザー名とコンピューター名を入力し［次へ］をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名には日本語も使用できます。

❸「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」が表示されます



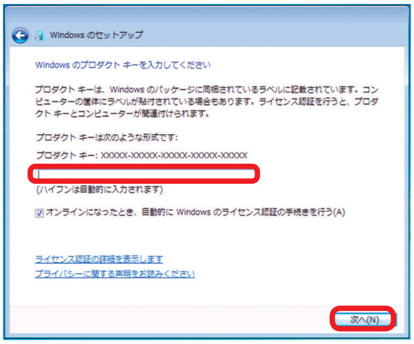
パスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。

次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントを入力します。その後「次へ」をクリックします。

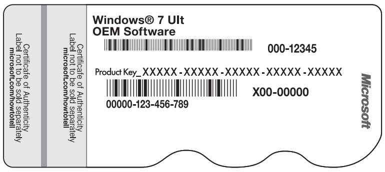
※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。

④「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力して[次へ] をクリックします。



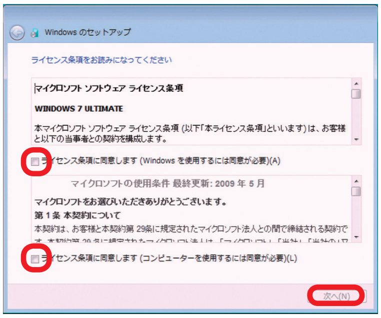
Windows 7インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。（貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください）



⑤「ライセンス条項」が表示されます

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」「マイクロソフトの使用条件」を確認し、「ライセンス条項に同意します」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。

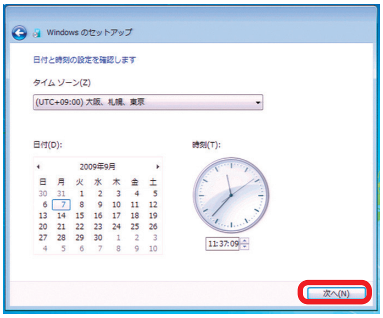


⑥「コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください」が表示されます

「推奨設定を使用します」をクリックします。

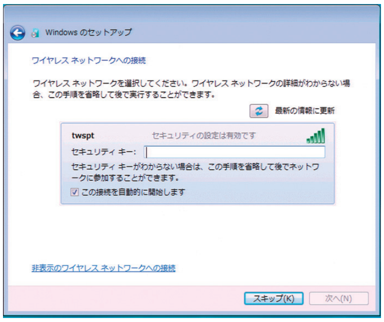
※推奨設定以外でも先に進むことはできます。それぞれの内容は画面の[それぞれのオプションについての詳細情報を表示します]をクリックし、確認してください。

⑦「日付と時刻の設定を確認します」が表示されます



「タイムゾーン」「日付」「時刻」を確認します。設定が異なっている場合には、修正した後［次へ］をクリックします。

⑧「ワイヤレスネットワークへの接続」が表示されます

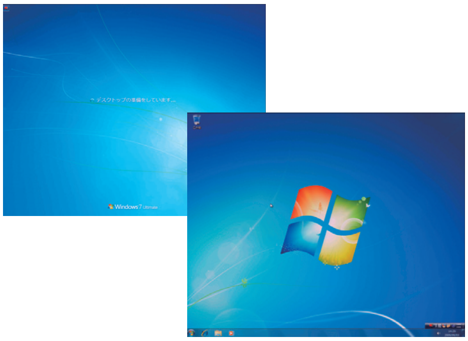


表示されているリストから、ご利用環境のアクセスポイントに設定されているワイヤレスネットワーク名をクリックします。次にセキュリティキーの入力を求められますので、設定されているセキュリティキーを入力してください。

※ワイヤレスネットワークを準備していない場合でも、近隣のワイヤレスネットワークが表示される場合がありますが、そのまま「スキップ」をクリックしてください。

※ご利用環境にワイヤレスネットワークがない場合は、本項目はスキップされます。

⑨これで Windows 7 のインストールは完了しました



「デスクトップの準備をしています」が表示されます。

そのままの状態でしばらくお待ちください。

Windows 7のデスクトップ画面が表示されたらセットアップ完了です。

⑩ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）

Windows 7インストール完了後､必ず 30 日以内にライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行ってください。
詳しい認証方法は、67ページ「プロダクトアクティベーションの方法」をご参照ください。

プロダクトアクティベーションとは？

● 「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

● Windows 7インストール後 30 日以内にライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行わないと Windows 7 が使えなくなります。

Windows 8 のセットアップ

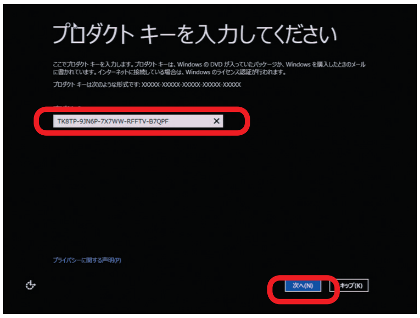
Windows 8 のセットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境を設定（セットアップ）する必要があります。
下記手順に沿ってセットアップし、パソコンを使用できる状態にしましょう。
セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めてください。

❶「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。

Windows 8 インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています（貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください）。



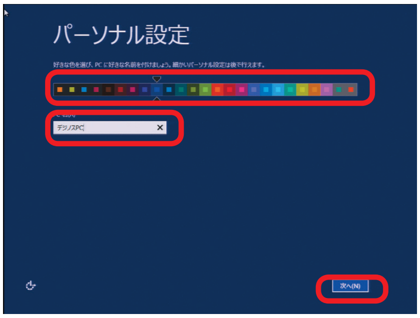
❷「ライセンス条項」が表示されます

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」「マイクロソフトの使用条件」を確認し、「ライセンス条項に同意します」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。

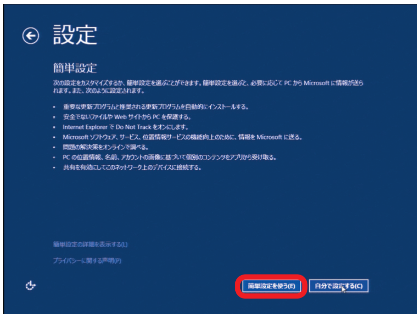
❸「パーソナル設定」が表示されます

Windows 8 スタイルのベース色の設定と、コンピューター名を入力して [次へ] をクリックします。



❹「設定」が表示されます

「簡単設定を使う」をクリックします。
各種設定を行いたい場合は「自分で設定する」を選択して、表示される内容に沿って設定を行ってください。



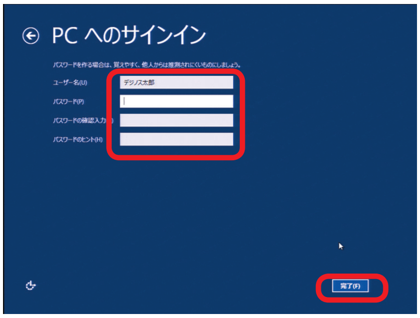
❺「PC へのサインイン」が表示されます

パソコンがインターネットに接続されていない場合

ユーザー名とパスワードを入力します。
パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントです。

その後 [次へ] をクリックします。

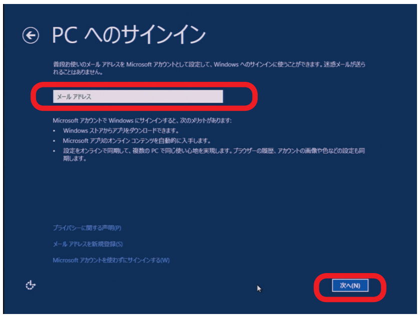
※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



パソコンがインターネットに接続されている場合

Microsoft アカウントを作成します。アカウント作成に使用するメールアドレスを設定します。

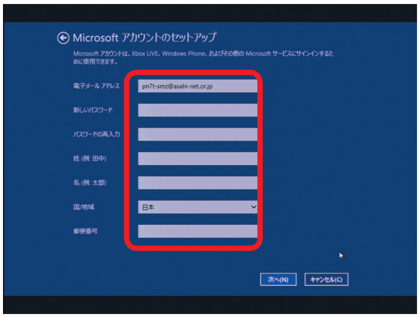
※ Microsoft アカウントを、既に登録されている場合は、登録されているメールアドレスを入力します。



> Microsoft アカウントとは、今までの Windows Live ID です。このアカウントは、Hotmail、SkyDrive、Windows Phone、Xbox LIVE などのサービスへのサインインに使用するアカウントです。これらのサービスを、既に使用されている場合は登録済みのアカウントをご使用ください。

「Microsoft アカウントのセットアップ」が表示されます。必要情報を登録して「次へ」をクリックします。

※ Microsoft アカウントに登録済みのメールアドレスを入力した場合は、パスワードの入力を求められます。

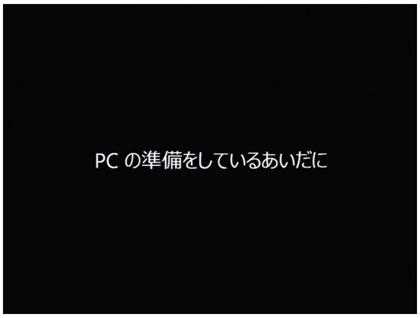


⑥ これで Windows 8 のインストールは完了しました

設定作業が完了して、最終処理が完了すると Windows 8 が起動します。

起動時に表示される指示に従いマウスカーソルを画面右上の角に合せます。

Windows 8 が起動すると画面右端にチャームが表示された状態で起動します。



⑦ ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）

Windows 8 セットアップ完了後、すぐにライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行う必要があります。
ライセンス認証はパソコンがインターネットに接続されると自動で行われます。ネット環境がない場合は、手動にてライセンス認証を行う必要があり、作業方法は73ページ「プロダクトアクティベーションの方法」をご参照ください。

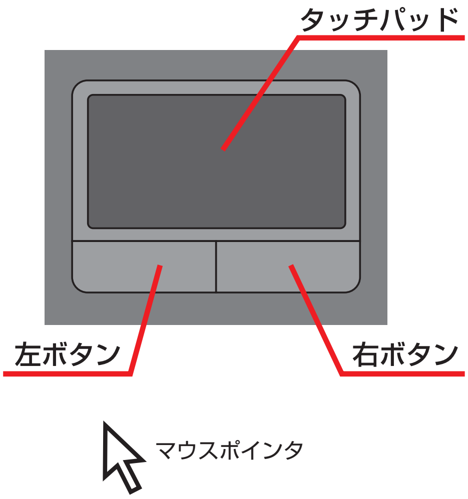
プロダクトアクティベーションとは？
「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows® 8」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

キーボード・タッチパッドの使い方

タッチパッドの使い方

タッチパッドはマウスの代わりにノートパソコンに搭載されている入力機器です。

場所を取らず、何処ででも使用できます。
下記の操作法は一例です。モデルにより操作方法が変わる場合がありますのでご了承ください。



■ ポインタの操作

タッチパッドの上に指を置き移動させせます。タッチパッドの端までできましたら、指を持ち上げてタッチパッドの中心に戻します。

■ マウスボタン・ホイールの操作

クリック [選択]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを 1 回カチッと押します。または、タッチパッドを 1 回軽くたたきます。
ダブルクリック [ソフトの起動・実行]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを2回カチカチッと押します。またはタッチパッドを 2 回軽くたたきます。
右クリック [関連メニュー画面の表示]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、右ボタンを 1 回カチッと押すと関連したメニュー画面が表示されます。
ドラッグアンドドロップ [ファイルの移動など]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままカーソルを目的の場所まで移動して左ボタンを離します。または、タッチパッドを2回軽くたたき指を離さず、カーソルを目的の場所まで移動して指を離します。
スクロール [上下への移動]	対象のウィンドウを選択し、タッチパッドの右端に指を置き上下に移動させると、選択されているウィンドウの表示が上下にスクロールします。

■ タッチパッドの設定変更

マウスのプロパティを開きます。

・Windows 7
[スタートメニュー(「スタート」画面で右クリック→すべてのアプリ)] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [マウス] → [マウスのプロパティ]

上のボタンタブからクリックの反応速度、ポインタオプションタブからポインタの移動速度を使いやすさに合わせて調節してください。調節が終わったら下の [OK] をクリックして設定します。

⚠ 購入時の構成により上記の方法ではなく、専用の設定ソフトで設定する場合があります。

キーボード・タッチパッドの使い方

タッチパッドの停止方法

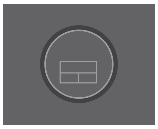
タッチパッドを使用しない場合、動作を停止することができます。
モデルにより停止スイッチが付いているものとソフトウェアで停止するものがあります。

⚠ モデルによりタッチパッドの停止ができないモデルもあります。

■スイッチ設定

タッチパットのオン・オフをスイッチで変更できる機種は右図のようなスイッチが付いていたり、キーボードにスイッチが割り当てられています。

このスイッチによりタッチパッドのオン・オフを設定します。



例：Fn+F9

⚠ キーボードにスイッチが割り当てられている場合は「Fn キー」と同時に押すことで設定をします。

■ソフトウェア設定（マウスのプロパティ）

タッチパットのオン・オフをソフトウェア設定で変更できる機種はマウスのプロパティ設定で行います。

● マウスのプロパティの表示方法

・Windows 7
[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [マウス] → [マウスのプロパティ]

・Windows 8
[スタート画面で右クリック] → [すべてのアプリ] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [マウス] → [マウスのプロパティ]

● タッチパッドの設定

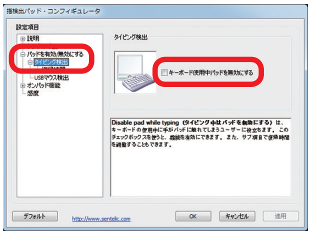
タッチパッド設定用ソフトウェアには主に下記の２種類があります。

A：「Sentelic」設定方法

「マウスのプロパティ」で［指検出パッド］を選択して［設定する］をクリックし「指検出パッド・コンフィギュレーション」を表示します。

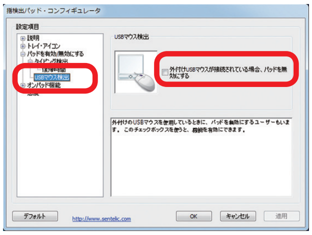
A - 1：タイピング検出

「キーボード使用中にパッドを無効にする」にチェックを入れ［OK］をクリックします。



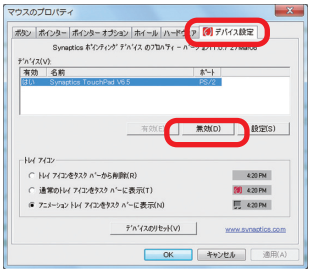
A - 2：USB マウス検出

「外付け USB マウスが接続されている場合、パッドを無効にする」にチェックを入れ［OK］をクリックします。



B：「Synaptics」設定方法

「マウスのプロパティ」で［デバイス設定］を選択して［無効］をクリックします。

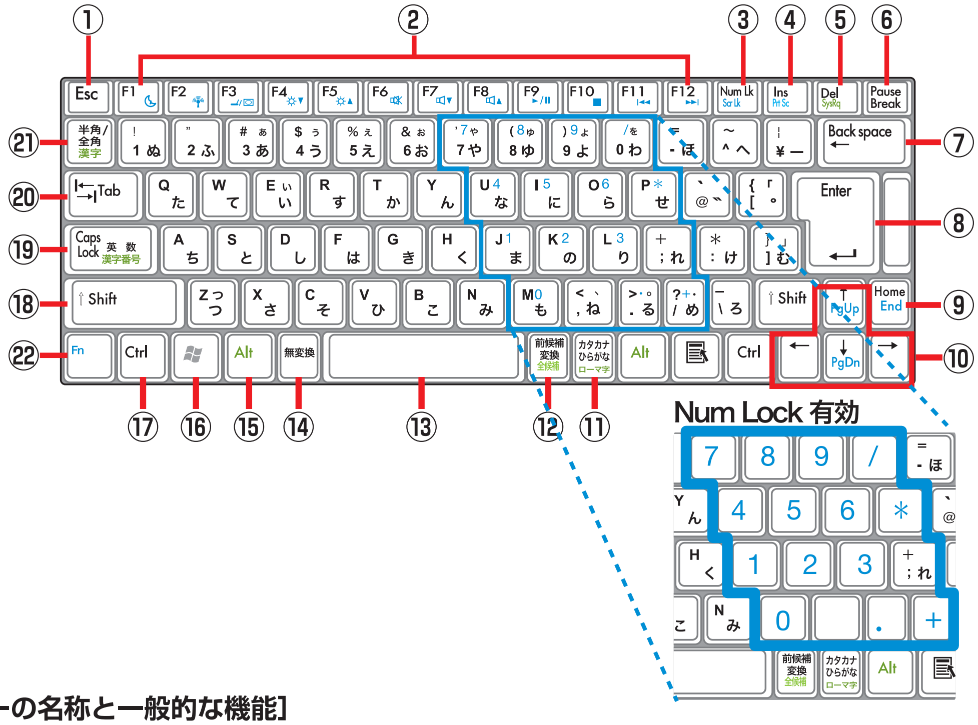


キーボード・タッチパッドの使い方

キーボードの使い方

ノートキーボード（日本語対応）の説明をします。
ご購入時の構成によりキーの配置は変わりますのでご了承ください。

キーボード配列



[キーの名称と一般的な機能]

①	**ESC** エスケープ	現在の作業を取り消します。
②	**F1 ～ F12** エフ 1 ～ 12	特定の機能が割り当てられたキーです。 ソフトにより割り当てられる機能が異なります。
③	**Num Lock** ナムロック	「Num Lock」を有効にするとアルファベットキーの一部を「テンキー入力用」に切り替えます。「Num Lock」を有効にすると図の青枠内のアルファベットキーがテンキーとして使用できます。切り替わる役割は、各キートップに一回り小さく違う色で印字されています。
④	**Insert** インサートキー	挿入モードのオンとオフを切り替えます。挿入モードがオンの場合は、入力したテキストがカーソル位置に挿入されます。挿入モードがオフの場合は、入力したテキストが既存の文字列と置き換わります。解除するには、再度 [Insert] キーを押してください。
⑤	**Delete** デリートキー	カーソルの後にある 1 文字、または選択したテキストを削除します。
⑥	**Pause/Break** ポーズブレーク	このキーは通常使用しません。
⑦	**Back Space** バックスペースキー	カーソルの直前にある文字、または選択したテキストを削除します。
⑧	**Enter** エンターキー	入力内容を確定します。次の行の先頭へカーソルを移動します。ダイアログボックスで Enter キーを押すと、強調表示されたボタンを確定できます。
⑨	**Home** ホームキー	行の先頭、または Web ページの最上部にカーソルを移動します。

⑩	↑ ↓ ← → カーソルキー	カーソルや選択項目を、矢印の方向に 1 スペース分または 1 行分移動します。 あるいは、矢印の方向に Web ページをスクロールします。
⑪	カタカナ・ひらがな / ローマ字	日本語入力システムがオンのとき、Alt+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」を押すと、ローマ字入力とかな入力が切り替わります。Shift+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」押すと、カタカナモードになります。解除するには、再度［カタカナ・ひらがな / ローマ字］キーを押します。
⑫	変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。入力済みの文字を指定して変換します。
⑬	スペース	空白を入力します。また、日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。
⑭	無変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」、に変換します。入力済みの漢字などを指定して、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」に変換します。
⑮	Alt オルトキー	他のキーと同時に押すことで、様々な機能を実行します。 参照：31 ページ Windows 共通ショートカット一覧
⑯	Ctrl コントロールキー	
⑰	Shift シフトキー	
⑱	Windows キー ウインドウズキー	[スタート] メニューを開きます。また [Windows キー] と他のキーを同時に押すことによって、ショートカットとして操作します。
⑲	Caps Lock キャップスロックキー	Caps Lock がオンになっているときは、アルファベットが大文字で入力されます。 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押すことで、Caps Lock をオンにします。 [Caps Lock] をオンにすると、キーロック表示ランプの Caps Lock ランプが点灯します。解除するには、再度 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押してください。
⑳	Tab タブキー	文章入力時に、カーソルを一定文字数だけ前方へ移動します。 またフォームに記入する際、次のテキストボックスへ移動します。
㉑	半角 / 全角、漢字	日本語入力システムをオン・オフします。
㉒	Fn エフエヌキー	他のキーと同時に押すことで、様々な機能を実行します。 切り替わる役割は、各キートップに一回り小さく違う色で印字されています。(FN との組合で切り替わる役割や配置、シンボルマークは、ご購入時の構成により変わります)

[Fn キーとの組合せと機能]

Fn+F1	スリープモードに入る
Fn+F2	無線LANのオン･オフ切り替え
Fn+F3	外付けディスプレイとの表示切り替え
Fn+F4	液晶ディスプレイの明るさを下げる
Fn+F5	液晶ディスプレイの明るさを上げる
Fn+F6	スピーカのオン / オフ切り替え
Fn+F7	音量を下げる
Fn+F8	音量を上げる
Fn+F9	再生 / 一時停止
Fn+F10	停止
Fn+F11	前のトラック / チャプタへ
Fn+F12	次のトラック / チャプタへ

Fn+ NumLK	Scr Lk（スクロールロック）: 通常使用しません。
Fn+In	PrtSc（プリントスクリーン）: 画面全体のイメージ (スクリーン ショット) がキャプチャされ、クリップボードにコピーされます。 コピーしたイメージは、Microsoft ペイントなどの描画ツールに画像として貼り付けることができます。
Fn+ Home	End（エンドキー）: 行の末尾、または Web ページの最上部にカーソルを移動します。
Fn+ ↑	PgUp:（ページアップキー）カーソルまたはページを 1 画面上へ移動します。
Fn+ ↓	PgDn:（ページダウンキー）カーソルまたはページを 1 画面下へ移動します。

Windows 共通ショートカット一覧

目的	キー操作　「＋」 は同時に押します。 「⇒」 は連続して押します。
[スタート] メニューの表示と非表示を切り替える	Windows キー
タスクバーの通知領域にフォーカスを設定する	Windows キー ＋ B
デスクトップを表示する	Windows キー ＋ D
エクスプローラを開く	Windows キー ＋ E
ファイルまたはフォルダを検索する	Windows キー ＋ F
ネットワークドメインに接続しているときにコンピュータをロックする。または、ネットワークドメインに接続していないときにユーザーを切り替える	Windows キー ＋ L
すべてのウィンドウを最小化する	Windows キー ＋ M
[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開く	Windows キー ＋ R
ユーティリティ マネージャを開く	Windows キー ＋ U
Windows ヘルプを表示する	Windows キー ＋ F1
[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示する	Windows キー ＋ Pause/Break
最小化したウィンドウを復元する	Windows キー ＋ Shift ＋ M
選択した項目をコピーする	Ctrl キーを押しながら項目をドラッグアンドドロップする
すべて選択する	Ctrl ＋ A
コピーする	Ctrl ＋ C
切り取り	Ctrl ＋ X
貼り付け	Ctrl ＋ V
元に戻す	Ctrl ＋ Z
カーソルを前の段落の先頭に移動する	Ctrl ＋ ↑ (上矢印)
カーソルを次の段落の先頭に移動する	Ctrl ＋ ↓ (下矢印)
カーソルを次の単語の先頭に移動する	Ctrl ＋ → (右矢印)
カーソルを前の単語の先頭に移動する	Ctrl ＋ ← (左矢印)
複数の文書を同時に開くことができるプログラムで、作業中の文書を閉じる	Ctrl ＋ F4
[スタート] メニューを表示する	Ctrl ＋ Esc
ダイアログ内の次のタブに移動する	Ctrl ＋ Tab
選択した項目へのショートカットを作成する	Ctrl ＋ Shift キーを押しながら項目をドラッグアンドドロップする
テキスト ブロックを強調表示する	Ctrl ＋ Shift ＋ 方向キー
ダイアログ内の前のタブに移動する	Ctrl ＋ Shift ＋ Tab
ウィンドウを最小化する	Ａｌｔ＋Ｓｐａｃｅ⇒Ｎ
ウィンドウを最大化する	Ａｌｔ＋Ｓｐａｃｅ⇒Ｘ
ウィンドウを元のサイズに戻す	Ａｌｔ＋Ｓｐａｃｅ⇒Ｅｎｔｅｒ
ウィンドウを閉じる	Ａｌｔ＋Ｆ４
ヘルプを表示する	F1
選択した項目の名前を変更する	F2
ファイルまたはフォルダを検索する	F3
マイ コンピュータまたはエクスプローラでアドレス バーの一覧を表示する	F4
作業中のウィンドウを最新の情報に更新する	F5
ウィンドウ内またはデスクトップ上の画面要素を切り替える	F6
作業中のプログラムのメニュー バーをアクティブにする	F10

注意：一部のアプリケーションにおいて使用できない場合があります。

Windows 8 追加ショートカット一覧

目的	キー操作　「+」 は同時に押します。
チャームバーと時計を表示する	Windows キー + C
[設定] チャームを開く	Windows キー + I
[デバイス] チャームを開く	Windows キー + K
[共有] チャームを開く	Windows キー + H
[設定] を選択して [検索] チャームを開く	Windows キー + W
[ファイル] を選択して [検索] チャームを開く	Windows キー + F
[アプリ] を選択して [検索] チャームを開く	Windows キー + Q
デスクトップを表示する	Windows キー + D
システムコマンドを表示する	Windows キー + X
アプリ履歴を切り替える	Windows キー + Tab
言語または入力方式を切り替える (複数の言語または入力が有効である場合)	Windows キー + スペースキー
現在のアプリのコマンドまたはオプションを開く (アプリで複数定義されている場合)	Windows キー + Z
ナレーターを開く	Windows キー + Enter
画面上の通知を切り替える	Windows キー + V
マルチディスプレイ環境で [スタート] 画面を移動させる	Windows キー + Page UP / Page Down
画面の向きのロックのオン / オフを切り替える (PC に画面方向の切り替え機能がある場合)	Windows キー + O
アプリをスナップするときに、画面上のアプリのフォーカスを切り替える	Windows キー + ' (アポストロフィ)
アプリをスナップするときに、スプリットを右に移動させる	Windows キー + . (ピリオド)
アプリをスナップするときに、スプリットを左に移動させる	Windows キー + Shift + . (ピリオド)
すべてのアプリを表示する	スタート画面で Ctrl + Tab
タイルを拡大 / 縮小	スタート画面で Ctrl + マウスのホイール
	スタート画面で Ctrl + + (プラス) / - (マイナス)

画面解像度の設定

接続したディスプレイや、使いやすさに合わせて画面解像度を設定しましょう。

Windows 7/8 での画面解像度設定

①「コントロールパネル」を選択

Windows 8 の場合

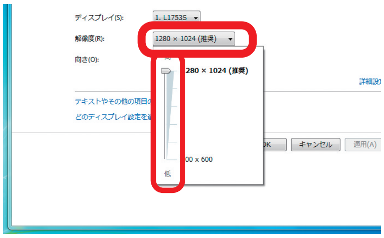
[Windows キー +X キー] → [コントロールパネル] →デスクトップのカスタマイズ内の [画面解像度の調整] を選択し「ディスプレイ表示の変更」を表示します。

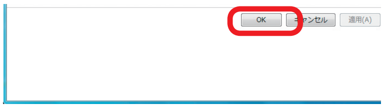
Windows 7 の場合

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] →デスクトップのカスタマイズ内の [画面解像度の調整] を選択し「ディスプレイ表示の変更」を表示します。

② ディスプレイ表示の変更

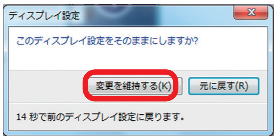
[解像度] プルダウンメニューを開き、つまみを上下に動かして変更します。変更が終わったら [OK] をクリックしてください。





③「ディスプレイ設定」が表示されます

「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」と質問が表示されるので、[変更を維持する] をクリックしてください。



ワンポイント

液晶ディスプレイで文字がにじむ

画面解像度を使用しているディスプレイの最大解像度に設定してください。液晶ディスプレイはそのディスプレイの最大解像度で使用することが推奨されています。

推奨以外の解像度で使用すると、にじみなどの状態が見られる場合がありますのでご注意ください。

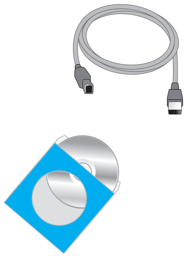
周辺機器の接続

各周辺機器の接続方法は、接続機器の取扱説明書を確認し作業手順に沿ってください。
取り付け作業の一例としてプリンターの接続方法を記載いたします。

⚠ 参考例であり、ご使用のプリンターにより作業内容が変化します。

❶ 必要なものを準備する

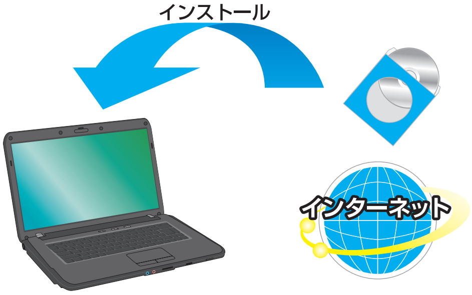
●プリンター
●ドライバー CD/DVD
●接続ケーブル（USB ケーブル）



※製品に添付されているドライバー CD/DVD が
ご使用の OS に対応しているかご確認ください。
※ドライバー CD/DVD がない場合は、インターネットにて
製造メーカーのウェブサイトからドライバーをダウンロードすることもできます。

❷ ドライバーのインストール

ドライバー CD/DVD をドライブに入れ「SETUP.EXE」の実行または、自動再生から起動するメニューの操作に沿ってドライバーをインストールしてください。



❸ プリンターの接続

プリンターを接続すると、デバイスが検出され接続及びドライバーが自動でインストールされます。

画面に表示があるときは、表示の手順に沿ってインストールしてください。

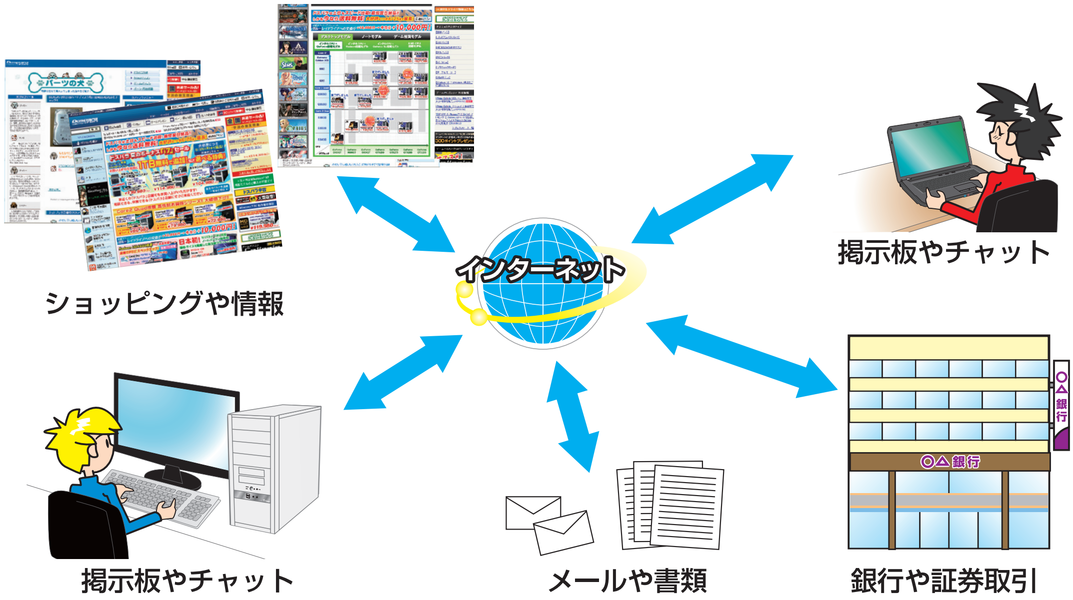
ワンポイント

周辺機器によってはドライバーのインストール前にパソコンへ接続すると正しく動作しないものがあります。周辺機器を接続する際は付属されている取扱説明書をよく読み、正しい手順でドライバーをインストールします。

インターネット接続

インターネットとは

インターネットとは世界中のコンピューター同士を接続した巨大なネットワークです。
インターネット上にはニュースや商品情報、サービス情報や様々な知識などの、あらゆる情報が公開されています。こうした情報はキーワードから検索することができるため、日常生活から専門分野まで幅広い知識を活用することができます。その他にメールをしたり、ショッピングをしたり、銀行振込や証券取引などを自宅に居ながら行うこともできます。
また情報は見るだけでなく、掲示板やチャットでコミュニケーションをしたり、ウェブページやブログ（インターネットで公開する日記）を作ることで、自分から情報を発信することもできます。インターネットをうまく活用して、楽しいパソコンライフを送りましょう！



インターネットの種類

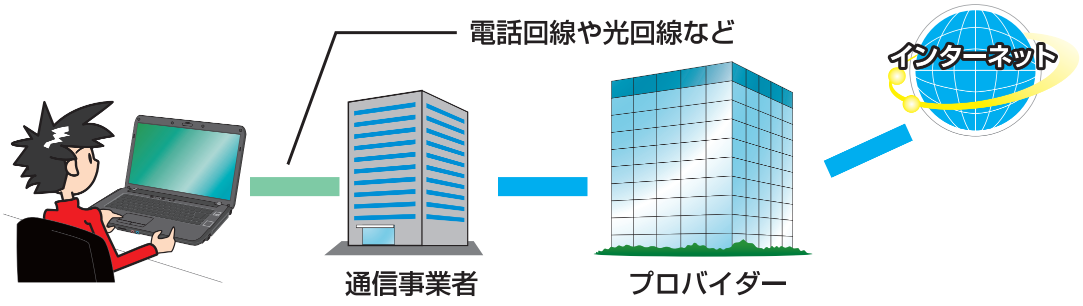
インターネットには様々な接続方法がありますので、ご利用環境に合わせて接続方法をご選択ください。
なお初めてインターネット接続される場合には回線工事が必要になりますが、建物によっては回線工事を行えない場合があります。事前に住宅管理会社などに確認をしましょう。

接続方法	通信速度	特徴
FTTH（光ファイバー）	速い	現状、一番安定して速いデータ通信が可能です。 専用の光回線を引く必要があります。
ADSL	普通	電話回線を利用するためサービス提供エリアが広いです。 中継局との距離が長いと、データ通信が遅くなります。
CATV インターネット	普通	ADSL に比べてデータ通信が安定しています。 CATV（ケーブルテレビ）の専用線が必要です。

インターネット接続

プロバイダーと契約

インターネットに接続するには、プロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させる必要があります。目的やご利用環境に合わせてプロバイダーと接続方法を選択しましょう。接続方法や通信速度、料金等はプロバイダーによって異なります。詳しい内容は各プロバイダーに直接お問い合わせください。



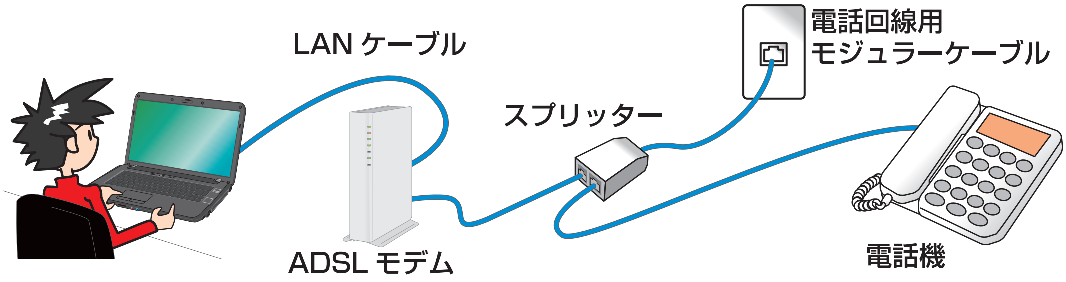
インターネットに接続する

プロバイダーと契約すると、インターネットへの接続に必要な ID やパスワード、メールアドレスなどの設定情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。

プロバイダーの説明書を参考に接続設定をしてください。

例：ADSL 接続

（下記の接続例は一例であり、ご契約業者により接続方法が違う場合があります）



インターネット接続

インターネットを使う上での注意

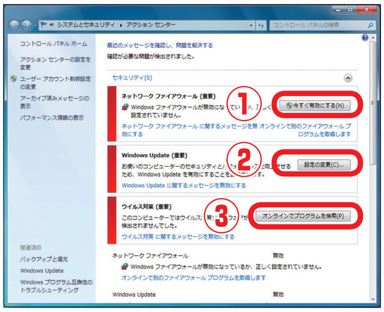
インターネットは便利な反面、コンピューターウイルスやスパイウェア、不正な接続によりパソコンが被害を受けたり、個人情報を盗まれてしまう場合があります。
これらの被害に対してはセキュリティ対策を行って、自らを守る必要があります。Windows セキュリティセンターやセキュリティソフトなどを設定し、対策をしましょう。

無線 LAN 接続時の注意

無線 LAN は電波を利用して情報のやり取りを行うので、電波の届く範囲であれば自由にインターネットに接続することができます。その反面、電波の届く範囲にいる第三者に通信内容を盗み見られたり、不正侵入されてしまう可能性があります。そのため、無線 LAN を使用する際は必ずセキュリティ対策を行いご利用ください。
セキュリティ対策については、ご使用のアクセスポイント（無線 LAN ルータ）の説明書をご確認ください。

セキュリティ対策を行いましょう（アクションセンター）

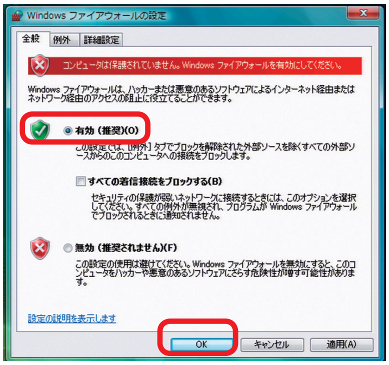
■ Windows 7 の場合



アクションセンターから設定を変更することができます。

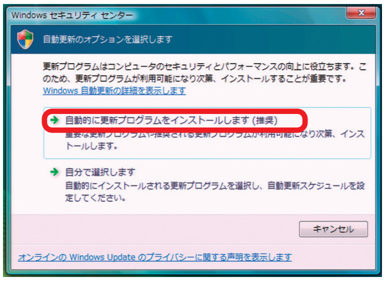
[スタート] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [アクションセンター] を選択して表示します。

各項目がすべて有効になっていればセキュリティー対策が行われています。
各項目がすべて有効になっていればセキュリティ対策が行われています。有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③・④をクリックして設定を有効にしてください



① ネットワークファイアウォール

[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows ファイアウォールが有効になります。



② Windows Update

[今すぐ有効にする] をクリックすると「Windows Update のオプション選択をしてください」が表示されます。
[自動的に更新プログラムをインストールします] を選択して [OK] をクリックしてください。

③ ウイルス対策・マルウェア対策

Windows 7 にはコンピューターウイルスの対策ソフトは標準では用意されていません。ウイルス感染を防ぐために、セキュリティソフトウェア（アンチウイルスソフトウェア）を導入し対策をしましょう。

セキュリティソフトウェアは無料のものと販売されているものがあり、ソフトウェアによって機能が異なります。各種ソフトウェアを比較して、お客様のご利用形態に合ったものを導入して対策しましょう。

> ワンポイント
>
> Microsoft でも、無料ウイルス対策ソフト「Microsoft Security Essentials」が提供されています。下記のウェブサイトをご覧ください。
>
> http://www.microsoft.com/security_essentials/?mkt=ja-jp

インターネット接続

■ Windows 8 の場合

アクションセンターから設定を変更することができます。

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [アクションセンター] を選択して表示します。

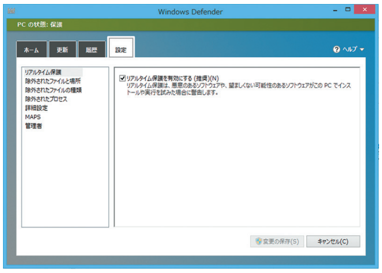
各項目がすべて有効になっていればセキュリティー対策が行われています。
有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③・④をクリックして設定を有効にしてください。
右の写真は無効状態のものです。

① ネットワークファイアウォール

[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows ファイアウォールが有効になります。

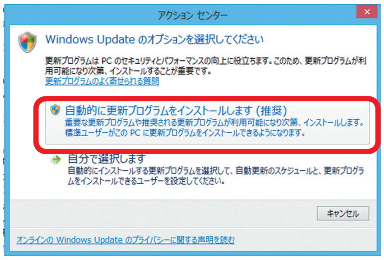
② スパイウェアと不要なソフトウェアの対策、ウイルス対策

[今すぐ有効にする] をクリックすると、「Windows Defender」が表示され [リアルタイム保護を有効にする] が設定されます。



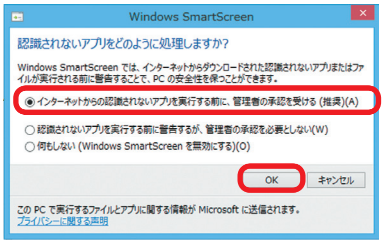
③ Windows Update

[今すぐ有効にする] をクリックすると、「Windows Update のオプション選択をしてください」が表示されます。[自動的に更新プログラムをインストールします] を選択してください。



④ Windows SmartScreen の有効化

[今すぐ有効にする] をクリックすると、「Windows SmartScreen の設定」画面が表示されます。
[インターネットからの認識されないアプリを実行する前に、管理者の承認を受ける] を選択して [OK] をクリックしてください。

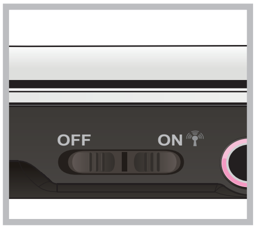


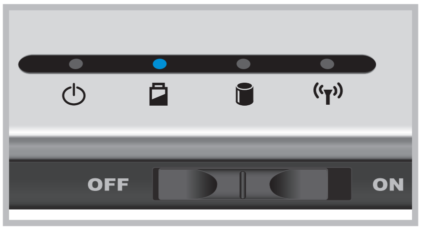
無線LANの設定および使用方法

無線LANが内蔵されているノートパソコンは、「無線アクセスポイント」を準備することにより、無線LANでインターネットに接続できます。自由に部屋の中を移動して、インターネットを楽しみましょう。

無線 LAN の ON・OFF

無線LANを使用する場合は、無線LANのスイッチを入れましょう。
モデルにより、専用のスイッチが付いているものやキーボードにスイッチが割り当てられているものがあります。
無線LANを使用していないときは省電力やセキュリティのためにOFFにしましょう。





例：Fn+F2

キーボードにスイッチが割り当てられている場合は「Fn キー」と同時に押し設定をします。

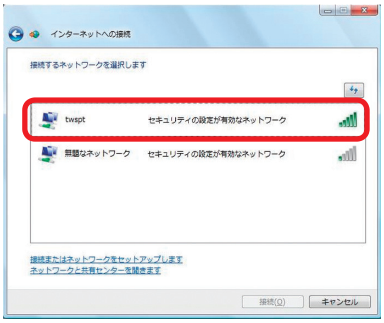
無線LANのスイッチやランプを示すマークの一例

無線LANの設定および使用方法

無線 LAN の設置方法

❶「接続するネットワークを選択します」を表示します

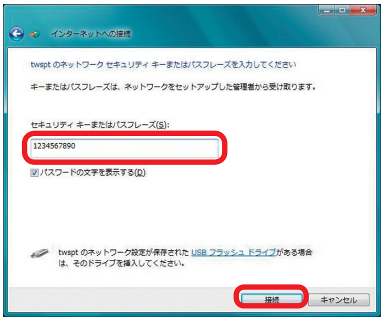
・[スタート] → [コントロールパネル] → [インターネットへの接続] → [ワイヤレス] を開きます。
・[接続するネットワークを選択します] に表示されているリストから、ご利用環境のアクセスポイントに設定されているワイヤレスネットワーク名をダブルクリックします。



⚠ 近くに別のワイヤレスネットワークがあると右記の図のように複数のワイヤレスネットワークが表示されます。間違って他者のワイヤレスネットワークに接続しないようにしましょう。

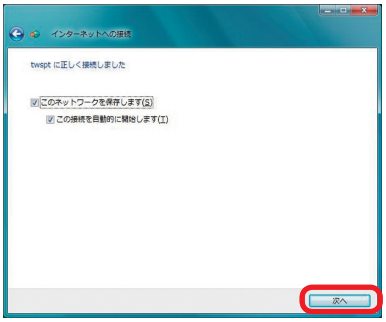
❷「ネットワークセキュリティキーまたはパスフレーズを入力してください」が表示されます

アクセスポイント（無線 LAN ルータ）で WEP 等（暗号化キー）を設定している場合はこの画面が表示されるので、アクセスポイン ト側で設定したネットワークキーを入力して [接続] をクリックします。
※ [パスワードの文字を表示する] にチェックを入れ、ネットワークキーの入力確認をすれば、誤入力を防げます。



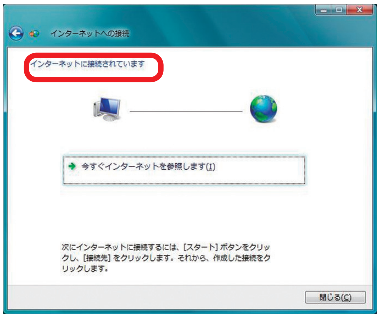
❸「正しく接続しました」が表示されます

今回設定した項目を保存し、次回から自動接続を行いたい場合はそのまま [次へ] をクリックします。



❹「インターネットに接続されています」が表示されます

[インターネットに接続されています] と表示されていれば無事アクセスポイントへの接続は完了です。



無線LANの設定および使用方法

無線 LAN の安全な使い方

無線 LAN は LAN ケーブル配線の必要がなく気軽にインターネットに接続できますが、セキュリティの設定を行わないと非常に危険です。不正利用や盗聴などを防ぐためにセキュリティ設定を行ってください。

セキュリティ設定を行わないと下記のような危険性があります。
・個人情報や機密情報を盗まれる
・データの削除や改ざんをされる
・自分になりすまし不正に情報をインターネットに流される

不正利用とは… 第三者が無断で自分のアクセスポイントに接続し、自分のネットトーワークやインターネッを利用することです。パソコンに保存している個人情報を盗み出したり、自分になりすまして、違法な行為を自分が行ったようにみせかけることができます。

盗聴とは……… 不正利用のうち、個人情報、メールのやり取りや閲覧したサイト、インターネットで入力した ID やパスワードなどを第三者が盗み出す行為のことです。

不正利用を防ぐセキュリティ設定

不正利用を防ぐには主に二つの方法があります。

- **MACアドレスフィルタリング**
  MAC アドレスはネットワーク機器に割り当てられている個別の番号です、世界中で同じ MAC アドレスのネットワーク機器はないようになっています。それを利用して、あらかじめアクセスポイントに接続できる MAC アドレスを登録することで、他の接続機器を接続できないようにします。
- **SSID の隠蔽**
  SSID とは、アクセスポイントの識別子（表札のようなもの）です、これを隠蔽する事により第三者が接続の設定をできないようにします。

⚠ 上記のセキュリティ設定を行うのは、アクセスポイント（無線LANルータ等）で設定を行います。設定方法につきましては、ご使用機器の説明書をご確認ください。

盗聴を防ぐセキュリティ設定

盗聴を防ぐにはデータを暗号化することで防ぎます。暗号化には2種類の規格があります。

- **WEP**
  暗号鍵を指定して暗号化します。40 ビット（半角英数字5文字）のものと 104 ビット（半角英数字 13 文字）の物が有り、104 ビットの物の方がより強固になります。
  しかしながら、WEP は既弱性が確認されており、悪意あるソフトウェアにより解読されてしまいます。そのため、WEP を利用する場合は、MAC アドレスフィルタリングの併用をお勧めいたします。
- **WPA（TKIP/AES）**
  WEP より強固な暗号化規格です。
  WPA - AES と WPA - TKIP の2種類があります。WPA - AES の方がより強固なものになり、8 文字から 63 文字か、64 桁の 16 進数（256 ビット）の暗号鍵を指定して暗号化します。

⚠ 上記のセキュリティ設定を行うのは、アクセスポイント（無線LANルータ等）とDiginnosパソコンの両方で設定を行います。アクセスポイントの設定方法につきましては、ご使用機器の説明書をご確認ください。Diginnosパソコンの設定方法は、41ページの「❷ネットワークセキュリティまたはパスフレーズを入力してください」をご確認ください。

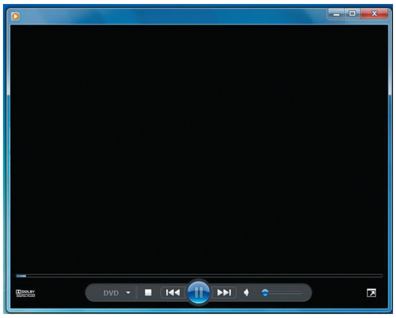
DVD ビデオの再生方法

Windows 7 の「Windows Media Player」で映画やアニメなどの DVD ビデオを見ることができます。「Windows Media Player　プレイ ビュー モード」の操作方法を説明します。

⚠ Windows8 は、DVD の再生に対応しておりません DVD を 再生する場合は、Windows Media Center か DVD 再生ソフトが必要になります。

DVD ビデオの再生

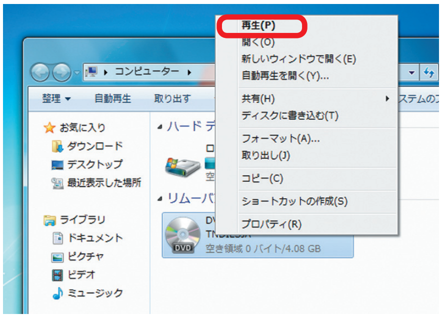
❶ 光学ドライブに DVD メディアを入れます



❷ Windows Media Player が起動し再生が始まります

・何も表示されない場合

［スタート］→［コンピューター］をクリックしてください。DVD ドライブで右クリックをして、メニューを開きます。
メニューから［再生（P)］をクリックしてください。再生が始まります。



ワンポイント
リージョンコードとは DVD-Video の再生可能な地域を限定するコードのことです。ドライブとメディアのリージョンコードが一致しないと再生できない仕組みです。日本国内の店頭で販売されているソフトはリージョンコード 2（日本･ヨーロッパ･南アフリカ）に指定されていますので、間違えないようにご注意ください。設定を変更することもできますが、回数に制限がありますので、変更しないでください。

操作ボタンの説明

光学ドライブへの書き込み方法

パソコンのデータ保存や音楽・映像メディアを作成することができます。

データの書き込み

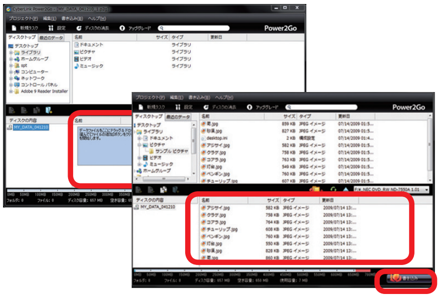
この項目では、データ書き込みソフト（Power2Go）を使用した、CD-R メディアへのデータの書き込み方法を説明します。

❶ ライティングソフト（Power2Go）の起動

・[すべてのプログラム］→［Cyberlink DVD Suite］→［Power2Go］→［Power2Go］をクリックします。

・「ディスクユーティリティ」が表示されます。[データディスク(メディアと書類ボタン)]をクリックします。下に表示された[CD]をクリックします。

❷ 書き込むデータの選択



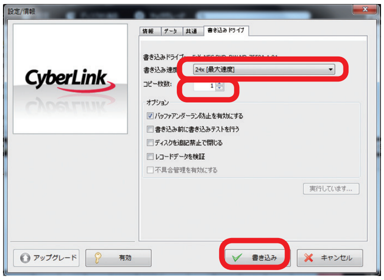
「Power2Go」が表示されます。

・使用する空の CD-R メディアを光学ドライブに入れます。

・書き込むデータを下段のウィンドウヘドラックアンドドロップしてください。

・書き込むデータの選択が終ったら、[書き込み］をクリックしてください。

❸ 書き込み設定

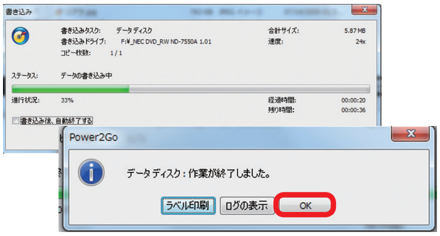


「設定／情報」が表示されます。

・コピー枚数 ：作成する枚数を設定します。

・設定完了後に［書き込み］をクリックしてください。

❹ 書き込み開始



書き込みが開始されますと、書き込みのプロセス状態が表示されます。

・「作業が終了しました」画面が表示されたら書き込み完了です。［OK］をクリックして終了します。

⚠ 購入時の構成により、今回説明した Power2Go（ライティングソフト）以外のソフトが添付されている場合もあります。それぞれの詳しい操作方法は、ソフトに付随するヘルプをご覧ください

バックアップ方法

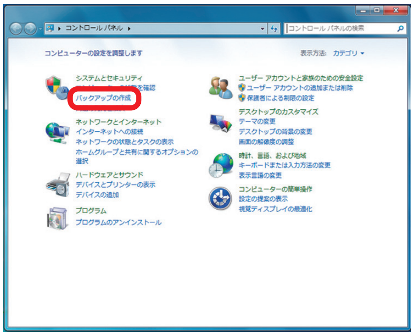
万一の故障に備えて、日頃からデータ（お客様が作られた画像やファイルなど）をバックアップ（保存）しましょう。ハードウェア的な故障に限らず、Windowsが起動しない等のソフトウェア的なトラブルでも、データ消失の可能性があります。

Windows 7 でのバックアップ方法（Windows Complete PCバックアップ）

Windows Complete PCバックアップは、OSドライブ全体や任意のドライブをバックアップすることができます。

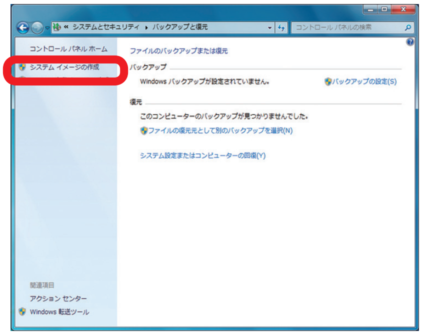
❶「バックアップと復元」を起動します

［スタートメニュー］→［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］ →［バックアップの作成］をクリックします。



❷「バックアップと復元」が表示されます

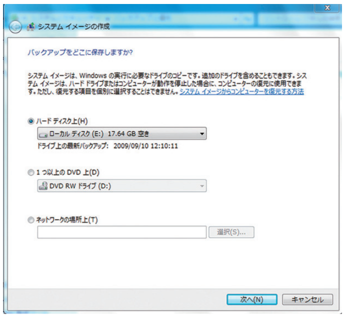
「バックアップと復元」の左上にある［システムイメージの作成］をクリックします。



❸「バックアップをどこに保存しますか？」が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択します。

> ワンポイント
> バックアップしたデータをＣドライブと同じハードディスクに保存した場合、ハードディスクの不具合発生時に復元できない場合があります。
> バックアップしたデータは、他のハードディスクやメディアに保存してください。

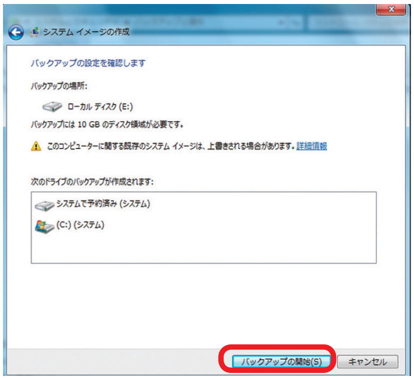


バックアップ方法

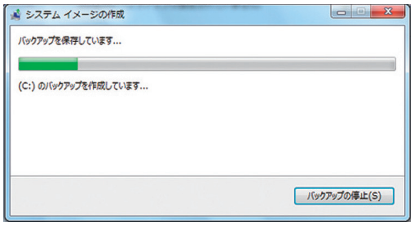
❹「バックアップの設定を確認します」が表示されます

設定を確認し問題が無ければ［バックアップの開始］をクリックします。

> ワンポイント
> バックアップするドライブに「システムで予約済み（システム)」が表示されます。このドライブは Windows7 のシステム用のドライブで、コンピューターでは確認できないドライブです。



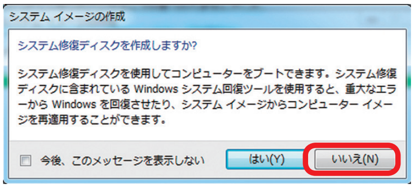
「バックアップを保存しています…」が表示されバックアップが開始されます。



❺「システム修復ディスクを作成しますか？」が表示されます

［いいえ］をクリックします。

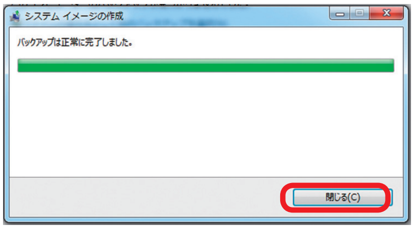
> ワンポイント
> 「❸バックアップをどこに保存しますか？」でバックアップデータを「ネットワークの場所上」に指定した場合は［はい］をクリックして修復ディスクを作成してください。



❻「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます

［閉じる］をクリックします。
これでシステムのバックアップは完了です。

バックアップメディアやストレージを大切に保管してください。



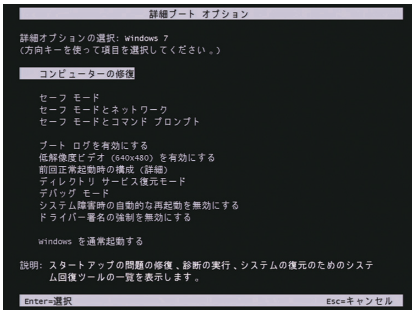
Windows 7 での復元方法（Windows Complete PCバックアップ）

❶「システムの回復オプション」を起動します

「システムの回復オプション」を起動するには３つの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

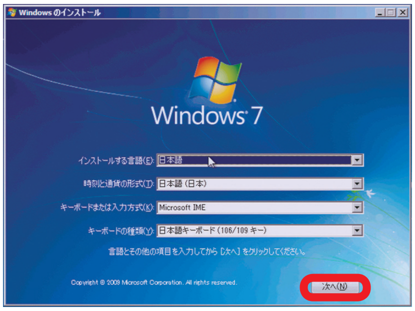
・詳細ブートオプションから起動

電源を入れた時に［F8 キー］をトントントンと断続的に押します。BIOS[UEFI] 画面のあとに「詳細ブート　オプション」が表示されます。［コンピューターの修復］を選択してください。

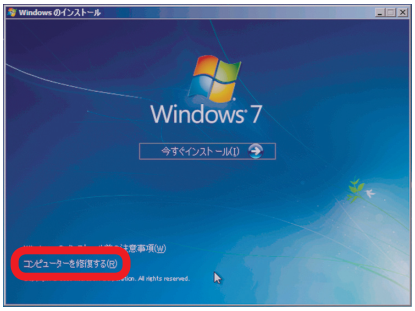


・Windows 7 インストールディスクから起動

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して、[次へ]をクリックしてください。



［コンピューターを修復する］をクリックします。

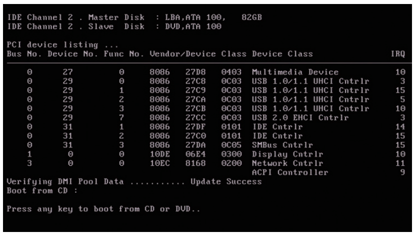


・システム修復ディスクから起動

a. システム修復ディスクを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させせます。

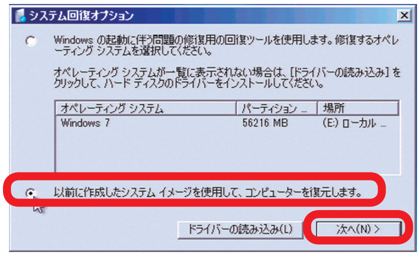
b. パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。

c. 数秒で「Boot from CD」の１行下に､「Press any key to boot from CD or DVD」（CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されるので、Enter キーを押します。



❷「システムの回復オプション」が表示されます

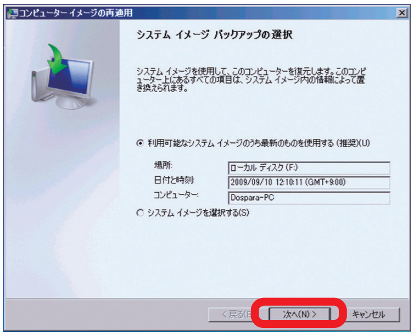
「以前に作成したシステムイメージを使用して、コンピューターを復元します。」を選択して［次へ］をクリックします。



❸「システムイメージバックアップの選択」が表示されます

選択されているバックアップデータに問題が無ければ［次へ］をクリックします。

変更したい場合は［システムイメージを選択する］を選択してください。

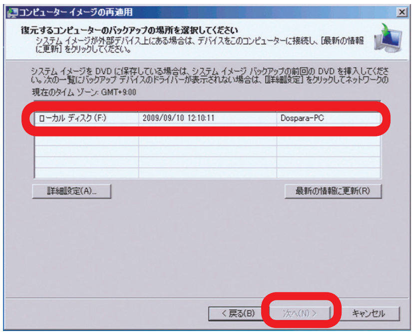


❹「復元するコンピューターのバックアップの場所を選択してください」が表示されます

復元するバックアップデータを選択して［次へ］をクリックします。

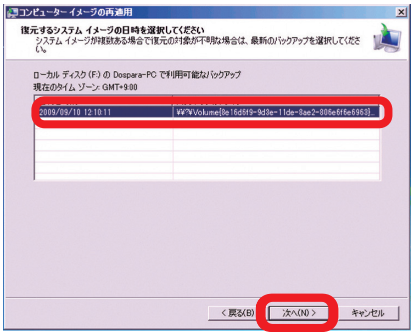
・バックアップデータがメディアや外部ストレージにある場合は接続して［最新の情報に更新］をクリックします。

・バックアップデータが「ネットワークの場所上」にある場合は［詳細設定］をクリックして、データの場所を指定してください。



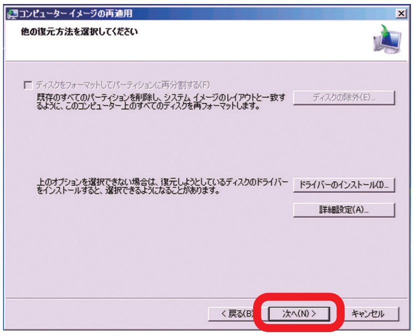
❺「復元するシステム　イメージの日数を選択してください」が表示されます

最新の日時を選択して［次へ］をクリックします。



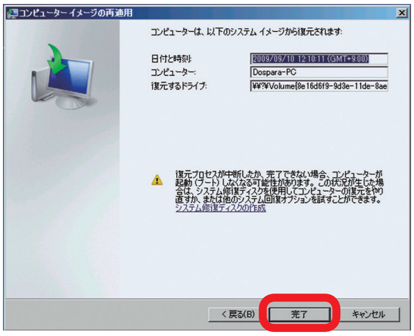
❻「他の復元方法を選択してください」が表示されます

［次へ］をクリックします。

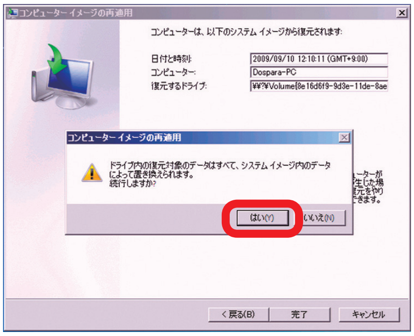


❼「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます

選択したバックアップデータに問題が無ければ［完了］をクリックします。



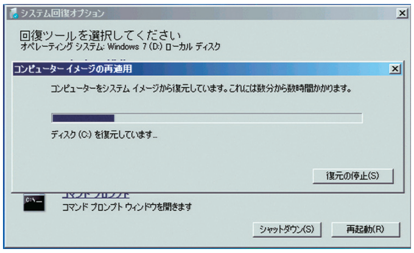
警告メッセージが表示されるので［はい］をクリックします。



❽「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元を完了しましたらパソコンが再起動します。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



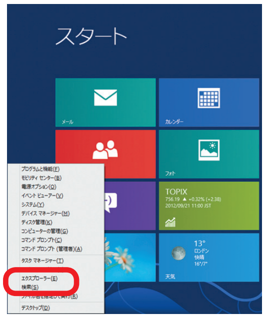
バックアップ方法

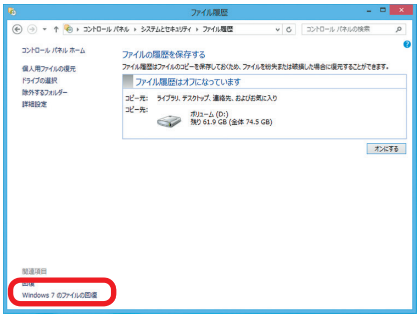
Windows 8 でのバックアップ方法（Windows Complete PCバックアップ）

Windows Complete PCバックアップは、システムドライブ全体や任意のドライブやメディアにバックアップすることができます。

❶「Windows 7 のファイルの回復」を起動します

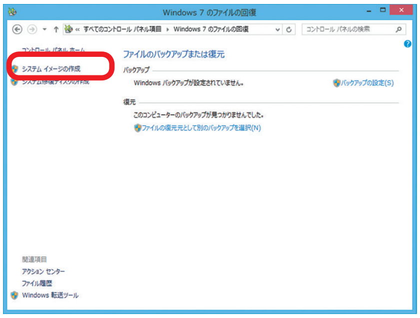
[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [ファイルの履歴でファイルのバックアップコピーを保存] → [Windows7 のファイルの回復] をクリックします。





❷「Windows 7 のファイルの回復」が表示されます

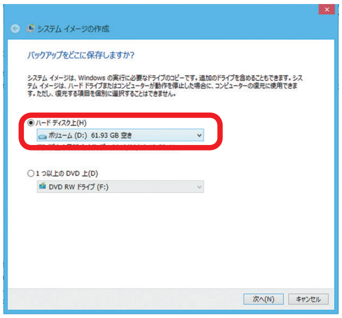
「Windows7 のファイルの回復」の左上にある [システムイメージの作成] をクリックします。



❸「バックアップをどこに保存しますか？」が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択します。

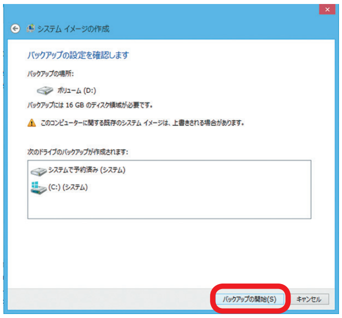
> ワンポイント
> バックアップを保存する場所は、C ドライブ（システムドライブ）以外を指定する必要があります。
> ドライブが用意できない場合でも DVD のライティングメディアなどで分割して保存をすることもできます。



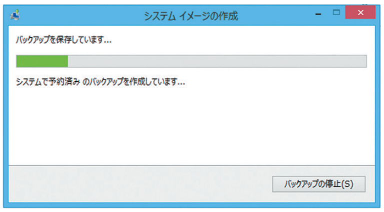
❹「バックアップの設定を確認します」が表示されます

設定を確認し問題が無ければ［バックアップの開始］をクリックします。

ワンポイント
バックアップするドライブに「システムで予約済み（システム）」が表示されます。このドライブは Windows 8 のシステム用のドライブで、コンピューターでは確認できないドライブです。

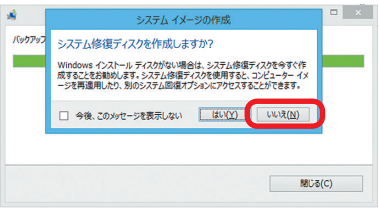


「バックアップを保存しています…」が表示されバックアップが開始されます。



❺「システム修復ディスクを作成しますか？」が表示されます

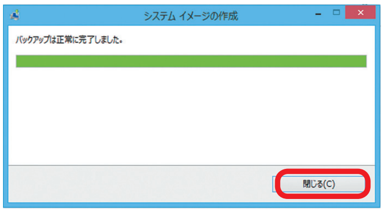
［いいえ］をクリックします。



❻「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます

［閉じる］をクリックします。
これでシステムのバックアップは完了です。

バックアップメディアやハードディスクを大切に保管してください。



Windows 8 での復元方法 (Windows Complete PCバックアップ)

❶「システムの回復オプション」を起動します

「システムの回復オプション」を起動するには 2 つの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

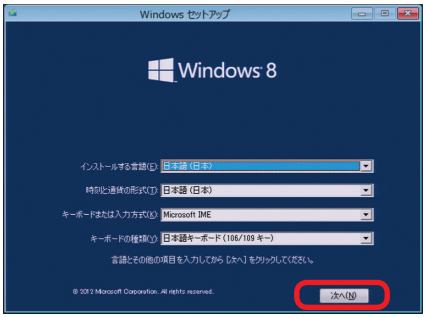
・Windows 8 インストールディスクから起動

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

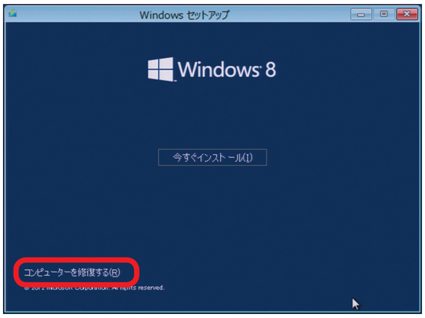
インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)「Windows のインストール」が表示されます。。

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して、[次へ] をクリックしてください



[コンピューターを修復する] をクリックします。

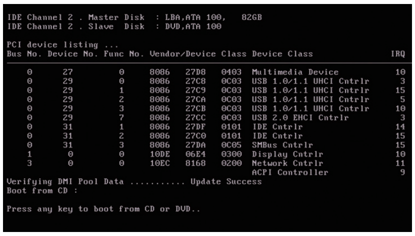


・システム修復ディスクから起動

a. システム修復ディスクを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します。

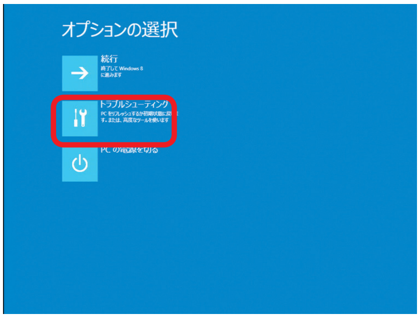
b. パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。

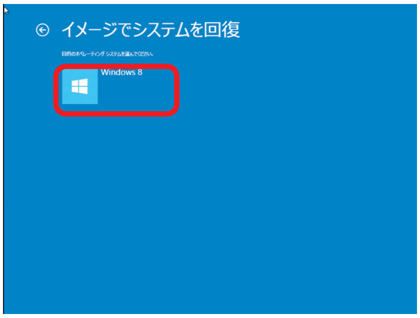
c. 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に「Press any key to boot from CD or DVD」(CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください) と表示されますので、Enter キーを押します。



❷「コンピュータイメージの再適用」を起動します

［トラブルシューティング］→［詳細オプション］→［イメージでシステムを回復］→［Windows 8］をクリックします。





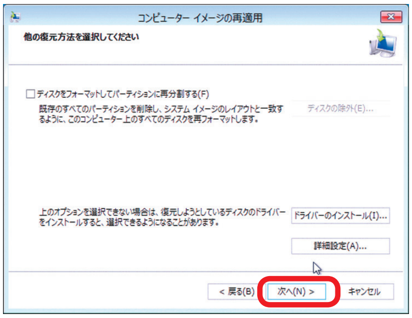
❸「コンピュータイメージの再適用」が表示されます

選択されているバックアップデータに問題が無ければ［次へ］をクリックします。

変更したい場合は［システムイメージを選択する］を選択してください。

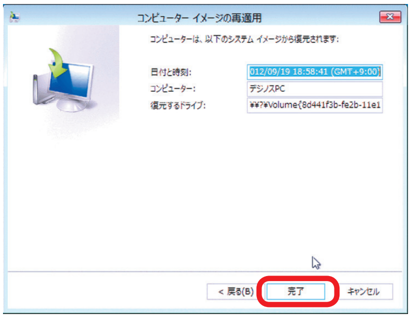
❹「他の復元方法を選択してください」が表示されます

［次へ］をクリックします。

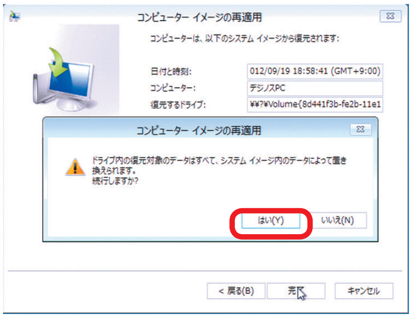


❺「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます

選択したバックアップデータに問題がなければ［完了］をクリックします。



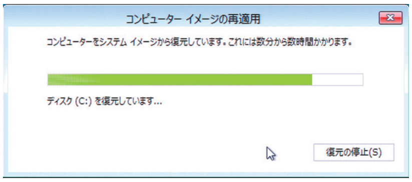
警告メッセージが表示されますので［はい］をクリックします。



❻「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元を完了しましたらパソコンが再起動します。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



OSインストール前の準備

ご購入時にOS（オペレーティングシステム）を選択されていないパソコンには、OSはインストールされていません。BIOS[UEFI] POST画面が表示されたあとそのまま時間がたちますと「Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key...」というメッセージが表示されます。この表示はドライブに OSがインストールされていない状態をBIOS[UEFI]が認識したためです。お客様で準備されているOSをインストールすることでパソコンが使用できる状態になります。

OSインストール前の準備

❶ プロダクトキーの確認

- OS インストールモデルでは、本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合、プロダクトキーはパッケージの裏面、または包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- 製品版は CD/DVD ケースに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- プロダクトキーは再発行できません。「パソコン本体に貼る」などしてなくさないように保管してください。貼付け位置は 17 ページ「COA ラベルの貼付け位置の確認」をご参照ください。

❷ 外付ハードディスクやプリンター、ウェブカメラなどの周辺機器は外して OS インストールしてください

マウス、キーボード以外の USB 機器やその他の周辺機器を接続したままインストールすると、以下のような不具合の原因となる場合があります。

- インストールに時間がかかる
- インストールに失敗する

このような不具合防止のため、USB 機器やその他の周辺機器を取り外す時は必ず本体の電源を切ってから取り外してください。

❸ ディスプレイ・キーボード・マウスが本体に接続されているか確認してください

❹ パソコンの BIOS[UEFI] の設定を DVD/CD-ROM から起動できるようにしておく必要があります

ご購入時の状態で DVD/CD-ROM から起動できる設定がされています。
CMOS クリアやバックアップ電池の交換をされた場合は、再設定してください。

OSインストール前の準備が整ったら

インストールの前準備が整いましたら、今回実行するインストール作業を確認し、指定ページをご参照ください。

■ OS がインストールされていない方は ························ 60 ページへ

■ ご購入時の状態に戻したい方で
「Diginnos かんたんリカバリー」搭載モデルは ············ 56 ページへ
「Diginnos かんたんリカバリー」非搭載モデルは ········· 74 ページへ

■ ご使用の OS が うまく動かなくなった方は ··················· 78 ページへ

Diginnosかんたんリカバリー

⚠ **リカバリー操作を行うと、ハードディスク内のデータが全て初期化されます。必要なデータは他のメディア等にバックアップのうえ作業してください。**

リカバリーとは

リカバリーとは、Windows をバックアップした時の状態へ戻すことです。「Diginnos かんたんリカバリー」は Windows を工場出荷時の状態へ戻すことです。このリカバリーは下記のような原因でパソコンが起動しなくなった、動作が不安定になった場合に有効な方法です。

●コンピューターウイルスの感染
●ファイルの誤削除
●ソフトウェアのインストール・アンインストールを繰り返す

⚠ **ハードウェアの障害が原因で不安定になったシステムに対しては、効果が得られない場合もあります**

■「Diginnos かんたんリカバリー」搭載モデルの確認

一部モデルは以降に記載されたハードディスクからのリカバリーが搭載されていない場合があります。搭載モデルの確認方法は以下のサイトよりご確認ください。

ウェブページ URL　http://www.dospara.co.jp/dgrecovery

■ ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。

リカバリーのためのデータをハードディスク内に格納しています。このリカバリー用データ領域は約 11GB あります。誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データ領域は通常の方法では表示されません。もしも、以下のような方法で、この領域を削除、変更またはデータの追加などをすると、リカバリーできないことがあります。
・市販のディスクユーティリティをお客様ご自身でインストールする
・Windows のディスク管理を使用する
リカバリー領域を変更された場合の復旧は有償となりますので、デジノスサポートセンターにご相談ください。
東京 03 - 4332 - 9193 (PHS・IP 電話からもこちらへ) / ナビダイヤル　0570 - 028 - 119

⚠ **リカバリー用データ領域を通常の記憶領域として使用することはできません。**

リカバリー前に

ご購入後に、増設または交換されたパーツや周辺機器はすべて取り外して元の状態に戻してください。特に、USB フロッピーディスクドライブや USB 接続の外付けハードディスク、外付け CD/DVD ドライブを接続した状態では、正常にリカバリーしない場合があります。

■ リカバリーを行うと、全てのデータが初期化されます。

インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。リカバリーを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

⚠ **データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去される恐れがあります。**

⚠ **途中で電源を切るなどして、リカバリーを中止しないでください。**
Windows が起動しなくなったり、データが消失してリカバリーを実行できなくなる恐れがあります。

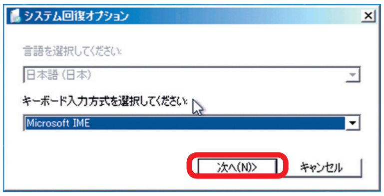
Diginnosかんたんリカバリー

Windows 7搭載モデルのリカバリー方法

❶ リカバリー作業を開始します

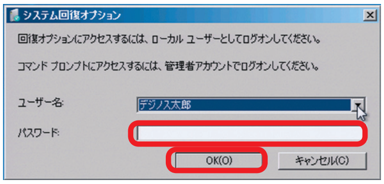
パソコンの電源を入れ、BIOS ロゴが表示されたときに「F 1キー」をリカバリーが開始されるまでトントントンと断続的に押してください。

❷「キーボード入力方式を選択してください」が表示されます



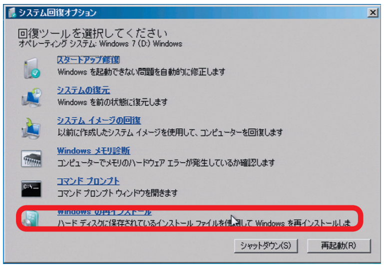
[次へ] をクリックします。
※すでに選択されている言語とキーボード以外は指定しないでください。

❸「回復オプションにアクセスするにはローカルユーザーとしてログオンしてください」が表示されます



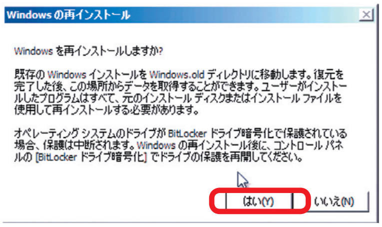
ユーザー名を選択してパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
※ Administrator 権限のあるユーザー名を選択してください。

❹「回復ツールを選択してください」が表示されます



[Windows の再インストール] をクリックします。

❺「Windows を再インストールしますか？」が表示されます



[はい] をクリックしてリカバリーを開始します。
リカバリーが完了するとパソコンが再起動され Windows のセットアップ画面が表示されます。

リカバリー作業には 30 分～1時間前後の時間がかかります。

⚠ **このリカバリー作業を行うと、ハードディスク内のデータは初期化され削除されます。**

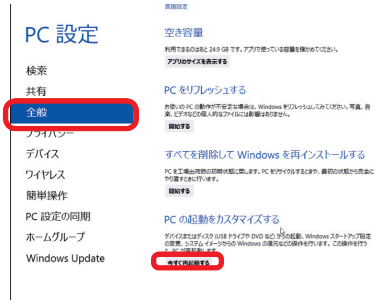
Windows 8搭載モデルのリカバリー方法

❶「設定チャーム」を表示します

[Windows キー＋ Iキー] を同時に押して、設定チャームを表示します。
設定チャームが表示されたら次に [PC 設定の変更] をクリックします。

❷「ＰＣ設定」が表示されます

「全般」の項目を選択し「PC の起動をカスタマイズする」にある [今すぐ再起動する] をクリックします。



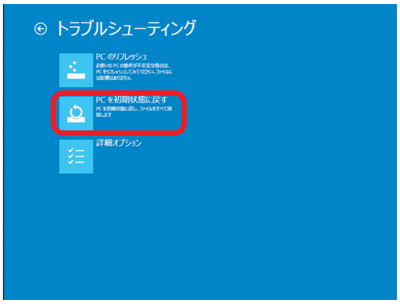
❸「オプションの選択」が表示されます

［トラブルシューティング］をクリックします。

Windows 動作中に3回の強制終了が発生した場合にも起動時に「オプションの選択」画面が表示されます。

❹「トラブルシューティング」が表示されます

［PC を初期状態に戻す］をクリックします。

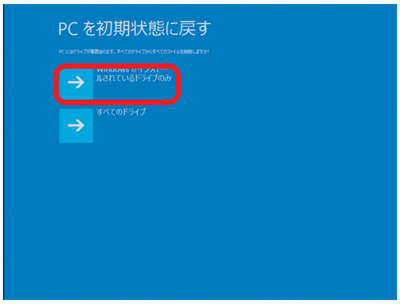


⑤「PC を初期状態に戻す」が表示されます

[次へ] をクリックして初期化作業を開始します。

⑥ 初期化するドライブの選択が表示されます

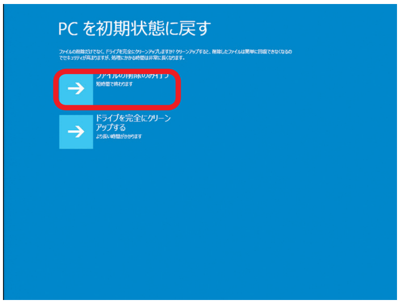
「Windows がインストールされているドライブのみ」をクリックします。



⑦ ドライブの初期化方法が表示されます

[ファイルの削除のみを行う] をクリックしてください。
C ドライブのデータを完全に削除したい場合は [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してください。

リカバリー作業には 30 分〜1時間前後の時間がかかります。初期化方法で [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択した場合は、約 2 〜 4 時間前後作業時間がかかります。



⑧ リカバリー方法の設定ができました

[初期状態に戻す] をクリックしてリカバリーを開始します。
リカバリーが完了するとパソコンが再起動され、Windows のセットアップ画面が表示されます。

⚠ このリカバリー作業を行うと、ハードディスク内のデータは初期化され削除されます。

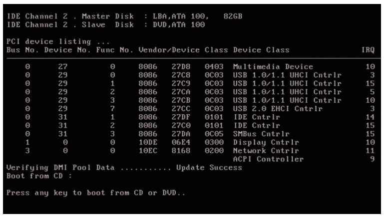
OSをインストールされていない方は

OS をインストールしパソコンを使用できる状態にします。
また、お客様にてインストール作業が難しい場合には、弊社において有償にて OS インストールの作業代行を承っております。詳しくはお買上げの店舗、またはデジノスサポートセンターにお問い合わせください。

❶ Windows 7 インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動させます。

※ パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートを行います。



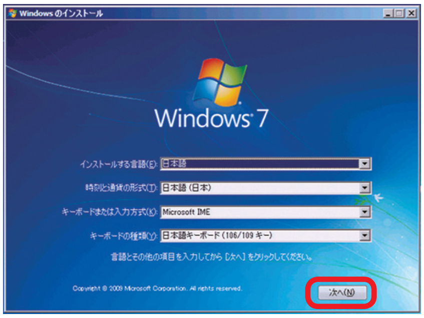
a. インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます。

b. パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「 Boot from CD」という表示が出ます。

c. 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されるので、Enter キーを押します。

❷ しばらくすると「Windows のインストール」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法などを指定して［次へ］をクリックします。



❸ Windows 7 ロゴが表示されます

［今すぐインストール］をクリックします。

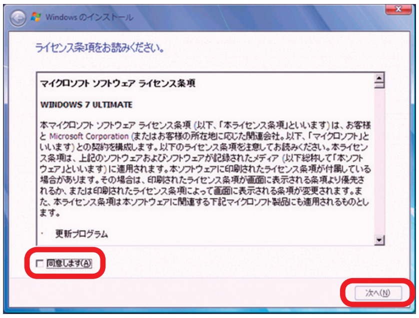
❹「開始しています」が表示されます

しばらくすると、画面が変わります。

❺「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます

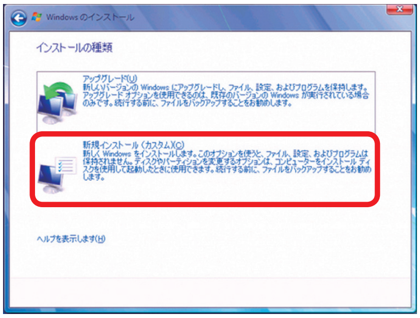
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、［同意します］のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら［次へ］をクリックします。



❻「インストールの種類」が表示されます

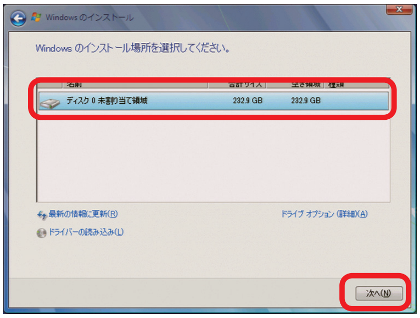
［新規インストール（カスタム）］を選択します。



❼「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

❼-1 ドライブ全体を 1 つのパーティションとしてインストールする場合

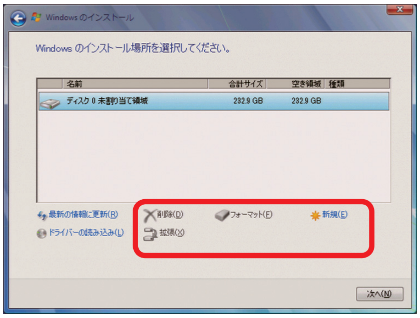
Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して［次へ］をクリックします。



❼-2 複数のパーティションに分割してインストールする場合

［ドライブオプション（詳細）］をクリックすると、［削除］［フォーマット］［新規］［拡張］が表示されます。

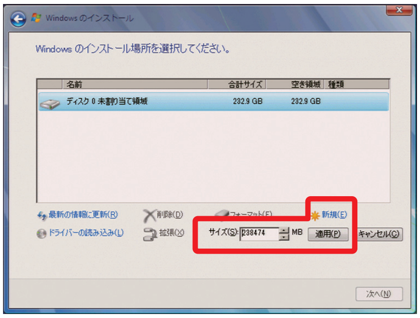
⚠ パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されるのでご注意ください。



［新規］をクリックすると「サイズ」が表示されます。

パーティションのサイズを指定して［適用］をクリックします。

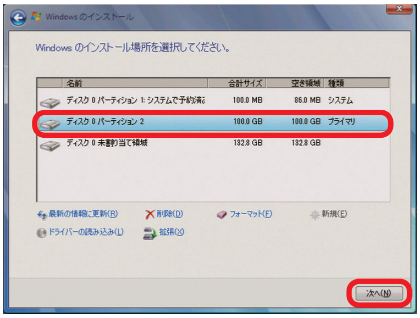
パーティションの削除方法は、75 ページ「Windows 7の再インストール②」をご参照ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し［新規］をクリックして、上記の作業を繰り返します。

パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して［次へ］をクリックします。

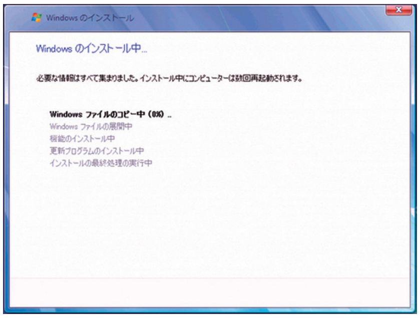
⚠ 「システムで予約済み（100MB）」のパーティションが作られる場合がありますが、Windows7 のシステムで必要な領域です。



⑧「Windows のインストール中…」が表示されます

インストール用ファイルをハードディスクにコピーします。

ファイルの展開、機能のインストール、更新プログラムのインストールと始まりしばらくすると、「コンピューターを再起動した後、セットアップを続行します」と表示され、再起動が開始されます。

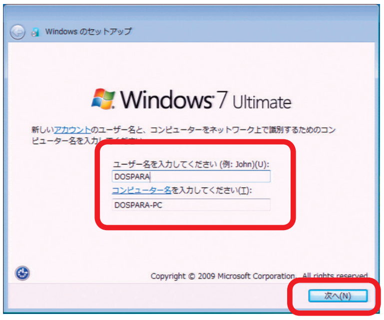


再起動時は DVD-ROM から起動せず、ハードディスクから起動してください。

⑨「新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください。」が表示されます

例を参考にユーザー名とコンピューター名を入力し［次へ］をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名には日本語も使用できます。

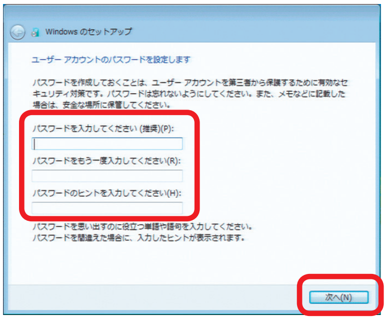


⑩「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」が表示されます

パスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。

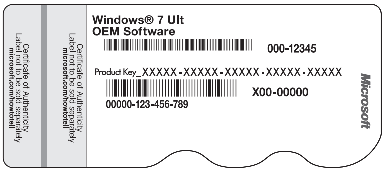
次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントを入力します。その後 [次へ] をクリックします。

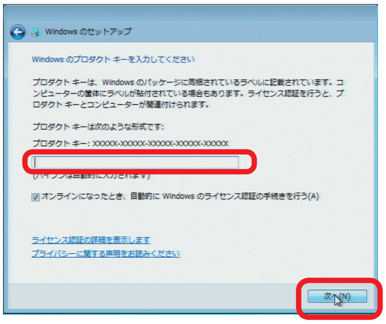
※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



⑪「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力して［次へ］をクリックします。



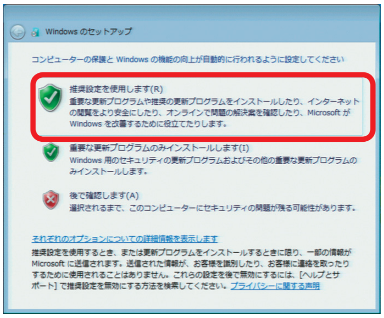


- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージの裏面または、包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。（貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください）

⑫「コンピューターの保護と Windows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください」が表示されます

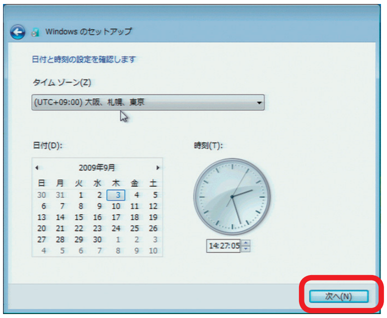
[推奨設定を使用します] をクリックします。

※推奨設定以外でも先に進むことはできます。それぞれの内容は画面の [それぞれのオプションについて詳細情報を表示します] をクリックし、確認してください。



⑬「日付と時刻の設定を確認します」が表示されます

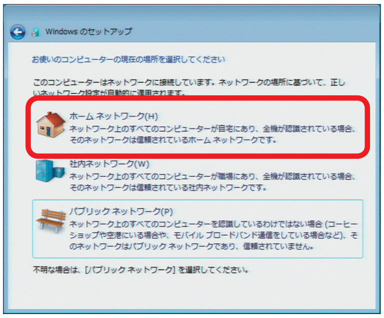
「タイムゾーン」「日付」「時刻」が違う場合には、修正した後［次へ］をクリックします。

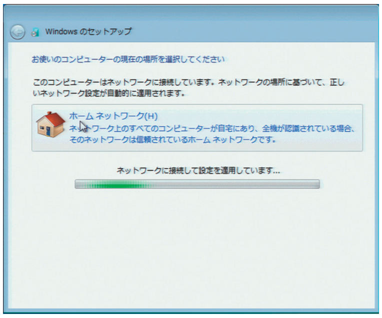


⑭「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」が表示されます

OS をインストールしているパソコンを主に使用する場所を選択してください。

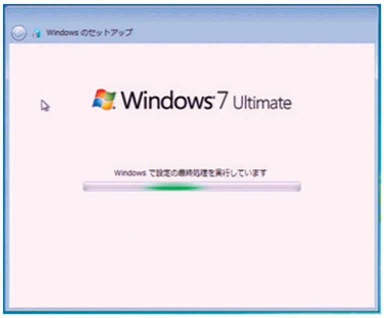
自宅で使用の場合［ホームネットワーク］をクリックしてください。





⑮「Windows で設定の最終処理を実行しています」が表示されます

以上の設定で作業完了です。最終処理が完了すると自動で再起動します。



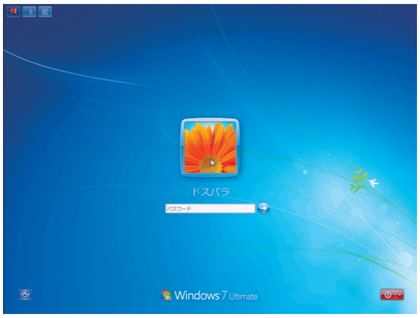
⑯ これで Windows 7 のインストールは完了しました

必ず 30 日以内に「スタートメニュー」→「コンピューター」→ツールバーの「システムのプロパティ」を起動して、[自動ライセンス認証が始まるまで＊＊日です。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください]をクリックし、ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行ってください。

※ 30 日を経過すると Windows 7 にログインできなくなります。ライセンス認証を行うとログインができるようになります。

2 回目以降の起動時に、パスワード入力画面が表示されます。❿にて入力したパスワードを入力し、Enter を押してください。

※パスワード未入力の場合は表示されません。



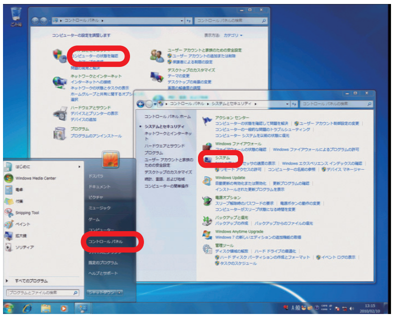
プロダクトアクティベーションとは？

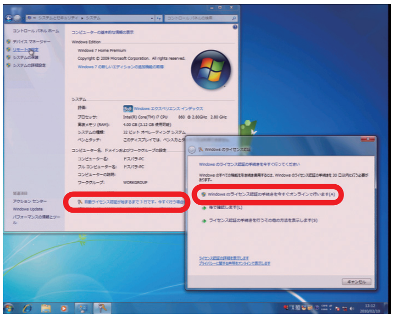
- 「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows ® 7」「Windows ® 8」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows インストール後 30 日以内にライセンス認証（プロダクトアクティベーション）を行わないと機能制限モードに切り替わります。
- ライセンス認証後でも「120 日以内に 10 種類の識別パーツ（CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオカード、CD-ROM ドライブ、LAN カード、SCSI カードなど）が大幅に変更された場合」は再度ライセンス認証が必要になります。

Windows 7のインストール

Windows 7 プロダクトアクティベーションの方法

● インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。



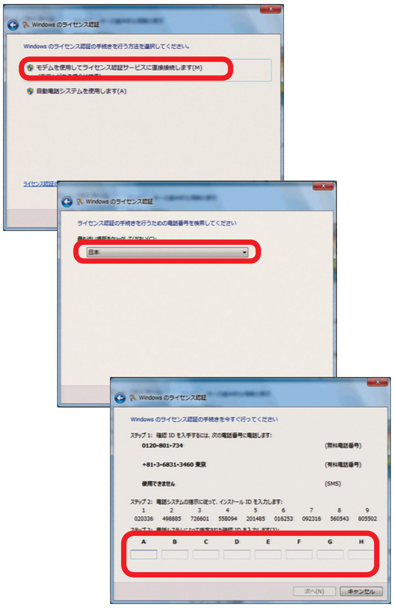


▼ Windows 7 を起動し、インターネットに接続できる状態で画面左下［スタートメニュー］→［コントロールパネル］→［システムとセキュリティ］→［システム］を起動して、下の段の［Windows のライセンス認証を XX 日以内に行ってください。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください。］をクリックします。

▼「Windows のライセンス認証」の画面が表示されるので、［Windows のライセンス認証の手続きを今すぐオンラインで行います］をクリックします。

▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。

● インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。



▼「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、［ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します］をクリックします。

▼［自動電話システムでライセンス認証をします］をクリックします。

▼「最も近い場所をクリックしてください」で［日本］を選択し［次へ］をクリックします。（［日本］は一覧の下部の方にあります）

▼ 表示されている電話番号に電話をします。

▼「インストール ID」を確認して進めます。

▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して［次へ］をクリックします。

▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。

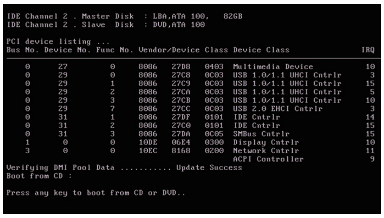
詳しくはマイクロソフトのウェブサイトをご覧ください。

http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows7/Activating-Windows-7-frequently-asked-questions

Windows 8 のインストール

❶ Windows 8 インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動します。



※ Diginnos パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート (起動) ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートを行います。

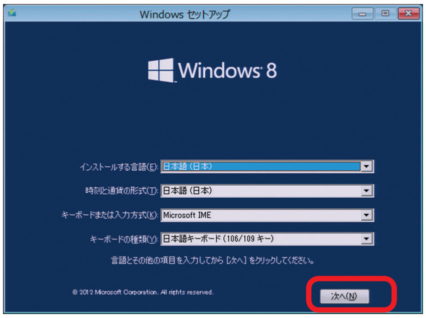
a. インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します。

b. パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。

c. 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」(CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください) と表示されますので、Enter キーを押します。

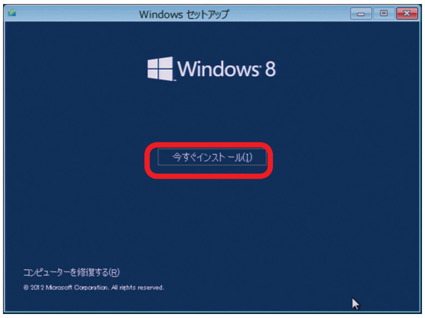
❷ しばらくすると「Windows のセットアップ」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法などを指定して [次へ] をクリックします。



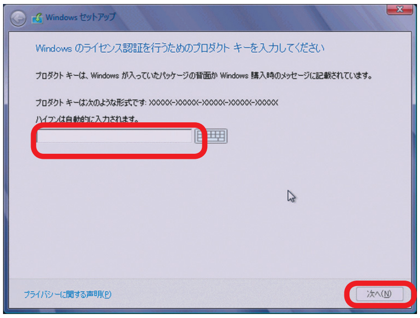
❸ Windows 8 ロゴが表示されます

[今すぐインストール] をクリックします。



❹「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

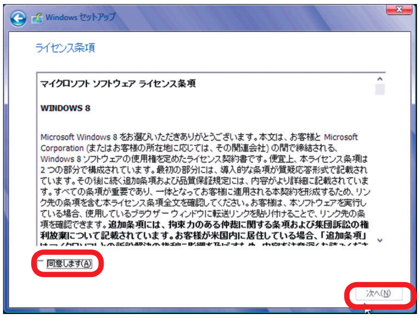
プロダクトキーを入力して［次へ］をクリックします。



- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージの裏面又は、包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。（貼付位置は 17 ページ「COA ラベル貼付場所の確認」をご覧ください）

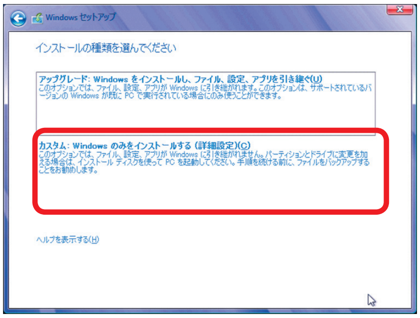
❺「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、［同意します］のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。
チェックを入れたら［次へ］をクリックします。



❻「インストールの種類」が表示されます

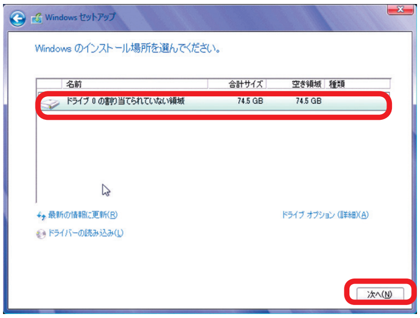
「インストールの種類」が表示されます。
［カスタム：Windows のみをインストールする］を選択します。



❼「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

❼ -1 ドライブ全体を 1 つのパーティションとしてインストールする場合

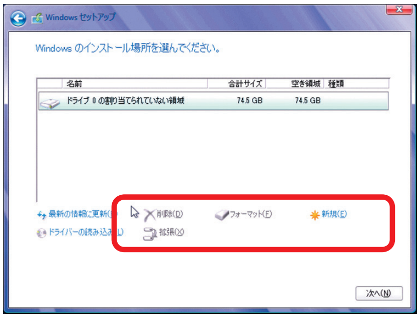
Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して［次へ］をクリックします。



❼ -2 複数のパーティションに分割してインストールする場合

［ドライブオプション（詳細）］をクリックすると、［削除］［フォーマット］［新規］［拡張］が表示されます。

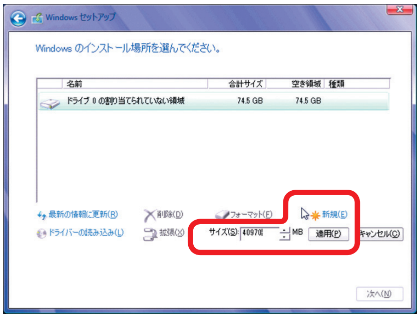
⚠ パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されますのでご注意ください。



［新規］をクリックすると「サイズ」が表示されます。

パーティションのサイズを指定して［適用］をクリックします。

パーティションの削除は、77 ページ「Windows 8 の再インストール②」をご参照ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し［新規］をクリックして、上記の作業を繰り返します。

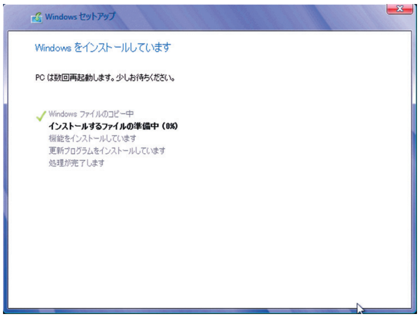
パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して［次へ］をクリックします。

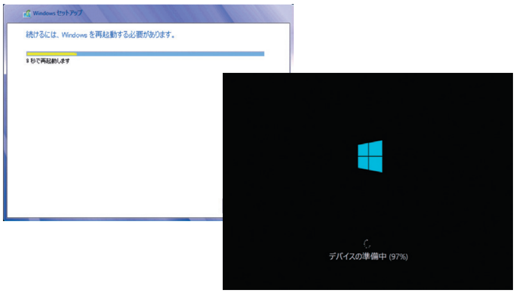
⚠「システムで予約済み（300MB）」のパーティションが作られる場合がありますが、Windows8 のシステムで必要な領域です。

❽「Windows のインストール中…」が表示されます

インストール用ファイルをハードディスクにコピーします。ファイルの展開、機能のインストール、更新プログラムのインストールと始まり、しばらくすると、「コンピューターを再起動した後、セットアップを続行します」と表示され、再起動が開始されます。

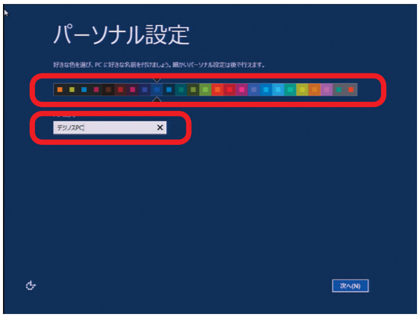
再起動時は DVD-ROM から起動せず、ハードディスクから起動してください。





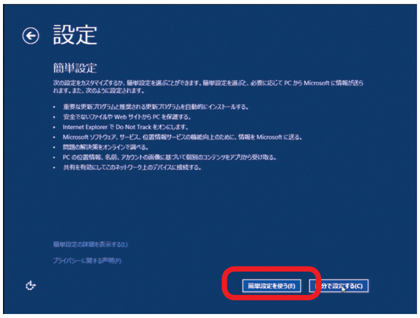
❾「パーソナル設定」が表示されます

Windows8 スタイルのベース色の設定と、コンピューター名を入力して、[次へ] をクリックします。

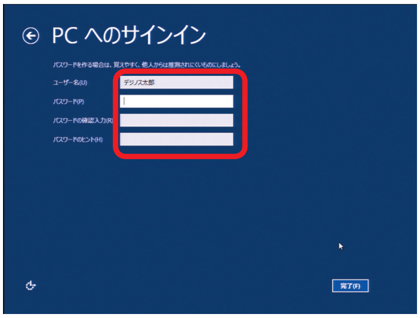


❿「設定」が表示されます

Windows の基本的な設定を行います、[簡単設定を使う] をクリックします。



⑪「ＰＣへのサインイン」が表示されます



ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。次に、パスワードのヒントを入力します、パスワードを忘れた際に、表示されるヒントです。その後 [次へ] をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。

⑫ これで Windows 8 のインストールは完了しました

設定作業が完了して、最終処理が完了すると Windows8 が起動します。

起動時に表示される指示に従いマウスカーソルを画面右上の角に合せます。

Windows 8 が起動すると画面右端にチャームが表示された状態で起動します。

⑬ ライセンス認証（プロダクトアクティベーション）

Windows8 のライセンス認証につきましては、インターネット接続環境がある場合は、パソコンのインターネット接続を行うことで、自動的にライセンス認証が行われます。インターネットに接続できない環境につきましては、本書 73 ページ「プロダクトアクティベーションの方法」をご参照ください。ライセンス認証が完了していないと、毎起動時と起動後 3 時間に 1 回、ライセンス認証の確認が表示されます。

プロダクトアクティベーションとは？

「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows ®8」 などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

Windows 8 プロダクトアクティベーションの方法

● **インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。**

インターネット接続環境がある場合は、パソコンのインターネット接続を行うことで、自動的にライセンス認証が行われます。

● **インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。**

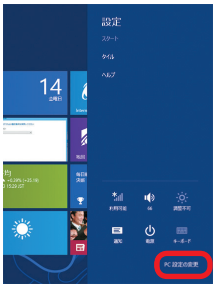
▼ [設定] を開きます。

方法 1

チャームを表示して（画面右上にマウスカーソルを合わせる）、設定をクリックします。

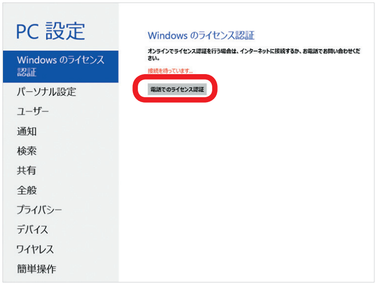
方法 2

[Windows キー＋ I キー] を押し設定を開きます。

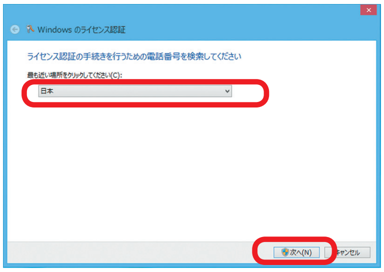


▼ [PC 設定の変更] をクリックします。
「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、[ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します] をクリックします。

▼ [電話でのライセンス認証] をクリックします。



▼「最も近い場所をクリックしてください」で [日本] を選択し [次へ] をクリックします。
（[日本］は一覧の下部の方にあります）

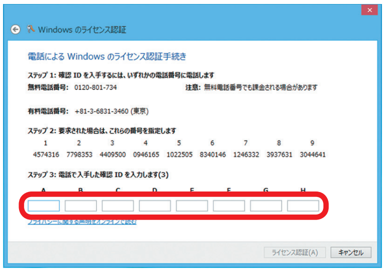


▼ 表示されている電話番号に電話をします。

▼「インストール ID」を確認して進めます。

▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して [次へ] をクリックします。

▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



Windows 7 の再インストール

ご購入時の状態に戻したい方は

⚠作業前の注意事項

再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを行ってください。バックアップ作業は、45 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

❶ Windows 7のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

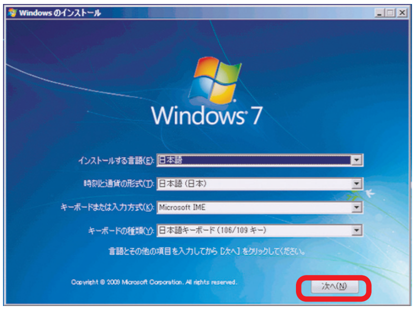
インストールメディアからパソコンを起動します。

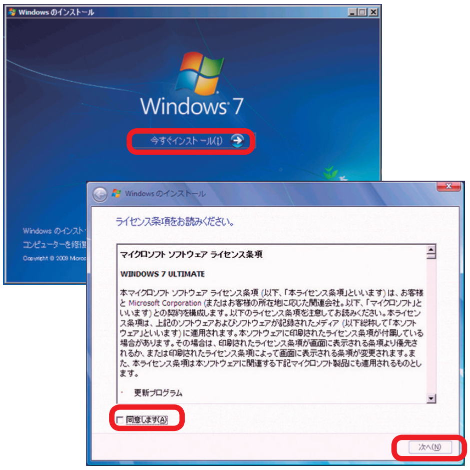
「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。（ キーの指定は特にありません。）

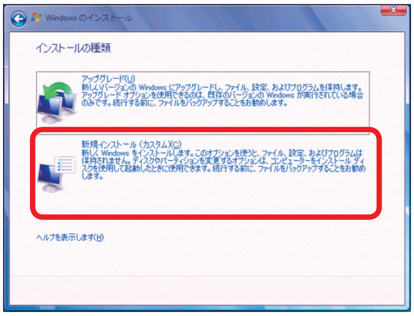
「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるところまで作業を進めてください。

詳しくは、60 ページ「Windows 7 のインストール①～⑦」をご参照ください。



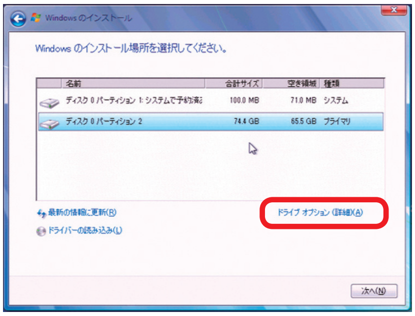




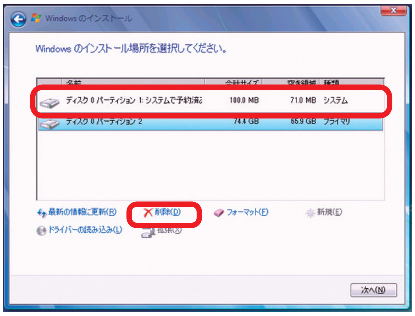
❷「インストール場所を選択してください」が表示されます

［ドライブオプション（詳細）］をクリックすると、［削除］［フォーマット］［拡張］が表示されます。

設定されているパーティションを削除して初期状態に戻し再インストールを開始します。



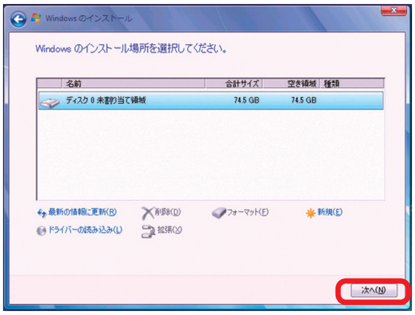
［パーティション1］を選択してください。パーティションを選択後、［削除］をクリックします。同様にパーティション２を削除します。



⚠ パーティション１はシステム用の領域です。OS起動後の「コンピューター」等では表示されません。

⚠ パーティションを分割している場合は、パーティション２以降が表示されます。同様に削除します。

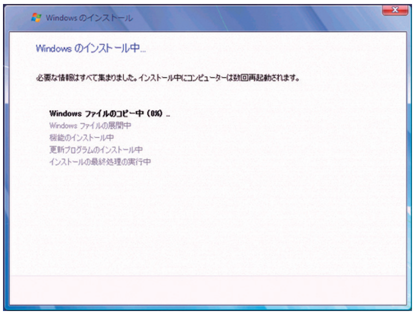
完了しましたら［次へ］をクリックしインストールを開始します。



パーティション分割方法は、62ページ「Windows 7のインストール⑦」をご参照ください。

❸ 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、63ページ「Windows 7のインストール⑧」以降をご参照ください。



Windows 8 の再インストール

ご購入時の状態に戻したい方は

⚠作業前の注意事項

再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを行ってください。バックアップ作業は、45 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

❶ Windows 8 のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

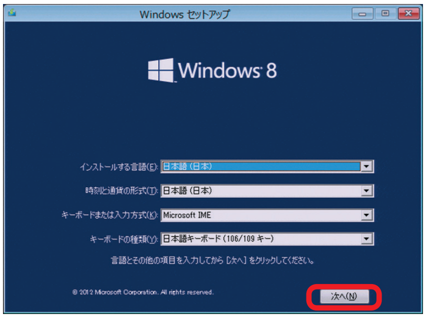
インストールメディアからパソコンを起動します。

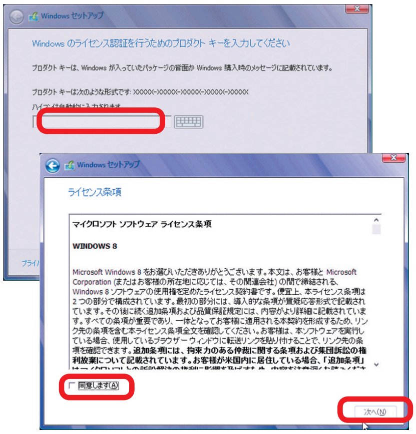
「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。（ キーの指定は特にありません。）

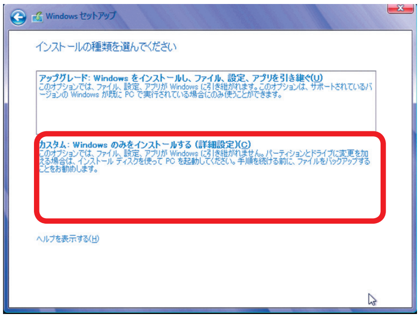
「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるところまで作業を進めてください。

詳しくは、68 ページ「Windows 8 のインストール①～⑥」をご参照ください。



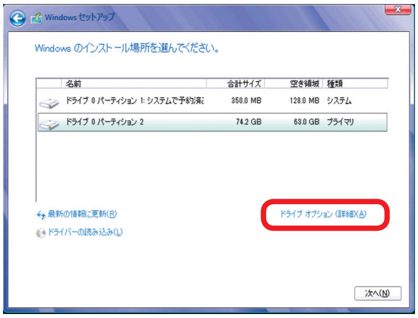




❷「インストール場所を選択してください」が表示されます

[ドライブオプション（詳細）] をクリックすると、[削除][フォーマット][拡張] が表示されます。

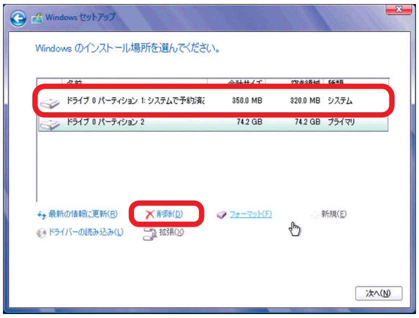
設定されているパーティションを削除して初期状態に戻し再インストールを開始します。



[パーティション1]を選択してください。パーティションを選択後、[削除] をクリックします。同様にパーティション２を削除します。

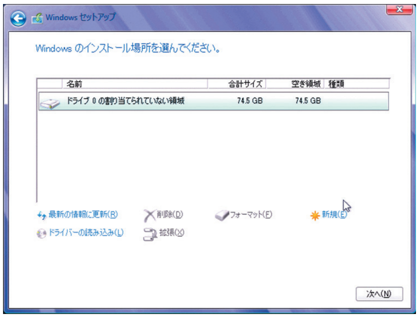
> ⚠ パーティション１ はシステム用の領域です。OS 起動後の「コンピューター」等では表示されません。

> ⚠ パーティションを分割している場合は、パーティション２以降が表示されます。同様に削除します。



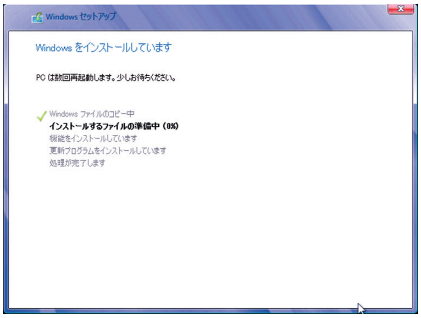
完了しましたら [次へ] をクリックしインストールを開始します。

パーティション分割方法は、70 ページ「Windows ８のインストール⑦」をご参照ください。



❸ 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、71 ページ「Windows ８のインストール⑧」以降をご参照ください。



Windows 7 のスタートアップ修復

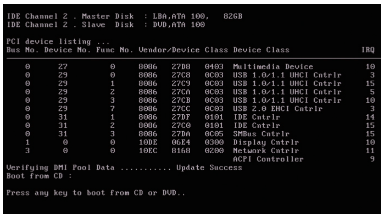
スタートアップ修復は、システム ファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows 7 の回復ツールです。
こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。スタートアップ修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

ワンポイント
ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを取りましょう。
バックアップ作業は 45 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

❶ インストールメディアからの起動

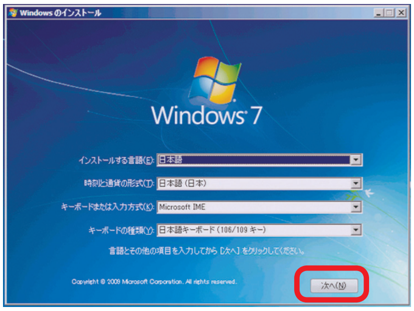
インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)



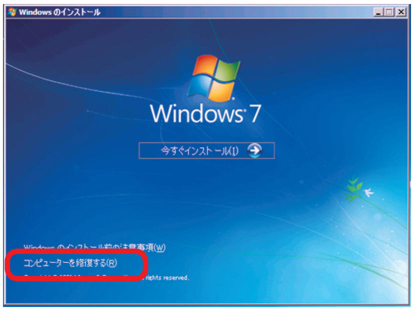
❷ Windows のインストールが表示されます

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して［次へ］をクリックします。



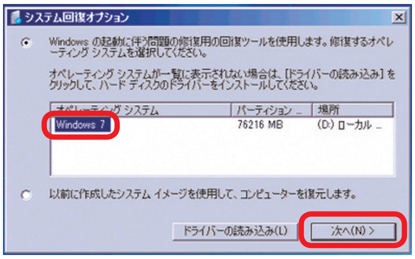
❸「コンピューターを修復する」を選択します

［コンピューターを修復する］をクリックします。



④「システム回復のオプション」が表示されます

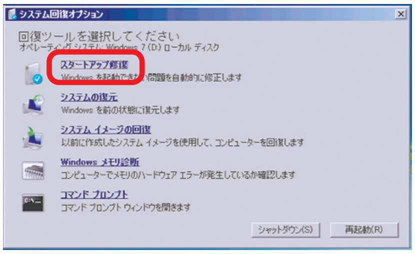
ダイアログ ボックスが表示されたら、目的のオペレーティング システムをクリックし、[次へ] をクリックします。

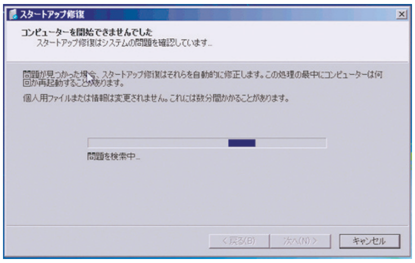


⑤「回復ツールを選択してください」が表示されます

[スタートアップ修復] をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するため選択を求めるメッセージが表示される場合があります。

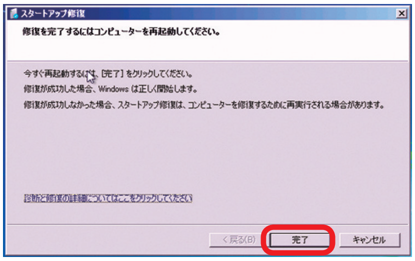
また、必要に応じて自動的に再起動する場合があります。





⑥「修復を完了するにはコンピューターを再起動してください。」が表示されます

[完了] をクリックし、パソコンを再起動します。また、スタートアップ修復を行っても、パソコンの状態が改善できない場合は、Windows 7 を購入時の状態に戻すため、Windows 7 の再インストールを行ってください。作業方法は、74 ページ「Windows 7 の再インストール」をご参照ください。



Windows 8 の自動修復

自動修復は、システム ファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows 8 の回復ツールです。こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。自動修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

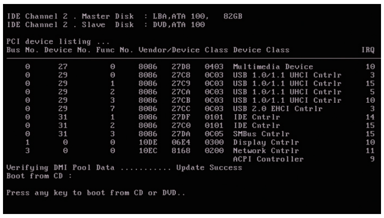
ワンポイント

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。
必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを取りましょう。
バックアップ作業は 45 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

❶ インストールメディアからの起動

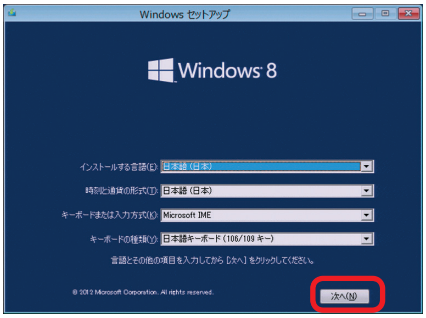
インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)



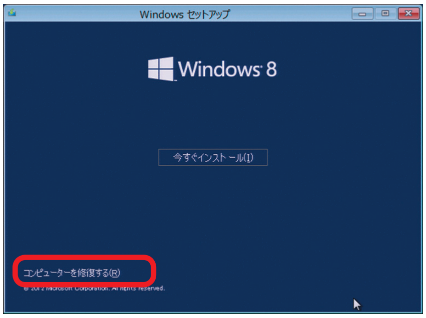
❷ Windows のインストールが表示されます

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して［次へ］をクリックします。



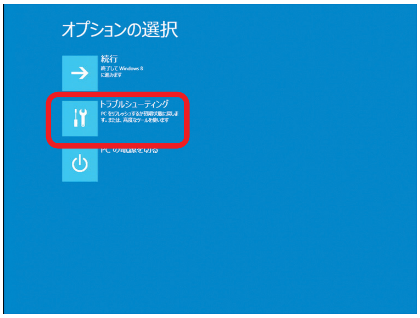
❸「コンピューターを修復する」を選択します

［コンピューターを修復する］をクリックします。



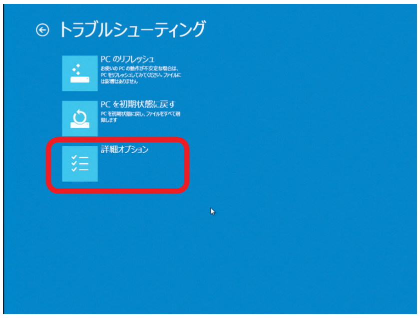
④「オプションの選択」が表示されます

トラブルシューティングをクリックします。



⑤「トラブルシューティング」が表示されます

［詳細オプション］をクリックします。



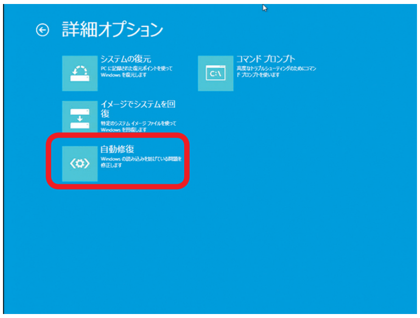
この画面から、下記の操作も行うことができます。

・PC のリフレッシュ
この操作を行うと、個人設定や個人のデータ、Windows ストアからインストールされたアプリなどはそのままに、OS の再インストールが行われます。
※デスクトップアプリは削除されます。リフレッシュが終わりましたら、必要なデスクトップアプリの再インストールを行なってください。

・PC を初期状態に戻す
この操作を行うと、システムドライブのデータは削除され OS の再インストールが行われます。

⑥「詳細オプション」が表示されます

「自動修復」をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するため選択を求めるメッセージが表示される場合があります。また、必要に応じて再起動を行う場合があります。



この画面から、下記の操作も行うことができます。

【システムの復元】
PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

【イメージでシステムを回復】
システムイメージのファイルを使って Windows を回復します。

デバイスドライバーのインストール

Diginnos パソコンに採用しているデバイスドライバーのインストール例です。
ご購入のモデルやカスタマイズ内容により若干表示が異なる場合はございますが、基本的には同様手順にてインストールを行いますので、ご参照ください。

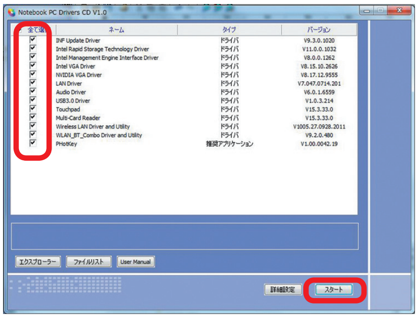
インストール手順

ドライバーメディアを光学ドライブに入れ、表示されるインストールメニューに従いインストールを行います。

Critea VF3ノートパソコンのドライバーインストールメニュー

■ドライバーインストールメニュー

メニューが表示されます。
インストールする項目にチェックを入れて右下のスタートをクリックして、インストールを行います。

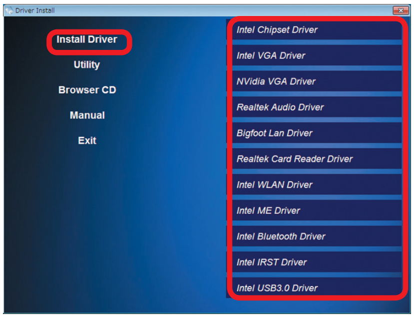


Critea VF17ノートパソコンのドライバーインストールメニュー

■ドライバーインストールメニュー

「Install Driver」をクリックするとメニューが表示されます。

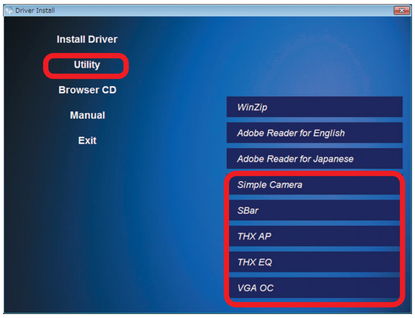
上から順番に各項目をクリックしてドライバーのインストールを行います。



■ユーティリティインストールメニュー

「Utility」をクリックするとメニューが表示されます。

「WinZep/Adobe」以外のユーティリティを上から順番にクリックしてインストールを行います。



各種ソフトウェアのインストール手順

付属する代表的なソフトウェアのインストール手順について説明します。

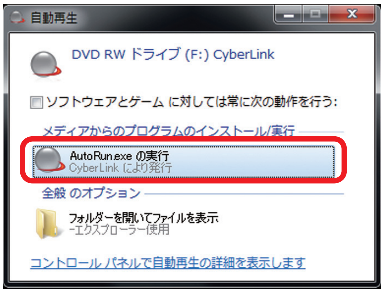
DVD 再生ソフト及び CD・DVD ライティングソフトのインストール

例として「Cyberlink DVD Suite」のインストールについて説明します。

❶ インストールメニュー画面が表示されます

・インストールメディア をドライブに入れます。（Cyberlink DVD Suite の記載がある DVD）

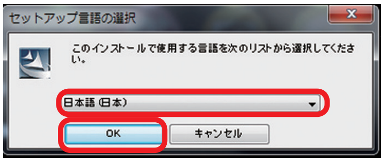
・メディアを認識すると「自動再生」のウィンドウが開きます。[AutoRun.exe の実行] をクリックしてください。インストールメニュー画面が表示されます。



❷ インストールを開始します

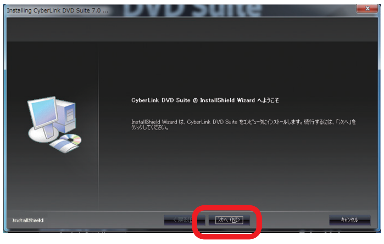
・［インストール］をクリックします。

・セットアップ言語の選択が表示されます。
［日本語］を選び ［OK］ をクリックします。



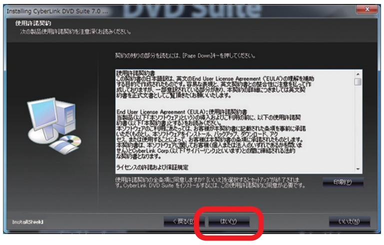
❸「Cyberlink DVD Suite の InstallShield Wizard へようこそ」が表示されます

［次へ］ をクリックします。



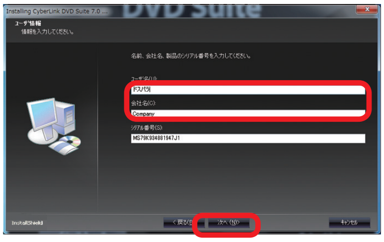
❹「使用許諾契約」が表示されます

内容をお読みのうえ［はい］ をクリックします。



各種ソフトウェアのインストール手順

5 「ユーザー情報」が表示されます



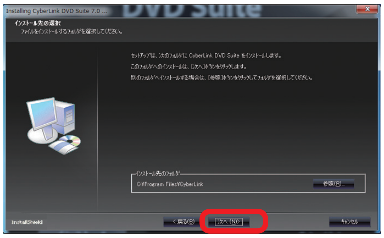
・「ユーザー名」を入力します。

・「会社名」を入力します。
（ユーザー名・会社名は空欄のままでは
［次へ］がクリックできません）

・「CD-key/ シリアル番号」は変更せず、
そのまま［次へ］をクリックします。

⚠ 商品によって「CD-key」の入力が必要な場合があります。
その場合は CD-ROM レーベル面、CD ケースまたは説明書に貼付されているシールに記載の「CD-key」を入力してください。

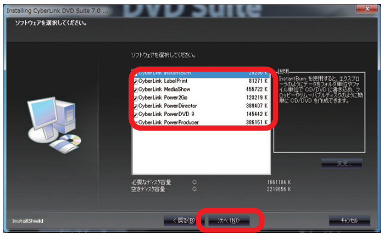
6 「インストール先の選択」が表示されます



インストール先のフォルダを指定します。

そのままの設定で［次へ］をクリックします。

7 「ソフトウェアを選択してください」が表示されます



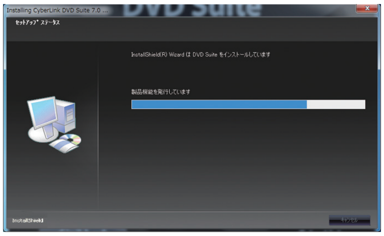
インストールするソフトウェアを選択します。

・[Cyberlink Power 2Go] のチェックを入れます。

・[Cyberlink Power DVD] のチェックを入れます。

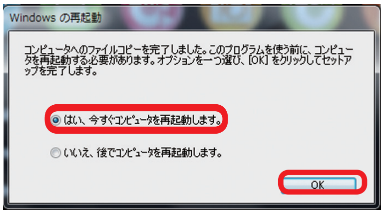
・インストールするソフトウェアの選択が完了したら、
［次へ］をクリックします。

8 インストールが開始されます



・インストールが開始されます。

・インストールが完了すると、再起動を求められますので再起動を行ってください。



Blu-ray 搭載モデル
Blu-ray 搭載モデルの場合、Blu-ray 再生用のソフトが別途添付されている場合があります。
Blu-ray のソフトが再生できない場合は再生ソフトを、ご確認ください。

各種ソフトウェアのインストール手順

PC-Doctor インストール

PC-Doctor とは、Diginnos パソコンに異常が無いか診断するソフトウェアです。

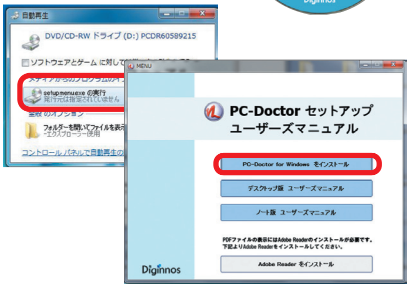
❶ PC-Doctor のインストールを開始します

「PC-Doctor」メディア▶

・インストール CD を光学ドライブに入れます。
（水色の PC-Doctor と書かれた CD です）

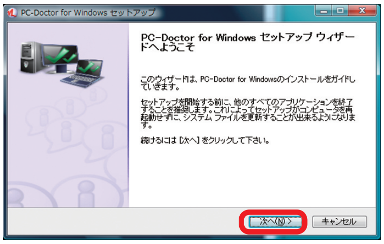
・メディアを認識すると「自動再生」のウィンドウが開きますので、［setup menu.exe の実行］をクリックしてください。
「PC-Doctor　セットアップ　Diginnos ユーザーズマニュアル」メニューが起動します。

・メニュー内の「PC-Doctor for Windows をインストール」を、クリックしてインストールを開始します。



❷「PC-Doctor for Windows セットアップウィザード」が表示されます

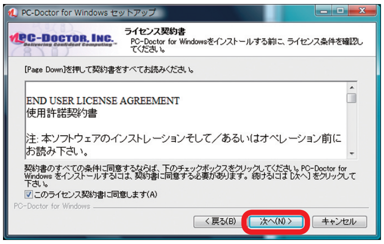
［次へ］をクリックしてください。



❸「ライセンス契約書」が表示されます

内容をお読みのうえ [このライセンス契約書に同意します] のチェックを入れてください。

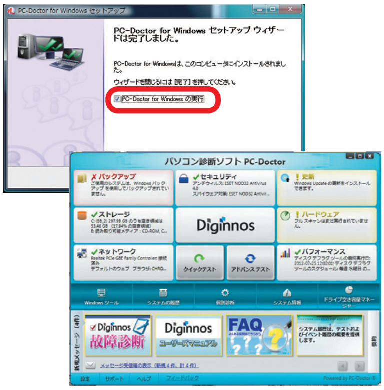
その後、［次へ］をクリックしてください。

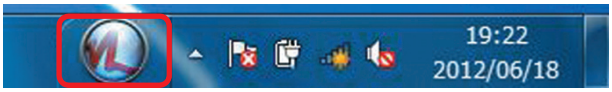


❹「PC-Doctor for Windows セットアップウィザードは完了しました」が表示されます

・このまま、PC-Doctor を実行する場合は［ PCDoctor for Windows の実行］のチェックを入れた状態で［完了］をクリックして完了してください。

※画面右下に表示されています PC-Doctor のアイコンをクリックすることで、起動する事も出来ます。





困ったときは

はじめに

「故障かな？」と思っても落ち着いて調べてみましょう。パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。本項目の内容を確認して解決法がないか確認しましょう。

1. 画面にエラーメッセージ等が表示されていませんか？

表示されている場合、正確にメモしましょう。（デジタルカメラなどで撮影しておくと便利です）デジノスサポートセンターにお問い合せの際に役に立ちます。メッセージ以外にもエラー音（ピーと言う電子音）や、発生状況（どのソフトや作業をしている時に発生したのか）をできるだけ詳しくメモしましょう。

2. 不具合の発生前に、ソフトウェアのインストールや周辺・増設機器の追加をしていませんか？

該当するものがあった場合は、取り付けが正しく接続されているか確認しましょう。それでも改善しない場合は、接続した機器を一旦取り外してご購入時の状態に戻し確認しましょう。

3. ソフトウェア実行中に問題が発生した場合

ソフトウェアのマニュアルを参照したり、ソフトウェアのサポートセンターに相談してみましょう。解決法が見つかるかもしれません。

4. 次項目「パソコントラブル解決手順」で該当項目を探しましょう

該当項目があった場合は、「パソコントラブル解決手順」に沿って確認してください。
PC-Doctor ディスク内「Diginnos ユーザーズマニュアル（PDF)」の「パソコントラブル解決手順」には、多くの解決手順がありますので確認してみましょう。
※ Diginnos ユーザーズマニュアルは弊社ウェブサイトからもダウンロード可能です。
http://dospara.co.jp/manual/

モバイル診断
QR コード⇒

5. パソコン故障診断で診断してみましょう

弊社ウェブサイトのパソコン故障診断にて、診断を行い改善方法を行ってみましょう。
http://check.dospara.co.jp/front

携帯電話で閲覧する場合は携帯用パソコン故障診断をご利用ください。
http://check.dospara.co.jp/mobile/

モバイル FAQ
QR コード⇒

6. オンライン FAQ で該当項目を探しましょう

弊社ウェブサイトの FAQ にて、よくあるご質問の解決案や対応方法を掲載しています。
http://www.dospara.co.jp/support/

携帯電話で閲覧する場合は携帯用ドスパラモバイル FAQ をご利用ください。
http://www.dospara.co.jp/mob/faq.php

7. デジノスサポートセンターへ相談しましょう

上記を確認しても改善できない場合は、デジノスサポートセンターまでご相談ください。連絡先は裏表紙「サポート案内」をご参照ください。また、お問い合わせの際は購入時の書類や「Diginnos 製造番号」（本書 15 ページ「箱の中身を確認する」をご参照ください）をお手元にご用意の上ご連絡ください。

注意

1.「異音がした」、「焼けたような匂いがした」などの場合はすぐに電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。故障やけがの原因となります。
2. パソコンのケースを開けて内部をチェックする時は、ケースパネルの角やピンなどでけがをしないように充分注意してください。
3. パソコンのケースを開けて内部をチェックする時は、決して無理をしないで「ご自分でできる範囲」でチェックを行いましょう。
4. お客様の取り付けミスなどによる不具合の場合は、保険に加入されている場合を除き、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。
5. 改造など弊社規定の使用方法以外でご使用されて不具合が発生した場合は、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。

困ったときは

不具合対処一覧		ページ
困ったときは	はじめに	86
	用語の説明	88
パソコントラブル解決手順	電源が入らない	89
	作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる	90
	インターネットにつながらなくなった	91
パソコントラブルFAQ（BIOS[UEFI]〜 Windows 起動前）	ディスプレイに何も表示されない	94
	「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない	94
	「BOOTMGR is missing Press CTRL + ALT +DEL to restart」と表示されて、 先に進まない	95
	「 S.M.A.R.T. Status BAD, Backup and Replace Press F1 to Resume」と表示されて、先に進まない	95
パソコントラブルFAQ（Windows起動後）	画面がにじむ・画面の比率がおかしい（画面の解像度設定）	96
	音が出ない（サウンドの設定）	96
	増設したハードディスクやフラッシュメモリが認識されない（記憶装置のパーティション設定）	96
パソコントラブルFAQ(ハードウェア)	光学ディスク（CD-ROM、DVD など）が取り出せなくなった	97
	時計が合っていない	97
	夏場など、熱い時期に頻繁にフリーズする （パソコンが停止して操作不能になる）	97
パソコントラブルFAQ（その他）	特定の文字が入力できない（キーボード操作について）	98
	プロダクトキー入力が正しく行えない	98
	漢字入力ができない	98
	フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる	98
	ハードディスクの空き容量を確かめるには	99
	ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない	99
	システムに表示されるメモリ容量が搭載容量より少ない	99
	液晶ディスプレイのドット抜けについて	99
改善のための操作方法	システムの復元	100
	Windows をセーフモードで起動する	100
	プログラムのアンインストール	101
	タスクマネージャー	101
ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」簡易操作方法		102
デジノスサポートセンターよりお客様へ		104

用語の説明

「困ったときは」で使用する一部用語を説明します。

● BIOS（バイオス、Basic Input/Output System）UEFI（ユーイーエフアイ、Unified Extensible Firmware Interface）とは

パソコンの土台となるマザーボードというパーツに入っている、ハードウェアの認識などの基本的な操作を行っているソフトウェアです。

● OS（オーエス、Operating System）とは

基本的な機能を提供し、コンピューターシステム全体を管理するソフトウェアです。現在一般的なものに Microsoft 社製の Windows シリーズと Apple 社製の Mac OS シリーズがあります。

●ブルースクリーンとは

Windows でシステムにエラーが発生した場合に起こる、青い画面に白い文字列でエラーメッセージが表示される画面です。ブルースクリーンはソフトウェア･ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合以外にも、ソフトウェアとハードウェアの相性で発生する場合があります。

●フリーズ（Freeze）とは

パソコンの動作が停止し、「操作できなくなった」「固まってしまった」「ハングアップした」状態を表します。フリーズはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合や、ソフトウェアとハードウェアの相性、電源不足で発生する場合があります。

●熱暴走とは

半導体部品が排熱不良や過剰負荷などの原因で異常発熱し、正常に動作しない状態を指します。冷却ファンなどにホコリが堆積することで発生する場合があります。

●ハードウェア (Hardware) とは

光学ドライブ、ハードディスク、マザーボード、本体ケース、冷却ファンなどのパソコンを構成しているパーツ（部品）のことです。

●ソフトウェア（Software）とは

パソコンはハードウェア（パソコン本体）だけでは動作しません。基本ソフトウェアが必要です。また、様々な作業をさせるために、必要に応じたアプリケーションソフトをインストールする必要があります。

基本ソフトウェア：オペレーティングシステム（Windows、Mac OS、UNIX など）

アプリケーションソフト：ワープロソフト、表計算ソフトなど

●インストール（Install) とは

パソコンに OS やアプリケーションソフト、デバイスドライバーなどソフトウェアの設定を行い、プログラムを実行できる状態にすることです。

●アンインストール（Uninstall）とは

コンピューターにインストールされたアプリケーションソフトを削除し、インストール前の状態に戻すことです。

●ドライバー（Driver）とは

OS 上で各種パーツを正常に動作させるためのソフトウェアです。ドライバーをインストールしていない場合や正常に動作していない場合には、音がでなかったり、インターネットに接続ができません。

パソコントラブル解決手順

電源が入らない

① 電源環境・ケーブル接続の確認

- 付属のアダプターを使用していない場合は、正しい物に交換しましょう。
- アダプターとバッテリーを一旦取り外して、再度接続してみましょう。
- バッテリーを外してアダプターだけ接続してみましょう。※
- アダプターを外してバッテリーだけ接続してみましょう。※

※どちらかを外して問題が解決した場合は、外した方に何らかの問題があることが考えられます。デジノスサポートセンターへお問い合わせください。

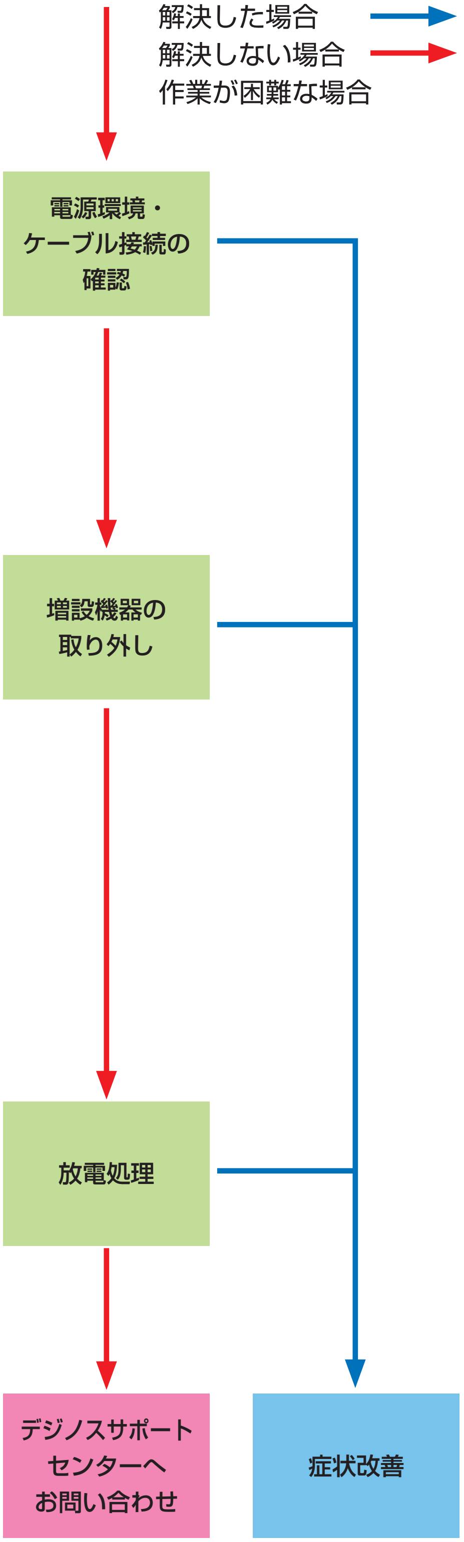
② 増設機器の取り外し

機器が接続されている場合に、組み合わせの相性により、正常に起動しない場合があります。周辺機器（外付けのハードディスクや USB メモリーなど）や、SD・MMC・MS などのフラッシュメモリー、増設メモリーがある場合は、取り外した状態で正常に起動するか確認してみましょう。

③ 放電処理

通常の手順で電源を切らなかった場合、電源制御のコントローラが停止している場合があります。下記の手順に沿って放電処理を行ってください。

- 電源ケーブル・AC アダプターを取り外します。
- バッテリーを取り外します。
- 電源スイッチを５回程押します。
- 12 時間程放置します。
- 放置後に「 ①電源環境・ケーブル接続の確認」の手順で動作確認をしてみましょう。



パソコントラブル解決手順

作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる

操作ができない状況になってしまった場合には、あわてて電源を切ったり、むやみにマウスのボタンやキーボードのキーを押したりせず、５分ほど放置してください。なんらかのメッセージが表示された場合はメッセージを書き留めてください。
状況が変わらず改善しない場合は、101 ページ「タスクマネージャー」を確認してください。
それでも変わらない場合は、電源スイッチを 4 秒以上長押しして電源を切ってください。

① 電源環境・ケーブル接続の確認
② 増設機器の取り外し

89 ページ「電源が入らない①②」を確認してみましょう。

③ セーフモード

Windows を最低限必要な機能だけで起動するモードです。セーフモードで Windows が起動するか確認してみましょう。

参照：100 ページ「Windows をセーフモードで起動する」

④ システムの復元

Windows のシステムを、不具合が発生する前の状態に戻す機能です。セーフモードの起動ができた場合には、システムの復元を行うことで改善されるか確認してみましょう。

参照：100 ページ「システムの復元」

⑤ PC-Doctor

Diginnos パソコンに付属しているハードウェア不具合の検出ツールです。PC-Doctor を使ってハードウェアに不具合が発生していないか確認してみましょう。

参照：102 ページ「『PC-Doctor』簡易操作方法」

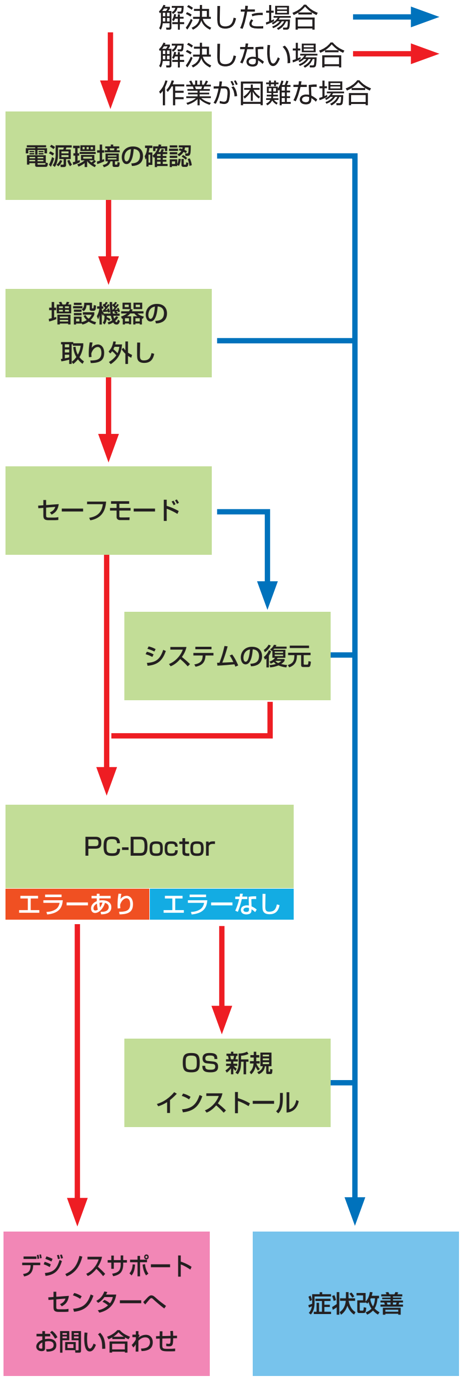
エラーあり：デジノスサポートセンターへお問い合わせください
エラーなし：OS の新規インストールへ進んでください

⑥ OS 新規インストール

Windows をインストールし直して、Windows を購入時の状態に戻します。

参照：55 ページ「OS インストール前の準備」

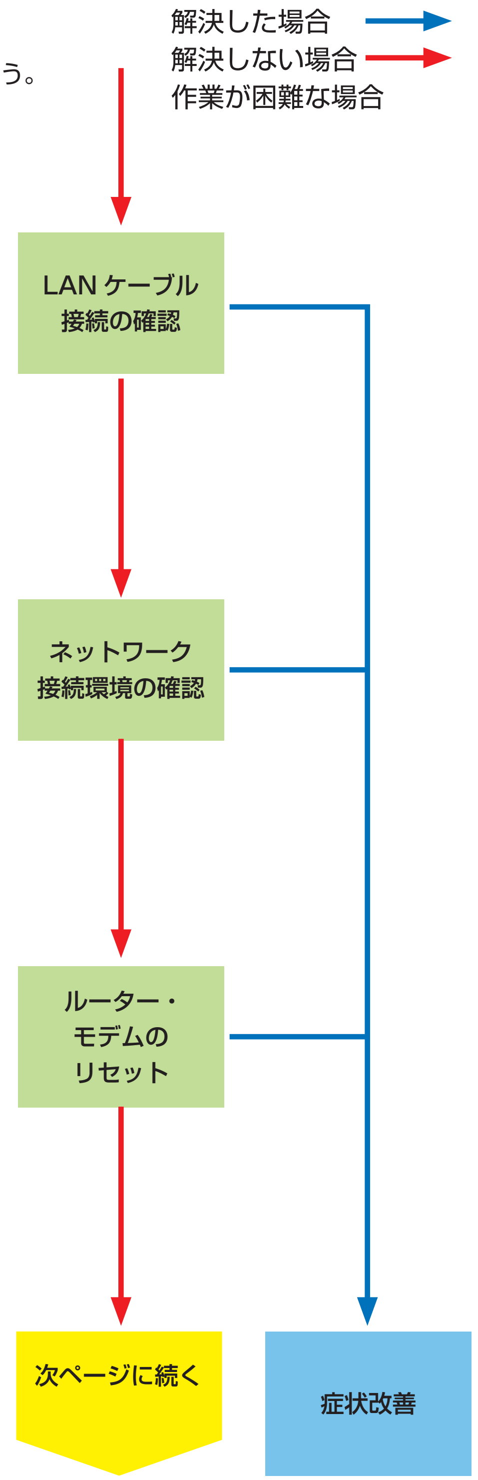
⚠ OS の新規インストールを行うと、データは全て削除されるので、予めご了承ください。



インターネットにつながらなくなった

急にインターネットにつながらなくなる場合には、さまざまな原因が考えられます。
ここでは一般的な改善案をご案内します。

なお初めてインターネットの設定をされる方は、
35 ページ「インターネットの接続」を参照して設定をしましょう。



① LAN ケーブル接続の確認

LAN ケーブルの接触不良や LAN ケーブル自体の不具合が原因となっている場合があります。

ルーター・モデム側とパソコン側の両方のケーブルを接続し直すことで改善されるか確認してみましょう。

LAN ケーブルを複数お持ちの場合は、別の LAN ケーブルを接続して確認してみましょう。

なお無線をご利用の場合は、まず有線で接続してインターネットに接続できるか確認してみましょう。

② ネットワーク接続環境の確認

ルーター・モデムに複数のパソコンを接続していると、システムが競合してインターネットに接続できない場合があります。

他のパソコンも接続している場合には一時的に取り外し、つながらないパソコンだけを接続してみましょう。

③ ルーター・モデムのリセット

ルーター・モデムの設定に不具合が発生している場合があります。

ルーター・モデムの取扱説明書を確認して、設定をリセットしてみましょう。

また、リセットを行っても設定が残ってしまう場合がありますので、接続している機器を全て取り外して、ルーター・モデムの電源を入れ直してみましょう。

④ 導入ソフトウェアの確認

インストールしたソフトウェアが原因となっている場合があります。

インターネットにつながらなくなる直前に、インストールしたソフトウェアがある場合には、一旦削除してみましょう。

⑤ ファイアウォールの確認

Windows のファイアウォールが誤作動している場合があります。

ファイアウォールを一時的に無効にすることでインターネットに接続できるか確認してみましょう。

接続できた場合には、別途ファイアウォールやセキュリティソフトを導入し、ウイルスやスパイウェアからデータを守りましょう。

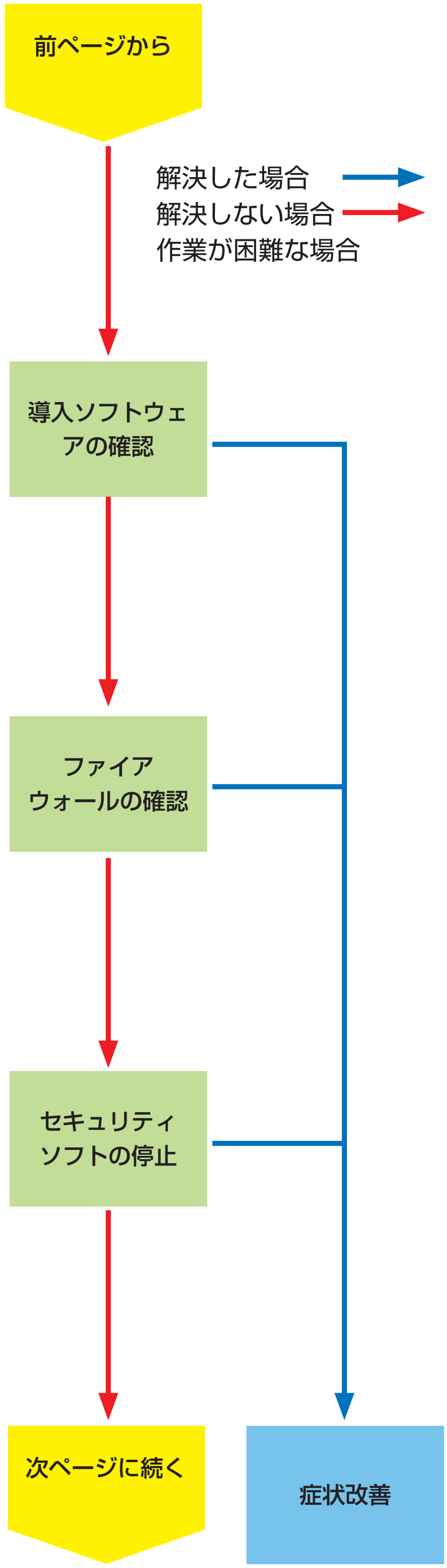
参照：38 ページ「① ファイアウォール」を有効にします

⑥ セキュリティソフトの停止

ウイルススキャンソフトなどのセキュリティソフトを利用している場合、インターネットの接続が妨げられることがあります。

セキュリティソフトを一時的に停止することで、インターネットに接続できるか、確認をしてみましょう。

セキュリティソフトの停止方法については、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。



パソコントラブル解決手順

⑦ プロバイダーに確認

ご利用のプロバイダーによっては特別な設定が必要な場合や、インターネットの回線自体に不具合が発生している場合もあります。

ご利用になっているプロバイダーのサポートまで、設定や回線状態などについて確認してみましょう。

⑧ ネットワークドライバーの入れ直し

ネットワークに接続するためには、ネットワーク機器を動作させるためのソフトウェア（ネットワークドライバー）が正常に動作している必要があります。

ネットワークドライバーがインストールされていない場合や、正常に動作していない場合にはインターネットに接続できません。

ネットワークドライバーは付属のドライバー CD/DVD に入っています。

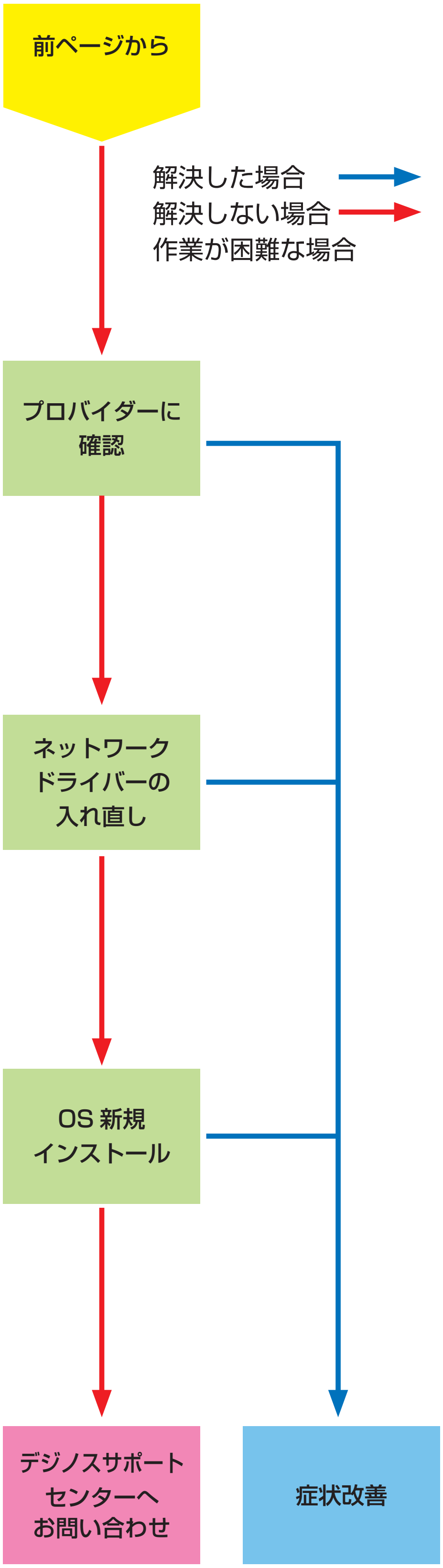
参照：82 ページ「デバイスドライバーのインストール」

⑨ OS 新規インストール

Windows をインストールし直して、Windows を購入時の状態に戻します。

参照：55 ページ「OS インストール前の準備」

> ⚠ OS の新規インストールを行うと、データは全て削除されるので、予めご了承ください



■ ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイに何も表示されない場合は、様々な要因が考えられます。

- **ディスプレイの輝度（明るさ）が小さくなっている場合**
  Fn キーと特定のキーの組合せで設定を変更します。（購入時の仕様により組合せのキーは変わります）29 ページ「キーボードの使い方」を参考に確認しましょう。
- **ディスプレイの省電力状態が働いている場合**
  キーボードのキーやタッチパッドを操作してみましょう。
- **パソコンがスリープ状態に入っている場合**
  キーボードのキーやタッチパッドを操作して変らない場合は電源スイッチを押してみましょう。
- **外部ディスプレイに表示が設定されている場合**
  Fn キーと特定のキーの組合せで設定を変更します。（購入時の仕様により組合せのキーは変わります）29 ページ「キーボードの使い方」を参考に確認しましょう。上記を試して改善できない場合は89 ページ「電源が入らない」を確認しましょう。

■「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない

「再起動するか、適切な起動デバイスを選択または起動メディアを挿入した状態で､何かキーを押してください」という内容です。

この症状が発生する主な原因として、起動デバイスであるハードディスクの中に、起動できる OS が入っていない場合があります。

- **OS をインストールしていない場合**
  55 ページ「OS インストール前の準備」を参照してインストールしましょう。
- **すでに OS をインストールしている場合**
  下記手順で改善されるか確認してみましょう。

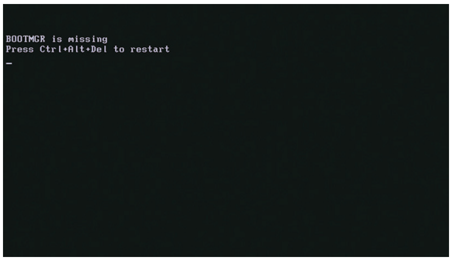
1. 電源環境の確認・増設機器の取り外し
   89 ページ「 電源が入らない①②」を確認してみましょう。
2. 光学ドライブにディスクが入っている場合は取り出します。
3. OS のシステムファイルが壊れている場合があります。
   55 ページ「OS インストール前の準備」を参照して OS をインストールし直しましょう。
   改善されない場合にはハードウェア不具合の可能性が考えられます。
   その場合は、デジノスサポートセンターまでお問い合せください。

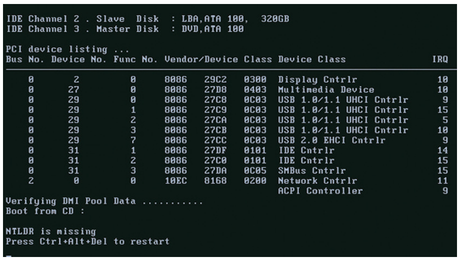
■「BOOTMGR is missing Press CTRL + ALT +DEL to restart」と表示されて、 先に進まない

「 BOOTMGR が見つかりません。CTRL ＋ ALT ＋ DEL を押して再起動してください。」という内容です。BOOTMGR は Windows 7 の起動時に必要なプログラムです。

この症状が発生する主な原因として、Windows のシステムファイルが破損している場合があります。

78 ページ「Windows 7 スタートアップ修復」を参照して OS を修復してみましょう。



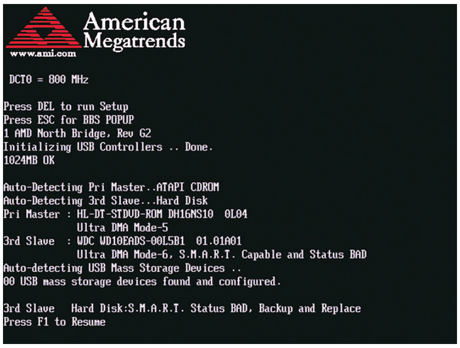


■「S.M.A.R.T. Status BAD, Backup and Replace Press F1 to Resume」と表示されて、先に進まない

S.M.A.R.T. とは Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology の略で、ハードディスク障害の早期発見・故障の予測を目的としてハードディスクに搭載されている機能です。

この症状が発生した場合には、ハードディスク自体の故障の可能性が考えられます。

再起動を行っても症状が改善されない場合は、裏表紙の「サ ポート案内」を参照し、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。



■ 画面がにじむ・画面の比率がおかしい（画面の解像度設定）

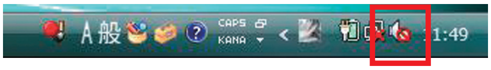
画面表示がにじんでいたり、比率がおかしい場合には、ご利用のディスプレイが適切な解像度に設定されていない場合があります。

33 ページ「画面解像度の設定」を参照して設定を確認し、正常に表示されるか確認してみましょう。

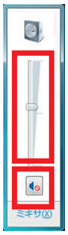
■ 音が出ない（サウンドの設定）

まず、音が鳴らない際は内蔵スピーカが壊れていないか、ヘッドホンを接続して確認しましょう。ヘッドホンをつなげても音が出ない場合には、音量設定の音量レベルが低かったり、ミュートに設定されている場合があります。

右下のタスクトレイから音量調節ツール（スピーカーマーク）をクリックして起動し、確認してみましょう。



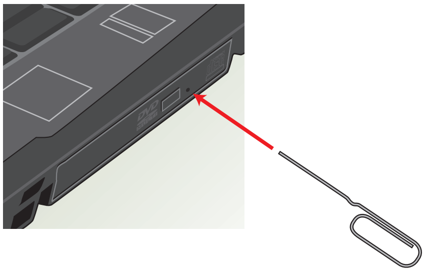
音量ミキサのミュートボタンにチェックが入っている時は、チェックボックスをクリックしてミュートを解除しましょう。音量レベルが低く設定されている場合には、レベルを上げてみましょう。



パソコントラブル FAQ（ハードウェア）

■ 光学ディスク（CD-ROM、DVD など）が取り出せなくなった

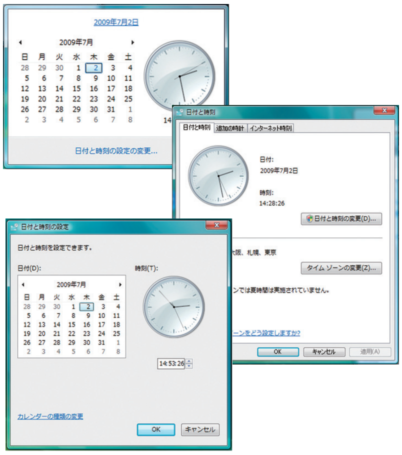
アプリケーションのエラーなどの原因で光学ディスクが取り出せなくなったときは、「コンピュータ」内にある、光学ディスクドライブを示すアイコンを右クリックして、「取り出し」をクリックしてください。



それでも取り出せないときは、長さ 4cm 程度の細い針金（大きめのゼム クリップを伸ばしたものなど）を用意して、以下の手順でディスクを取り出してください。

1. パソコンの電源を切ります。
2. 光学ドライブのイジェクトボタン横にある直径 2mm ぐらいの小さな穴に、用意した針金を入れて押し込みます。（緊急イジェクトホール ）
3. ディスクトレイが 1cm 程度出てきますのでトレイを静かに引きし、ディスクを取り出し、ディスクトレイを静かに押して閉めます。

■ 時計が合っていない



パソコンとはいえ、精密機械ですので時間がずれることもあります。時間がずれるとファイル保存のときやメールの送受信の時間もずれてしまいますので、定期的に合わせましょう。

1. 時間が表示されているところをダブルクリックして、「日付と時刻」を表示します。
2. ［日付と時刻の変更］をクリックします。
3. 「日付と時刻の設定」が開きますので、日付と時刻の設定を行い、［OK］をクリックします。

時計を合わせてもすぐにずれてしまう場合は、裏表紙「サポート案内」を参照し、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。

■ 夏場など、熱い時期に頻繁にフリーズする （パソコンが停止して操作不能になる）

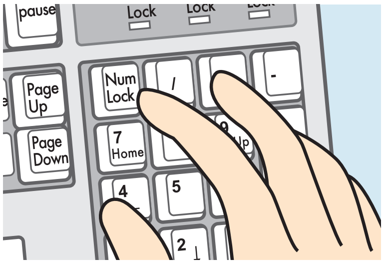
パソコンパーツの多くは動作時に発熱します。パソコンを使用する部屋の温度が高すぎる、通風口をふさいでしまう、CPU クーラーにホコリが溜まり冷却を妨げてしまうなどの要因によりパソコン内部の冷却が十分に行えず、内部温度も過剰に上昇し、正常動作に適さない温度に達します。

温度上昇によりフリーズや、正常に動作しなくなる状態をパソコンが熱暴走を起こすといいます。

1. 5 ページ「安全のために」を参照してパソコンの周りを確認しましょう。
2. 内部にホコリが溜まってしまった場合、ドスパラ全店及びデジノスサポートセンターにて有償クリーニングを承ります。また、DJ メールマガジンご購読の方はお持込みいただくことで Diginnos パソコンの内部クリーニングを無料で行います。

   詳しくは下記の WEB またはデジノスサポートセンターまでご相談ください。http://www.dospara.co.jp/cln

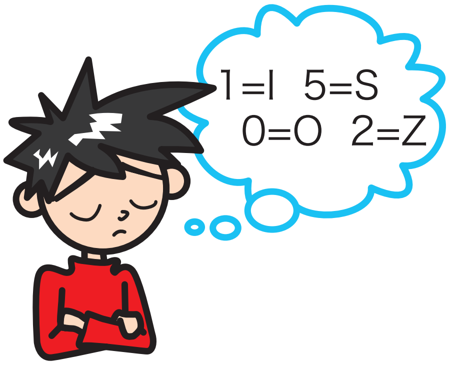
■ 特定の文字が入力できない（キーボード操作について）



「Num Lock」が有効になっているとアルファベットキーの一部分の入力がテンキー入力になり、アルファベットが入力できなくなります。「Num Lock」を無効にしましょう。

29 ページ「 キーボードの使い方」を参考に確認しましょう。

■ プロダクトキー入力が正しく行えない



プロダクトキーの入力画面で特定のキーが入力できない場合や、「プロダクトキーが無効です」と表示される場合には、誤った文字を入力されている可能性があります。

プロダクトキーの入力画面では、使用されない文字は入力できません。

使用されない数字　［ 1、5、0 ］
使用されない文字　［ A、E、I、L、N、O、S、U、Z ］

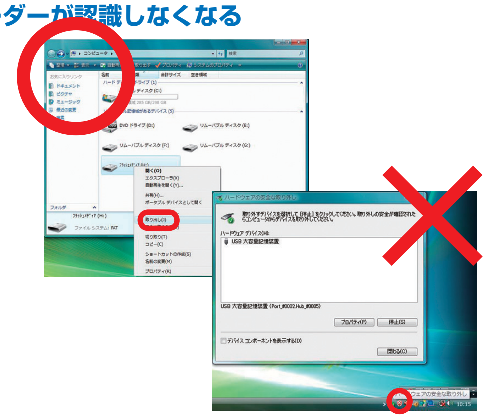
またプロダクトキーの文字は小さいため、[6] と [G]、[8] と [B] など、見間違えやすい文字もありますので、16 ページ「プロダクトキーの確認」を参照して確認してみましょう。

■ 漢字入力ができない

キーボード左上に「半角／全角」と印刷されたキーがあります。Windows 上で漢字を入力するときは、このキーを押すごとに日本語入力とアルファベット入力が交互に切り替わります。

このとき IME ツールバーの左側に日本語モードなら「あ」、英数モードなら「A」と表示され、入力モードが確認できます。

■ フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる



本体に内蔵されているカードリーダーは一つの USB カードリーダーとして認識されています。

タスクトレイにあるハードウェアの安全な取り外しで、このカードリーダーを取り外すとカードリーダー自体を取り外したことになり、再起動するまで認識されなくなります。

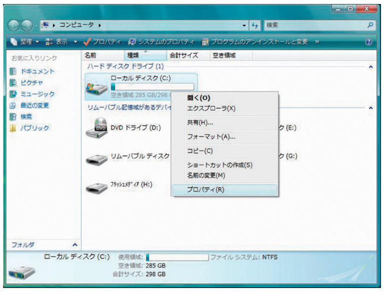
カードリーダーに挿入したメディアを取り外す場合には、[スタート] から [コンピュータ] をクリックし、該当ドライブを右クリックして [取り出し] を行いましょう。

■ ハードディスクの空き容量を確かめるには

空き容量を確かめるには、[コンピュータ] をクリックして開き、確かめたいフロッピーディスクやハードディスクを右クリックして開いたメニュー画面の [プロパティ] をクリックしてください。ディスクのプロパティが開き、使用領域や空き領域が表示されます。

ハードディスクは常に 15%以上の空き容量があると良いでしょう。

※ハードディスクの空き容量が 15%以下になると、デフラグができなくなります。



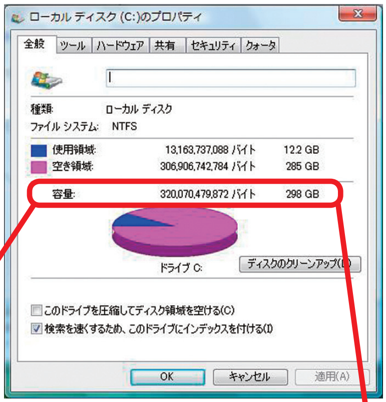
■ ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない

Windows でハードディスクの容量を表示すると、以下の 2 つの理由により、広告やお店の表示よりも少なくなります。

ひとつは、ハードディスクには「Save to Disk」という、システムの状態を一時的に保存する領域が設けてあり、この領域は Windows には認識されないため、この領域の分だけ容量が少なく表示されます。

もうひとつは、広告などで表示している容量と、Windows で表示される容量は、計算方法が異なるためです。広告などの表示では 1MB（メガバイト）は 1,000 × 1,000 バイトとして計算されています。

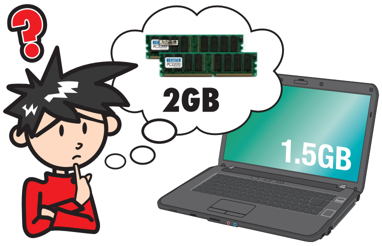
一方、Windows は 1MB を 1,024 × 1,024 バイトで計算していますので、結果として全体の容量が少なく表示されます。



■ システムに表示されるメモリ容量が搭載容量より少ない

チップセット内蔵ビデオを使用するモデルの場合、メインメモリから最大 512MB をビデオメモリとして使用します。

システムに表示される容量は、メインメモリからビデオメモリとして動画再生や 3D 描画に使用する容量を差し引いた容量となります。



■ 液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイ（LCD）は、非常に高精度な技術にて製造されております。
ごく僅かにドット抜け（点灯しない又は常時点灯する画素）が発生することがございますが、LCD の特性であり、現在の製造技術では完全に無くすことはできません。
また、この数は自然増減することがありますが、これらは LCD の特性によるもので故障や初期不良ではございません。

改善のための操作方法

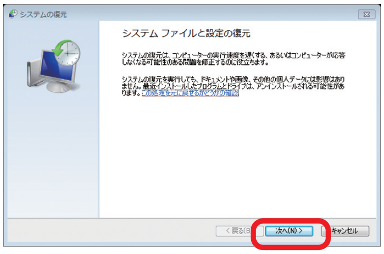
■ システムの復元（Windows 7 での操作方法を示します）

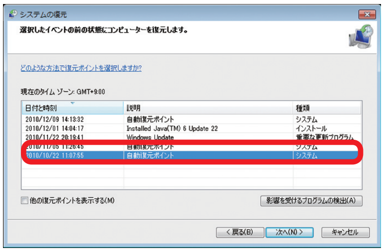
1.「システムの復元」を表示します。

・［すべてのプログラム］ → ［アクセサリ］ → ［システムツール］→［システムの復元］をクリックしてください。［次へ］をクリックします。

・［推奨される復元］を選択して、［次へ］をクリックします。

※［別の復元ポイントを選択する］を選択した場合、過去の復元ポイントの一覧が表示されます。該当のポイントを指定して復元することもできます 。



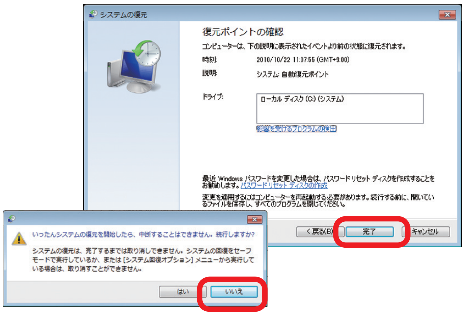


2.「復元ポイントの確認」が表示されます。

・復元ポイントの内容を確認して［完了］をクリックしてください。

・続行の可否の選択が表示されるので、［はい］をクリックしてください。

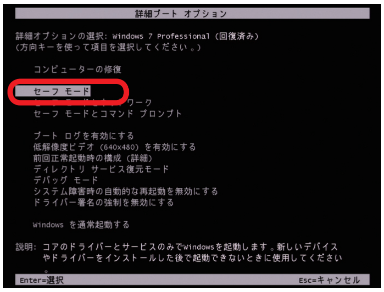
・システムの復元後、自動的に再起動します。



■ Windows をセーフモードで起動する（Windows 7 での操作方法を示します）

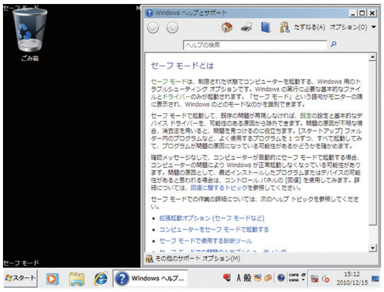
1.「詳細ブート　オプション」を表示します。

電源を入れた時に［F8 キー］をトントントンと断続的に押します。BIOS[UEFI] 画面のあとに「詳細ブート　オプション」が表示されます。



2. オプションを選択します。

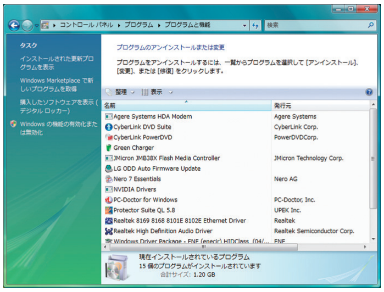
［セーフモード］を選択して［Enter キー］を押してください。セーフモードで起動します。



ワンポイント
セーフモードは不具合発生時の診断用の起動モードです。
不具合が発生し起動できなくなった場合も、このモードで

改善のための操作方法

■ プログラムのアンインストール
（Windows 7 での操作方法を示します）



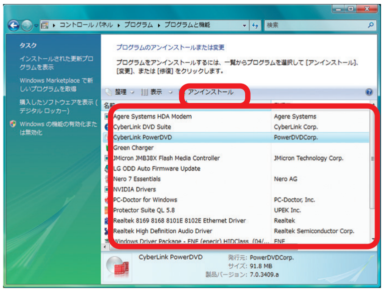
インストール済みのソフトウェアを管理します。プログラムやアプリケーションなどのソフトウェアをシステムからアンインストール（削除）できます。

1. 「プログラムのアンインストール又は変更」を表示します。

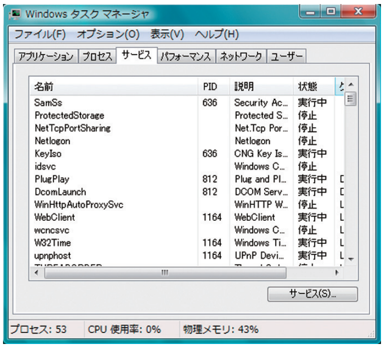
   [スタート] →[コントロールパネル] →[プログラム] →[プログラムのアンインストール] をクリックします。

2. ソフトウェアをアンインストールします。

   削除したいソフトウェアをクリックして選択後に [次へ] をクリックし、アンインストールを行います。



■ タスクマネージャー
（Windows 7 での操作方法を示します）



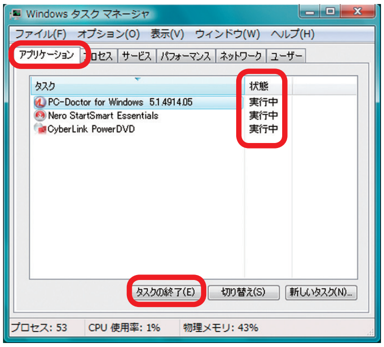
現在起動されているプログラムの状態を確認したり、プログラムを強制的に終了させることができるソフトウェアです。一部ソフトのフリーズは強制終了することにより、Windows に復帰できる場合があります。

1. 「タスクマネージャー」を表示します。

   [Ctrl] ＋ [Shift] ＋ [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します。

2. アプリケーションのタスク状態を確認します。

   [応答なし] などの状態になっている場合は、その項目をクリックし、[タスクの終了] をクリックすると、そのプログラムを強制的に終了させることができます。



ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」

■「PC-Doctor」について

Diginnos パソコンには、異常がないかを確認する診断ソリューションとして「PC-Doctor」というハードウェア診断ソフトウェアが導入されています（一部モデルを除く）。起動するけれど調子が悪いなど「不具合かな？」と思われる症状が現れたら、まずは「 PC-Doctor 」でチェックしてみましょう。

・PC-Doctor for Dos
　CD-ROM から起動することで Windows に依存することなく診断します。Windows のソフトウェアやドライバーなどに起因する不具合と切り離し、ハードウェア自体の問題を確認することができます。

> ⚠ 「PC-Doctor for Dos」は Windows 8 搭載モデルにおいて、動作いたしません。
> 「PC-Doctor for Windows」をご利用ください。

・PC-Doctor for Windows
　Windows にインストールして実行することで診断を行います。
　Windows から実行するため、診断結果は Windows のソフトウェアやドライバー状態に依存します。

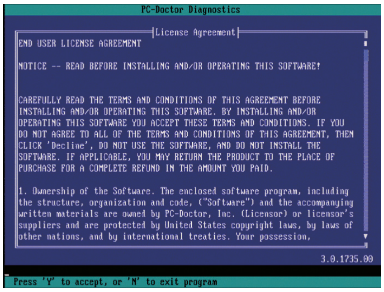
PC-Doctor には上記の2種類があり、それらを組み合わせることでハードウェアや Windows の不具合を診断することができます。
本項目では、ハードウェアの診断を行う、「PC-Doctor for Dos」の操作方法を説明します。

「PC-Doctor for Windows」の操作方法は、下記の URL から「PC-Doctor マニュアル（Win 版）」をご覧ください。
http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/

■「PC-Doctor for DOS」簡易操作方法

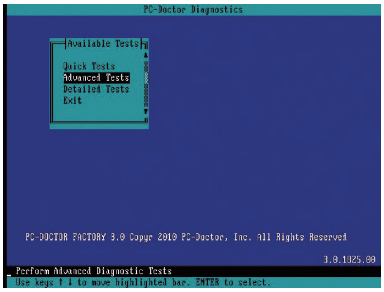
1. 光学ドライブに PC-Doctor の CD-ROM をセットして、パソコンを再起動させます。

　メディアは 85 ページ「PC-Doctor インストール」をご参照ください。



2. 「ライセンス条項」が表示されます。

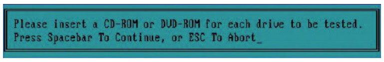
　しばらくお待ちいただくと PC-Doctor が起動し「ライセンス条項」が表示されますので、[Y] キーを押して先に進みます。



3. 「メインメニュー」が表示されます。

　テストの種類を選択して [Enter] キーを押して実行します。まずは [Advanced Tests] を実行しましょう。

　Advanced Tests を実行すると、右記のメッセージが表示されます。光学ドライブの検査をするために、CD/DVD-ROM のメディアをドライブに入れ［Space］を押してください。



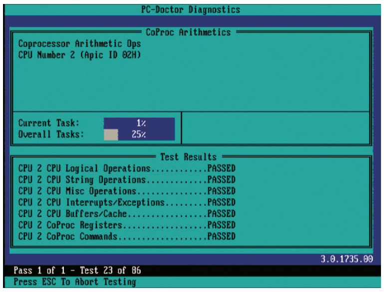
4. 「テスト画面」が表示されます。
　各テスト項目の進展状況が表示されます。

　テスト時間

　【Quick Tests】：20 ～ 40 分
　【Advanced Tests】：120 ～ 300 分

　※「Advanced Tests」ではより細かい検査を行います。そのためハードディスクの容量やメモリ容量などにより大きく時間が変わります。

　※ PC-Doctor の実行中に、画面が明滅したり砂嵐が表示されたりしますが、ビデオカードのテストを行っている表示のため、 問題ございません。

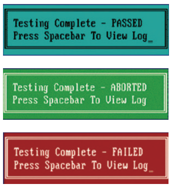


5.「テストの実行結果」が表示されます。

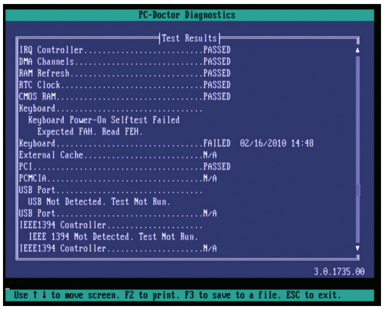
・PASSED：全てのテストを正常に完了した場合

・ABORTED：テストが途中で中断した場合

・FAILED：エラーが発生した場合
「スペース」キーを押してテスト内容のログを確認します。



・テスト結果の詳細が表示されます、「↑ ↓」カーソルキーで表示を移動して［FAILED］が表示されている項目を確認します。
表示している項目のハードウェアの不具合が考えられます。



> ⚠ USB 機器を接続した状態で PC-Doctor を実行すると、フリーズしたり「FAILED」が表示される場合があります。
>
> USB 機器（USB キーボード以外）を取外した状態で PC-Doctor を実行してください。
>
> USB キーボードは、［Keyboard］項目に［FAILED］が表示される場合がありますが問題はございませんので、そのままご使用ください。

6. PC-Doctor を終了させせます。

メインメニューの「Exit」を選択します。" C:PCDR>" と表示されたら、PC-Doctor の CD を取り出し、電源スイッチを押してパソコンの電源を切ってください。

■ テストの種類について

【Quick Tests】
ハードウェア全体の簡易テストを自動で行います。

【Advanced Tests】
Quick Tests よりも詳細なハードウェア全体のテストを自動で行います。
Quick Tests で「PASSED」と表示された場合にお試しください。

【Detailed Tests】
特定のハードウェアの詳細なテストを手動で行います。

詳細な手順については、http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/ より、PC-Doctor 操作マニュアル（DOS 版）をご参照ください。

■ テスト結果について

「PASSED」と表示された場合にはハードウェアではなく、ご利用環境、設定やソフトウェアなどが不具合の要因となっている可能性があります。
90 ページ「作業中にフリーズする･ブルースクリーンになる」を参照して PC-Doctor 以外の内容を確認してみましょう。
なお「FAILED」と表示された場合にはハードウェアの不具合が考えられますので、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。

> ⚠ 本ソフトウェアは Diginnos パソコン専用ソフトウェアのため、他のパソコンにはご使用できません。
> また、Diginnos パソコンの BIOS[UEFI] 情報をお客様自身でアップデートや書き換えをされた場合には本ソフトウェアはご利用できなくなりますのでご注意ください。

デジノスサポートセンターよりお客様へ

パソコンのパーツは規格品なので、基本的にはどんな組み合わせでも動くはずですが、各社趣向を凝らし付加価値をつけて販売している製品もあって、「相性」でうまく動かない時もあります。また「動かない！」と思っていたものが、ちょっとしたミスや見落としが原因の時もあります。

不具合が見つかってもメーカーが解決策をウェブサイトで公開しているかもしれません。

弊社のウェブサイト（http://www.dospara.co.jp/）にも耳寄り情報やメーカーのウェブサイトへのリンクを載せていますので、ぜひご覧ください。

インターネット上では、企業や個人がいろんな情報やウラ技をウェブサイトで公開しています。検索サイトで調べてみるのも面白いかもしれません。

自動車などでメンテナンスが必要なように、パソコンにもメンテナンスが必要です。長期間使用していますと、内部にホコリがたまってしまう場合があります。そのホコリが不具合・トラブルの原因となりますので、定期的にエアダスターなどで内部のホコリを取り除くようにしましょう。

なにかを試す時はよく考えてから自分ができる範囲で少しずつ始めましょう。どんどんパソコンの知識を広げ、楽しいパソコンライフを送ってください。

パソコン・パーツ買取のご案内

ドスパラは、新しくパソコンをご購入もしくは、新しいパソコンパーツに組み替えられた場合に、ご不要になったパソコンやパーツの買取を行い、地球資源のリユース（再利用）を促進しております。
全国のドスパラ店頭またはドスパラウェブサイトより買取を実施しております。

詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

パソコンのリサイクルについて

デジノスは、資源の有効な利用の促進に関する法律（通称:リサイクル法　2001 年 4 月 1 日施行）により、事業系ユーザからのパソコン回収、再資源化の実施がパソコンメーカーに義務づけられたことに対応し、「デジノスリサイクルセンター」（旧ドスパラリサイクルセンター）を設置いたしました。

事業系（法人、個人事業者などのお客様）を対象として、パソコンの回収・リサイクルに関するご相談に対応するサービスを行っております。

また、リサイクル法の 2003 年 10 月 1 日の改正に基づき、個人（一般）向けパソコンの回収・リサイクルに関するご相談にも対応するサービスを「デジノスリサイクルセンター」にて開始いたしました。

PC リサイクルマーク

PC
リサイクル

2003 年 10 月 1 日以降に販売された、個人向け PC リサイクルサービス対象製品の本体には、「PC リサイクルマーク」が貼付してあります。このマークが貼付されている弊社対象製品は弊社にて無償回収および再資源化を実施させていただきます。

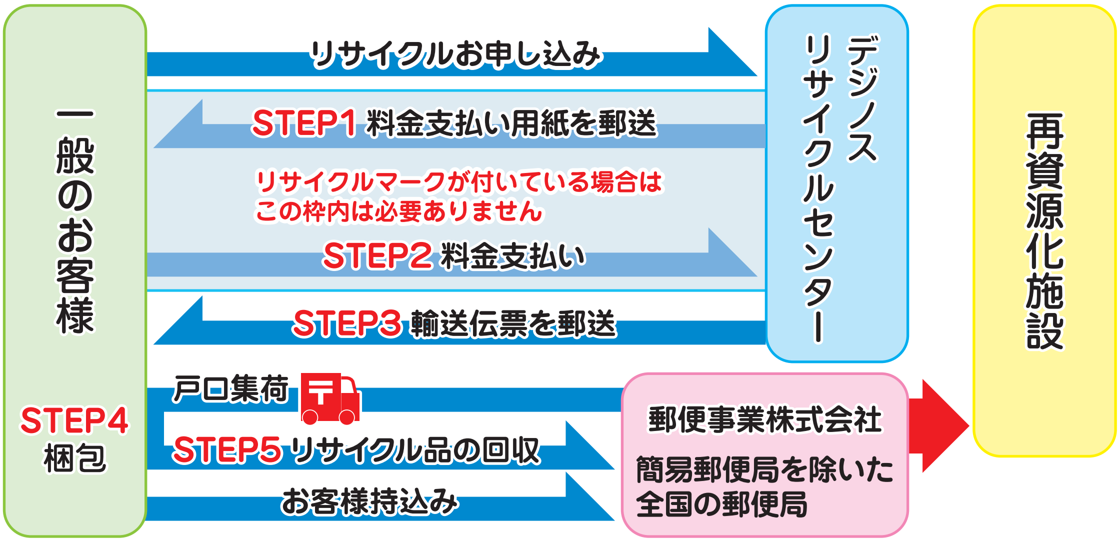
なお、回収は電子情報技術産業協会（JEITA）と郵便事業株式会社が提携し対応を行っております。郵便局へ直接お持ち込みいただくか、自宅戸口での集荷回収のどちらかをお選びいただくことができます。

PC リサイクルサービスのご案内

デジノスリサイクルセンターでは、ご家庭で不要になった弊社パソコンの回収リサイクル活動を行っております。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

http://www.dospara.co.jp/recy

お申込みから回収までの流れ



回収・リサイクルに関するお問い合わせ

デジノスリサイクルセンター

東京 03-4332-9193（PHP・IP 電話もこちらへ）

ナビダイヤル **0570-028-119**（電話受付時間 9：00 ～ 21：00 年中無休）

パソコンに記憶されているデータについて

PC および HDD などの内蔵記憶装置に保存されているデータについて

パソコンの回収・リサイクルおよびリユースにあたり、以下の点にご注意ください。

お客様がご利用になっていたパソコンに内蔵されている記憶装置には、大切な個人情報や重要なデータが保存されています。このデータの取り扱いに関しましては大変恐れ入りますが、お客様の責任範囲としてデータの消去や別の記憶媒体などへバックアップ、保存を実施いただくことになります。

万が一、データの漏洩等が発生した場合につきましても、弊社では責任を負いかねます。

HDD 消去・破壊サービスのご案内

お客様によるデータ保護、漏洩に関して不安がある場合や、確実なデータの破壊もしくは、記憶装置の物理的な破壊による保護をご要望される場合は、弊社にて以下のサービスを提供しておりますのでご利用ください。（有償）

HDD データ消去

アメリカ合衆国国防総省採用のデータ消去方法に準拠した HDD のデータ消去作業を行います。
HDD としての機能は維持されますので、リユースが可能です。

物理破壊

HDD を物理的に破壊し、完全に HDD としてのデータの書き込みおよび読み込みを不可能にします。破壊後は、HDD をパソコンへ接続しても動作しません。

また、破壊された HDD は PC リサイクルサービスの一環として、ご利用になっていたパソコンと一緒にリサイクルすることが可能です。

詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

http://www.dospara.co.jp/del

Diginnosパソコン保証規約

お客様各位 この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました商品の保証の内容は、下記のようになっております。

1．保証期間について

保証期間は販売店および通販でのご購入日より 1 年間となります。

※レシート（納品書）および Diginnos 製造番号シールが保証書となります。Diginnos 製造番号シールは Diginnos パソコン本体の裏面、もしくは底面に貼付していますのでご確認ください。

※修理完了後の保証につきましては、ご購入の際に付帯する保証期間の満了日、または、修理完了品のお引渡し日から 1 か月の保証期間を付帯し、いずれかの長い方とします。

2．初期不良について

初期不良期間は、原則お買い上げ日から 1 週間以内とします。商品発送の場合は到着後 1 週間以内とします。初期不良の対応につきましては、お買い上げになられた店頭へお持ち込みいただくか、デジノス修理センター（以下，弊社）へご送付ください。お預かりのうえ、弊社にて修理対応をさせていただきます。修理に相当日数がかかる場合には、同一商品（新品）と交換をさせていただきます。交換する商品の在庫がない場合には同額以上の別商品と交換させていただきます。別商品と交換の際に差額が生じた場合には、差額分をご負担ください。お預けいただく際にお客様の来店または発送のご都合がつかない場合、お買い上げ日または、商品到着日から 1 週間以内にお買い上げ店舗またはデジノスサポートセンターまでご連絡をお願いします。ご連絡後、初期不良期間を最大 1 週間延長いたします。なお、DJ クラブカードのメンバーでメールマガジンをご購読いただいている会員の方は、初期不良期間を 1 か月間に延長させていただいております。DJ クラブへのご加入とメールマガジンのご登録をお勧めいたします。(メールマガジンは無料です)

3．保証免責事項について

下記のような場合には、サポートおよび修理交換など、弊社保証の対象とはなりません。

- 組み合わせや相性によって発生する機器互換性などの原因による症状。(仕様)
- 天災、火事および、停電、付属されている電源ケーブルの外部損傷などの外部要因によって故障が発生した場合。
- 弊社販売時のサポート OS 以外で症状が発生する場合。
- 自然消耗、摩耗、劣化（バッテリーの経年劣化、消耗や長期使用によるハードディスクの不良セクタの増加）による場合。
- 譲渡などにより所有者の変更があった場合。（オークションや、中古売買などによるご購入を含む）
- 焼損痕、外傷がある場合。
- 保証書や製品のラベル類が汚損、破損している場合。
- お客様の故意、過失、改造またはお取り扱い方法や、ご使用方法が不適切と判断した場合。

4．不良発生時にご用意いただくもの

- ご購入時のレシートまたは納品書（保証書）※ パソコン保険をお申し込みいただいている場合 、保証を受ける際パソコン保険証券の同梱が必要となります。
- デジノス修理依頼書（本書 109 ページにありますのでご記入のうえ、同梱をお願い致します。コピー可。）
- ご購入時の梱包箱

また、作業を円滑に行うために、下記の物を同梱くださいますようお願いいたします。

・OS インストールディスク　・ドライバー CD などの付属品

5．不良診断・修理に要する期間・修理部品の取り扱い

通常、保証期間中の修理についてはご依頼品をお持込またはお送りいただいた後、修理期間は弊社に到着してから、1 週間から 10 日程度となります。原則、店舗へご来店での修理ご依頼の際は、その場での修理・交換対応は応じかねますので、あらかじめご了承ください。海外のメーカー製部品に関しては、その海外部品供給元へ送付し、修理依頼を行うため、初期不良期間経過後の修理のご依頼は、そのメーカーによっては 1 か月以上の期間をいただく場合がございます。保証期間中の修理において交換した部品の所有権は弊社に帰属します。よって、当該部品をお客様に返却しないものとします。なお、交換した部品は、地球環境の配慮から部品供給元で修理・再調整後、動作検査し新品部品と同等の品質が保証されたものとして再利用する場合があります。

※修理期間中における代替品の貸し出しは行っておりません。

6．送料、診断料について

検証、修理ご依頼品を発送されるときの送料は原則、お客様にてご負担ください。初期不良期間の製品につきましては、最寄りの店舗、または秋葉原サポートセンターおよび弊社デジノスサポートセンターへ事前にご連絡をいただき、検証修理が必要と判断された場合には弊社にて負担いたします（佐川急便のみ）。出荷時の構成と異なる構成に変更されている場合は 、初期不良とみなしません。また、輸送中の事故はお客様の責任となりますので、商品が梱包されているダンボール箱などでしっかりと梱包してください。弊社に到着後、検証・修理ご依頼品返却時の送料は原則、弊社にて負担いたします。ただし自損など、自然故障以外のハードウェア不良の場合、返却時の送料はお客様のご負担となり別途診断料もご請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

7．責任制限

弊社の責任の範囲は、上記の修理・交換とし、当該商品のご購入金額を上限とします。逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、データおよびプログラムの修復などの間接的な損害については、弊社の責任範囲から除外といたします。また、修理対応時における記憶媒体（ハードディスクなど）内のデータの保証および対応は一切致しかねます。定期的なバックアップの取得をお勧めいたします。この保証は日本国内でのご利用においてのみ有効とします。本規約に関する紛争は、特に別段の定めなき場合は、東京簡易裁判所または東京地方裁判所のみをもって第一審の専属管轄裁判所とします。サービス・保証内容は、予告なく変更される場合がございます。

8．返品、交換について

弊社では原則、返品対応は一切受け付けておりません。お客様において誤って商品をご購入された場合につきましては、未使用・未開封の状態において、ご購入日から 7 日以内であればデジノスサポートセンター又はご購入店舗へご連絡のうえ、お買い上げ明細書（レシート)、領収書を添えてお持ちいただければ、ほかの同額以上の商品と交換いたします。交換の際に差額が生じた場合には差額分をご負担ください。通信販売でお求めの場合は、差額お振込み時の振込手数料、代引手数料などはお客様にてご負担ください。

9．Diginnos パソコン保証期間外の修理またはアップグレードなど、有償サポートについて

有償サポートにつきましては、詳しくはお買上げ店舗、またはデジノスサポートセンターにお問い合わせください。

【修理のご依頼について】

ドスパラの通販、店舗でお買い上げをいただきました製品の修理のご依頼につきましては弊社デジノスサポートセンターへご連絡ください。
デジノスサポートセンターでハードウェアに障害があるかどうかを確認し、適切な対応を行わせていただきます。

【修理をご依頼された場合】

修理完了後はお客様へ修理が完了した旨のご連絡させていただいておりますので、お早めにお引取りください。修理完了およびお引取のご連絡から 1 か月を超過してもお預り品のお引取りがなされない場合は、誠に勝手ながら弊社にて処分させていただきますのでご了承ください。

デジノス修理依頼書

DJ 会員様を対象にオンラインによるパソコン故障診断をご用意しております
http://check.dospara.co.jp/front

送り先について
修理品の送付は『〒 252-1123 神奈川県綾瀬市早川 2696-1 デジノス修理センター』宛でご送付ください。秋葉原店舗でご購入された製品については、秋葉原サポートセンターにてお持込修理を承ります。ドスパラ各店舗へのお持込に関しては、弊社ウェブサイト店舗情報をご参照ください。
お問合わせ先：デジノスサポートセンター **東京 03-4332-9193** (PHS・IP 電話からもこちらへ) ナビダイヤル 0570-028-119

● **送付いただく際のご注意 1**
Diginnos パソコンを送付いただく際には、ご購入時の梱包箱を利用し、修理依頼品を梱包送付ください。箱がない場合には安全に輸送するために別途パソコン梱包用の箱をご用意いただき、送付願います。着荷時の梱包箱の状態等により、当社で再利用が困難と判断した場合には、別途箱代を請求させていただきます。また、梱包不良による輸送事故および、物理破損は保証期間内でも有償対象となります。あらかじめご了承ください。送付いただく際は、佐川急便をご利用いただきますようお願いいたします。

● **ご注意 1・2 に同意の上で必要事項をご記入し、お申し込みください**　　※ のついているところは、ご記入必須事項です

ヨミガナ		問い合わせ番号
※お名前		(T※※※※※ または Q※※※※※)
会社名 / 部署名		
※ご住所　返送先住所をご記入ください	〒　　　-	
※ご連絡のつく電話番号	TEL：　　-　　-	携帯電話：　　-　　-

※お買い上げ明細番号（伝票番号）または納品書番号：

※補助記憶装置障害に関する修理におけるデータの取り扱いについて

■ 修理に伴うデータ初期化について

お願い：修理のご依頼をされる前に、あらかじめ、データのバックアップを取得ください。＊データの保護・バックアップ等については、保証対応対象外です

・修理に伴い、障害復旧のために、HDD や SSD などの補助記憶装置に記録された OS やデータの消去が伴うことがございます。

・お客様からお預かりしましたご依頼品において、以下のいずれかのチェックがない場合でも、補助記憶装置や OS の不具合の場合には、その装置の交換対応や OS インストールが伴います。 これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。
※データの初期化に関して下記チェックがない場合は、『同意する』とみなします。

□ 上記内容に同意します　　□ 上記内容に同意しない

管理者権限のユーザー名：　　パスワード：

Windows ログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。 ※ OS 上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。

※不具合内容・症状

- □ Windows が起動しない
- □ 電源が入らない (通電しない)
- □ 画面は出る (BIOS[UEFI] は起動する)
- □ 電源が落ちる
- □ 異音がする
- □電源のファンは回っているが画面表示がない
- □ OS は途中まで起動する
- □ 再起動してしまう
- □ 表示がおかしい
- □ ハングアップする

故障個所、または試されたこと、故障時の様子や発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。

連絡希望時間帯 ：(　　　　　　) ※弊社より連絡を差し上げる場合営業時間 9：00 ～ 21：00 の間でのご連絡となります

ご注意 2

- 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。
- 修理品の送料はお客様負担となります。弊社指定の初期不良期間に限り、通常宅配料金を弊社が負担します。
- ウィルス感染による不具合やシステム上の不具合など、弊社の瑕疵ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。
- お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了後1か月とさせていただきます。 1か月を超えた場合は、弊社で処分させていただきます。
- お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報および個人履歴を使用することはございませんのでご安心ください。

■修理依頼前の確認

修理依頼の前に、本書86ページ「困ったときは！」を確認しましょう。

■修理依頼方法

・デジノスサポートセンターへ問合せ修理のご依頼の際は、まずデジノスサポートセンターへ問合せください。不具合の内容をお伺いし問い合わせ番号の発行と送付をご案内いたします。ドスパラ各店舗へのお持込みに関しては問合せの時にご申告ください。

・修理依頼書
左記の見本にしたがい修理依頼書へ問い合わせ番号及び必要事項を記載します。

お問い合わせ先：デジノスサポートセンター
東京 03-4332-9193 （PHS・IP 電話からもこちらへ）
ナビダイヤル　0570-028-119

デジノス修理依頼書

DJ 会員様を対象にオンラインによるパソコン故障診断をご用意しております
http://check.dospara.co.jp/front

送り先について
修理品の送付は『〒 252-1123 神奈川県綾瀬市早川 2696-1 デジノス修理センター』宛でご送付ください。秋葉原店舗でご購入された製品については、秋葉原サポートセンターにてお持込修理を承ります。ドスパラ各店舗へのお持込に関しては、弊社ウェブサイト店舗情報をご参照ください。
お問合わせ先：デジノスサポートセンター **東京 03-4332-9193** (PHS・IP 電話からもこちらへ) ナビダイヤル 0570-028-119

● 送付いただく際のご注意 1
Diginnos パソコンを送付いただく際には、ご購入時の梱包箱を利用し、修理依頼品を梱包送付ください。箱がない場合には安全に輸送するために別途パソコン梱包用の箱をご用意いただき、送付願います。着荷時の梱包箱の状態等により、当社で再利用が困難と判断した場合には、別途箱代を請求させていただきます。また、梱包不良による輸送事故および、物理破損は保証期間内でも有償対象となります。あらかじめご了承ください。送付いただく際は、佐川急便をご利用いただきますようお願いいたします。

● ご注意 1・2 に同意の上で必要事項をご記入し、お申し込みください　　※のついているところは、ご記入必須事項です

		問い合わせ番号
ヨミガナ	デジノス　タロウ	(T※※※※※ または Q※※※※※)
※お名前	デジノス 太郎	T ✕ ✕ ✕ ✕ ✕ ✕
会社名 / 部署名		
※ご住所　返送先住所をご記入ください	〒 101　-　0021 東京都千代田区外神田 3-11-1 ロックビル 1F	
※ご連絡のつく電話番号	TEL：03　-　5295　-　3435　　携帯電話：　　-　　-	

※お買い上げ明細番号（伝票番号）または納品書番号：XXXXXXXXXXXXXX

※補助記憶装置障害に関する修理におけるデータの取り扱いについて

■ 修理に伴うデータ初期化について

お願い：修理のご依頼をされる前に、あらかじめ、データのバックアップを取得ください。 ＊データの保護・バックアップ等については、保証対応対象外です

・修理に伴い、障害復旧のために、HDD や SSD などの補助記憶装置に記録された OS やデータの消去が伴うことがございます。

・お客様からお預かりしましたご依頼品において、以下のいずれかのチェックがない場合でも、補助記憶装置や OS の不具合の場合には、その装置の交換対応や OS インストールが伴います。 これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。
※データの初期化に関して下記チェックがない場合は、『同意する』とみなします。

☑ 上記内容に同意します　　☐ 上記内容に同意しない

管理者権限のユーザー名：　　パスワード：
Windows ログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。 ※ OS 上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。

※不具合内容・症状

☑ Windows が起動しない
☑ 電源が入らない（通電しない）
☐ 画面は出る（BIOS[UEFI] は起動する）
☐ 電源が落ちる
☐ 異音がする
☐ 電源のファンは回っているが画面表示がない
☐ OS は途中まで起動する
☐ 再起動してしまう
☐ 表示がおかしい
☐ ハングアップする

故障個所、または試されたこと、故障時の様子や発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。

起動しなくなりました。
ランプは付きますが画面が映りません。
「パソコントラブル解決手順」の「電源が入らない場合」の内容を確認しましたが直りませんでした

連絡希望時間帯：(　17:00 ～ 12:00　)　※弊社より連絡を差し上げる場合営業時間 9：00 ～ 21：00 の間でのご連絡となります

ご注意 2
● 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。
● 修理品の送料はお客様負担となります。弊社指定の初期不良期間に限り、通常宅配料金を弊社が負担します。
● ウィルス感染による不具合やシステム上の不具合など、弊社の瑕疵ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。
● お預かりしている修理　品の保管期間は、修理完了後1か月とさせていただきます。 1か月を超えた場合は、弊社で処分させていただきます。
● お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報および個人履歴を使用することはございませんのでご安心ください。

■ 発送時の注意

① 発送について
お持込み以外に送付でも承っております。修理受付の際の送料はお客様にご負担いただいておりますので、最寄りの宅配業者をご利用の上で発送してください。

② 同梱物について
・弊社のレシートまたは納品書（保証書）
・デジノス修理依頼書
・ドライバーCD、付属品（アダプター・バッテリー）など
※パソコン保険をお申し込みいただいている場合 、保証を受ける際パソコン保険証券の同梱が必要となります。

■ HDD内データについて

HDDのデータは保証できません。ご迷惑をおかけしますがデータは破棄されることを予めご了承ください。

■ 梱包について

① 梱包箱
ご購入当初の梱包箱で梱包してください。また、箱がないときはお客様で梱包箱ご用意いただき緩衝材をご利用の上、輸送時に損傷しないよう梱包してください。
輸送時の事故はお客様の責任となります。しっかりと梱包して運送保険をお掛けください。

② 梱包時の注意

・アダプターやバッテリーを外した状態で梱包してください。

・ディスプレイは非常に繊細な部分です。パソコンと付属品を重ねて梱包しないでください。

■ 配送先

〒252-1123
神奈川県綾瀬市早川2696-1
デジノス修理センター

■ 注意

●記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。

●修理品の送料はお客様負担となります。初期不良期間に限り、送料は弊社が負担します。発送には佐川急便をご利用ください。

●OSやウィルス感染、ソフトウェア不具合など弊社の瑕疵ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。

●お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了後1か月とさせていただきます。1か月を超えた場合は、弊社で処分させていただきます。

Diginnos マニュアル
著者 / 監修：株式会社サードウェーブデジノス CS 事業部
発行 / 編集：株式会社サードウェーブデジノス

ご注意
※本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
※本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
※本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたらご連絡ください。
※本書の内容に基づく運用結果として発生した損害には、責任を負いかねます。あしからずご了承ください。

商標について
Microsoft、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Office は米 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Intel ロゴ、および Intel Inside ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
Mac、Mac OS は、Apple Inc. の商標です。
© 2009 Nero AG, Karlsbad, Germany. All rights reserved.
Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。
UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の、会社名、製品名、システム名は各社の商標または登録商標です。

2013/04 発行

お買上げいただいたパソコンの

調子が悪い?壊れた?

と、思われる症状がでたとき…

まずは パソコン故障診断をお試しください!

パソコン故障診断

故障と思われる症状の中には、パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。パソコン故障診断は、症状からトラブルの原因を特定し、解決策を紹介するプログラムです。

パソコンから
http://check.dospara.co.jp/front

携帯から
http://check.dospara.co.jp/mobile/

故障診断で解決しない場合 FAQ検索をお試しください!

FAQ

FAQにはお客様からのよくあるご質問とその改善方法を紹介しています。同症状の改善方法が記載されているかもしれません。「FAQの検索」に症状を入力して【検索】を行ってみてください。

パソコンから
http://faq2.dospara.co.jp/

携帯から
http://www.dospara.co.jp/mob/faq.php

故障診断やFAQ記載の方法を試しても改善されないときは デジノスサポートセンターへお問い合わせください!

お問い合わせ

Eメール	http://dospara.co.jp/tecinfo
携帯メール	http://dospara.co.jp/mob/tecinfo
電話	東京 **03-4332-9193** (PHS・IP電話からもこちらへ) ナビダイヤル 0570-028-119

受付時間:9:00〜21:00　定 休 日 :年中無休(年末年始を除く)